

2. 介護

(1) 要介護状態の原因

介護が必要となった主な原因は、要支援では「骨折・転倒」(20.5%)が最も多く、次いで「関節疾患(膝・股関節など)」(14.2%)、「高齢による衰弱」(11.9%)となっている。

要支援者全体を年齢別で見ると、65～69歳では「脳血管疾患(脳出血、脳梗塞など)」が22.2%と最も高いのに対し、70歳以上では「骨折・転倒」が最も多くなっている(サンプル少数のため参考値)。

図表2(1)-1 要支援となった原因(要支援・問24)

【要介護度別・年齢別】

		(%)	(n=)	脳血管疾患 (脳出血、脳梗塞など)	骨折・転倒	高齢による衰弱	心臓病	がん (悪性新生物)	呼吸器疾患 (肺気腫、肺炎等)	関節疾患 (膝・股関節など)	リウマチ	認知症	糖尿病	視覚・聴覚障害	脊髄損傷	パーキンソン病	その他	無回答
TOTAL	TOTAL	528	7.6	20.5	11.9	8.3	4.7	1.9	14.2	1.5	0.8	1.9	2.7	3.8	1.9	10.8	7.6	
	65～69歳	27	22.2	11.1	3.7	3.7	3.7	0.0	7.4	0.0	0.0	3.7	0.0	3.7	3.7	37.0	0.0	
	70～74歳	37	13.5	16.2	0.0	16.2	10.8	2.7	13.5	5.4	0.0	2.7	0.0	2.7	8.1	5.4	2.7	
	75～79歳	81	7.4	17.3	6.2	6.2	4.9	3.7	11.1	2.5	0.0	2.5	2.5	6.2	4.9	17.3	7.4	
	80～84歳	180	9.4	21.7	8.3	7.8	6.1	1.7	16.7	2.2	0.6	1.7	1.7	3.9	1.1	7.2	10.0	
	85歳以上	201	3.0	22.4	20.9	9.0	2.5	1.5	14.4	0.0	1.5	1.5	4.5	2.5	0.0	9.0	7.5	
要支援1	要支援1 TOTAL	203	5.9	19.7	11.8	8.9	6.4	1.5	16.7	1.0	2.0	2.5	2.0	3.4	2.0	8.4	7.9	
	65～69歳	7	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	
	70～74歳	11	0.0	18.2	0.0	9.1	18.2	0.0	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	9.1	
	75～79歳	32	9.4	18.8	3.1	6.3	6.3	3.1	12.5	3.1	0.0	3.1	3.1	3.1	3.1	18.8	6.3	
	80～84歳	79	7.6	21.5	11.4	7.6	10.1	1.3	15.2	0.0	1.3	2.5	1.3	3.8	1.3	3.8	11.4	
	85歳以上	74	2.7	20.3	18.9	12.2	0.0	1.4	20.3	0.0	4.1	1.4	2.7	2.7	0.0	8.1	5.4	
要支援2	要支援2 TOTAL	283	8.5	21.6	12.4	8.1	3.9	2.1	13.1	1.8	0.0	1.4	2.8	3.5	2.1	13.1	5.7	
	65～69歳	18	22.2	16.7	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
	70～74歳	24	20.8	16.7	0.0	20.8	8.3	4.2	8.3	0.0	0.0	4.2	0.0	4.2	8.3	4.2	0.0	
	75～79歳	40	5.0	17.5	7.5	7.5	5.0	2.5	7.5	2.5	0.0	2.5	2.5	7.5	7.5	20.0	5.0	
	80～84歳	92	10.9	19.6	6.5	8.7	3.3	2.2	18.5	4.3	0.0	1.1	2.2	4.3	1.1	9.8	7.6	
	85歳以上	108	2.8	25.9	23.1	6.5	3.7	1.9	13.0	0.0	0.0	0.9	4.6	1.9	0.0	9.3	6.5	

(年齢無回答 n=2 は非表示)

介護が必要となった主な原因は、要介護では「脳血管疾患（脳出血、脳梗塞など）」（17.4%）が最も多く、次いで「骨折・転倒」、「認知症」（ともに 17.2%）となっている。要介護1・2の軽度では「骨折・転倒」（18.2%）、要介護3・4・5の中・重度では「認知症」（21.1%）や「脳血管疾患（脳出血、脳梗塞など）」（20.9%）が多くなっている。

要介護者全体を年齢別でみると、85歳未満では「脳血管疾患（脳出血、脳梗塞など）」が最も多いが、年齢が上昇するにつれ割合が減少し、85歳以上では「骨折・転倒」（21.8%）が最も多くなっている。

図表 2 (1)-2 要介護となった原因（要介護・問17）

【要介護度別・年齢別】

		(%)	(n=)	脳血管疾患 (脳出血、脳梗塞など)	骨折・転倒	高齢による衰弱	心臓病	がん (悪性新生物)	呼吸器疾患 (肺炎腫、肺炎等)	関節疾患 (膝・股関節等)	リウマチ	認知症	糖尿病	視覚・聴覚障害	脊髄損傷	パーキンソン病	その他
TOTAL	TOTAL	17.4	1,525	17.4	17.2	9.3	4.5	2.5	2.4	6.6	1.6	17.2	1.9	0.9	2.8	2.6	10.0
	65歳未満	66.7	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	65～69歳	43.7	71	43.7	14.1	0.0	2.8	4.2	0.0	0.0	2.8	7.0	1.4	2.8	2.8	2.8	15.5
	70～74歳	33.6	131	33.6	7.6	0.8	3.1	5.3	3.1	3.1	2.3	9.9	5.3	0.8	3.1	2.3	18.3
	75～79歳	24.5	241	24.5	11.2	2.1	6.2	5.0	2.1	4.1	2.1	17.4	2.1	0.0	4.6	3.7	12.9
	80～84歳	18.9	354	18.9	16.9	5.4	3.1	2.3	3.7	8.2	2.8	17.8	0.8	1.4	1.7	3.7	8.5
85歳以上	8.6	717	8.6	21.8	16.3	5.0	1.1	2.0	7.7	0.7	19.4	1.8	0.7	2.6	1.7	7.7	
要介護1・2	要介護1・2 TOTAL	15.9	944	15.9	18.2	11.2	5.7	2.4	2.6	7.9	2.1	15.9	2.3	0.6	2.4	2.0	9.0
	65～69歳	40.0	40	40.0	12.5	0.0	5.0	2.5	0.0	0.0	2.5	7.5	2.5	2.5	2.5	2.5	20.0
	70～74歳	32.9	73	32.9	9.6	0.0	4.1	2.7	1.4	5.5	1.4	9.6	9.6	1.4	2.7	2.7	15.1
	75～79歳	24.3	140	24.3	11.4	2.9	6.4	5.7	1.4	5.0	3.6	17.9	3.6	0.0	2.9	3.6	10.7
	80～84歳	16.7	227	16.7	20.3	7.5	4.0	2.6	4.0	10.1	4.0	16.3	0.4	0.9	1.8	3.1	7.0
85歳以上	8.1	459	8.1	21.4	18.5	6.8	1.3	2.6	8.7	0.9	16.8	1.7	0.4	2.6	0.9	7.4	
要介護3・4・5	要介護3・4・5 TOTAL	20.9	526	20.9	16.3	6.5	2.3	2.9	2.3	4.0	1.0	21.1	1.1	1.3	3.6	4.0	11.8
	65歳未満	66.7	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	65～69歳	46.7	30	46.7	16.7	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	3.3	6.7	0.0	3.3	3.3	3.3	10.0
	70～74歳	33.3	54	33.3	5.6	0.0	1.9	9.3	5.6	0.0	3.7	11.1	0.0	0.0	3.7	1.9	22.2
	75～79歳	26.1	92	26.1	10.9	1.1	5.4	4.3	3.3	2.2	0.0	17.4	0.0	0.0	7.6	4.3	17.4
	80～84歳	27.2	103	27.2	11.7	1.9	1.9	1.9	3.9	3.9	1.0	24.3	1.0	2.9	1.9	5.8	8.7
85歳以上	10.0	241	10.0	23.2	12.9	1.7	0.8	0.8	5.8	0.4	25.7	2.1	0.8	2.9	3.3	8.7	

(年齢無回答 n=8 は非表示)

(2) 要介護高齢者の利用サービス

① サービス利用状況

要支援者（要支援1・2）が現在（平成28年11月時点）利用しているサービスは、「介護予防訪問介護又は横浜市訪問介護相当サービス（ホームヘルプ）」（34.8%）、や「介護予防通所介護又は横浜市通所介護相当サービス（デイサービス）」（28.0%）が多くなっている。

図表2(2)①-1 利用サービス（平成28年11月時点）（複数回答、要支援・問26）

【要介護度別】

(%)	TOTAL (n=528)	要介護度別（無回答等n=42非表示）	
		要支援1 (n=203)	要支援2 (n=283)
介護予防訪問介護又は横浜市訪問介護相当サービス（ホームヘルプ）	34.8	38.9	31.4
横浜市訪問型生活援助サービス	15.7	16.7	15.2
介護予防訪問入浴介護	1.5	0.5	2.5
介護予防訪問看護	4.7	3.4	4.9
介護予防訪問リハビリ	5.9	2.5	7.8
介護予防居宅療養管理指導	2.3	3.0	1.8
介護予防通所介護又は横浜市通所介護相当サービス（デイサービス）	28.0	25.6	30.0
介護予防通所リハビリ（デイケア）	22.7	22.2	24.4
介護予防短期入所生活介護（福祉施設のショートステイ）	0.8	0.0	1.4
介護予防短期入所療養介護（医療施設等のショートステイ）	0.8	0.5	1.1
介護予防特定施設入居者生活介護	0.4	0.0	0.7
介護予防福祉用具貸与	23.3	16.7	25.8
介護予防福祉用具購入	8.0	6.4	9.2
介護予防住宅改修費	7.0	6.9	7.4
介護予防認知症対応型通所介護	0.0	0.0	0.0
介護予防小規模多機能型居宅介護（1か所で通い、訪問、泊まりの各サービスを提供）	0.6	0.5	0.7
介護予防認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	0.2	0.5	0.0
利用していない	7.8	7.4	7.8
無回答	7.4	5.9	7.1

要介護者（要介護1～5）が現在（平成28年11月時点）利用しているサービスは、「福祉用具貸与」（49.7%）や「通所介護」（47.1%）が多くなっている。

要介護3・4・5の中・重度では、全体傾向と同じく、「福祉用具貸与」（65.0%）、「通所介護」（49.0%）が多いが、軽度者と比べ、「訪問看護」（31.2%）や「訪問介護」（31.0%）、「訪問リハビリテーション」（22.8%）、「訪問入浴介護」（19.2%）等の訪問系サービスの利用が多くなっている。

図表2(2)①-2 利用サービス（平成28年11月時点）（複数回答、要介護・問33）

【要介護度別】

	TOTAL (n=1525)	要介護度別(無回答n=55非表示)				
		要介護1 (n=320)	要介護2 (n=624)	要介護3 (n=258)	要介護4 (n=157)	要介護5 (n=111)
訪問介護	27.0	24.7	25.3	20.2	33.1	53.2
訪問入浴介護	12.3	6.6	10.1	9.7	15.3	46.8
訪問看護	19.1	10.0	14.6	18.6	31.8	59.5
訪問リハビリテーション	14.9	7.5	12.7	18.2	20.4	36.9
居宅療養管理指導	3.1	2.2	2.4	1.9	5.7	9.0
通所介護	47.1	45.6	47.3	51.2	52.9	38.7
通所リハビリテーション	20.7	23.8	22.3	19.4	19.1	12.6
短期入所生活介護	14.0	7.2	9.3	25.2	22.9	24.3
短期入所療養介護	1.5	0.3	0.6	2.7	3.2	4.5
福祉用具貸与	49.7	32.2	47.8	53.9	72.0	81.1
福祉用具購入	13.8	9.7	11.2	16.7	20.4	26.1
住宅改修	9.4	9.1	10.3	8.9	12.1	7.2
特定施設入居者生活介護	0.9	0.6	0.5	1.9	1.9	0.9
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1.8	1.6	1.6	1.9	3.2	1.8
夜間対応型訪問介護	0.9	0.6	0.3	0.4	3.8	2.7
認知症対応型通所介護	1.6	0.6	0.6	2.3	4.5	5.4
小規模多機能型居宅介護	2.3	0.6	1.6	2.7	6.4	4.5
看護小規模多機能型居宅介護	0.4	0.6	0.2	0.4	0.0	1.8
認知症対応型共同生活介護	0.5	0.3	0.3	1.2	0.6	0.0
地域密着型通所介護	2.2	1.6	2.7	1.9	3.2	0.9
地域密着型特定施設入居者生活介護	0.4	0.3	0.3	0.4	0.6	0.0
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0.2	0.0	0.2	0.8	0.0	0.0
あてはまるものはない	3.1	3.8	3.5	1.9	0.6	0.9
無回答	6.6	9.1	5.9	7.0	1.9	1.8

【要介護度別】

	TOTAL (n=1525)	要介護度別(無回答n=55非表示)	
		要介護1・2 (n=944)	要介護3・4・5 (n=526)
訪問介護	27.0	25.1	31.0
訪問入浴介護	12.3	8.9	19.2
訪問看護	19.1	13.0	31.2
訪問リハビリテーション	14.9	10.9	22.8
居宅療養管理指導	3.1	2.3	4.6
通所介護	47.1	46.7	49.0
通所リハビリテーション	20.7	22.8	17.9
短期入所生活介護	14.0	8.6	24.3
短期入所療養介護	1.5	0.5	3.2
福祉用具貸与	49.7	42.5	65.0
福祉用具購入	13.8	10.7	19.8
住宅改修	9.4	9.9	9.5
特定施設入居者生活介護	0.9	0.5	1.7
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1.8	1.6	2.3
夜間対応型訪問介護	0.9	0.4	1.9
認知症対応型通所介護	1.6	0.6	3.6
小規模多機能型居宅介護	2.3	1.3	4.2
看護小規模多機能型居宅介護	0.4	0.3	0.6
認知症対応型共同生活介護	0.5	0.3	0.8
地域密着型通所介護	2.2	2.3	2.1
地域密着型特定施設入居者生活介護	0.4	0.3	0.4
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0.2	0.1	0.4
あてはまるものはない	3.1	3.6	1.3
無回答	6.6	7.0	4.4

② 要介護者が利用できなかった介護サービス

要支援者が、事業所が近くにない、利用したいが予約がいっぱいで利用できないなど、事業者側の都合で利用できなかったサービスは、「利用していない」が17.6%で最も高いほか、サービス別では、「介護予防通所介護又は横浜市通所介護相当サービス（デイサービス）」(8.0%)、「介護予防訪問介護又は横浜市訪問介護相当サービス（ホームヘルプ）」(6.6%)、「介護予防福祉用具貸与」(6.6%)がやや多くなっている。

図表2(2)②-1 利用できない・利用できなかったサービス（複数回答、要支援・問28）

【要介護度別】

	TOTAL (n=528)	要介護度別(無回答n=42非表示)	
		要支援1 (n=203)	要支援2 (n=283)
(%)			
介護予防訪問介護又は横浜市訪問介護相当サービス(ホームヘルプ)	6.6	10.3	3.5
横浜市訪問型生活援助サービス	4.4	4.9	3.9
介護予防訪問入浴介護	0.6	0.0	1.1
介護予防訪問看護	0.4	0.5	0.4
介護予防訪問リハビリ	1.1	0.5	1.8
介護予防居宅療養管理指導	0.4	0.5	0.4
介護予防通所介護又は横浜市通所介護相当サービス(デイサービス)	8.0	5.9	9.5
介護予防通所リハビリ(デイケア)	5.7	5.4	6.0
介護予防短期入所生活介護(福祉施設のショートステイ)	0.2	0.0	0.4
介護予防短期入所療養介護(医療施設等のショートステイ)	0.2	0.5	0.0
介護予防特定施設入居者生活介護	0.2	0.0	0.4
介護予防福祉用具貸与	6.6	5.9	6.0
介護予防福祉用具購入	1.7	1.0	1.8
介護予防住宅改修費	0.8	0.5	1.1
介護予防認知症対応型通所介護	0.0	0.0	0.0
介護予防小規模多機能型居宅介護(1か所で通い、訪問、泊まりの各サービスを提供)	0.0	0.0	0.0
介護予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	0.0	0.0	0.0
利用していない	17.6	19.2	15.9
無回答	55.5	53.2	58.3

要介護者が、事業所が近くにない、利用したいが予約がいっぱいで利用できないなど、事業者側の都合で利用できなかったサービスは、「あてはまるものはない」が 45.8%で最も高いほか、サービス別では、「通所介護」(4.9%)、「短期入所生活介護」(4.3%)、「通所リハビリテーション」(3.7%)となっている。

要介護1・2の軽度者では「通所介護」、要介護3・4・5の中・重度者では「短期入所生活介護」が比較的高くなっている。

図表2(2)②-2 利用できない・利用できなかったサービス（複数回答、要介護・問35）

【要介護度別】

	TOTAL (n=1525) (%)	要介護度別(無回答n=55非表示)				
		要介護1 (n=320)	要介護2 (n=624)	要介護3 (n=258)	要介護4 (n=157)	要介護5 (n=111)
訪問介護	3.4	1.9	4.3	3.1	1.9	4.5
訪問入浴介護	1.6	0.3	1.8	2.7	1.9	1.8
訪問看護	1.8	0.0	2.2	2.3	2.5	2.7
訪問リハビリテーション	2.1	0.6	2.6	2.7	1.9	3.6
居宅療養管理指導	0.3	0.0	0.2	0.8	0.0	0.9
通所介護	4.9	6.9	4.8	5.8	2.5	2.7
通所リハビリテーション	3.7	3.1	4.2	5.0	3.2	0.0
短期入所生活介護	4.3	3.8	3.2	7.4	3.8	6.3
短期入所療養介護	1.3	0.9	1.0	1.2	2.5	3.6
福祉用具貸与	3.0	3.1	2.7	3.1	2.5	2.7
福祉用具購入	1.1	0.6	1.0	1.2	1.9	0.9
住宅改修	1.2	1.3	1.3	1.2	1.9	0.9
特定施設入居者生活介護	1.7	0.6	0.8	4.3	2.5	3.6
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.7	0.6	0.6	0.8	1.9	0.0
夜間対応型訪問介護	0.3	0.0	0.0	0.4	1.9	0.9
認知症対応型通所介護	0.7	0.3	0.5	1.9	0.6	0.0
小規模多機能型居宅介護	0.7	0.0	0.6	1.6	0.6	0.0
看護小規模多機能型居宅介護	0.2	0.3	0.2	0.0	0.0	0.9
認知症対応型共同生活介護	0.4	0.3	0.2	1.2	0.6	0.0
地域密着型通所介護	0.4	0.3	0.5	0.4	0.6	0.0
地域密着型特定施設入居者生活介護	0.3	0.0	0.2	0.4	1.9	0.0
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1.1	0.3	0.8	1.9	2.5	0.9
あてはまるものはない	45.8	47.8	46.5	42.6	52.9	43.2
無回答	35.1	35.3	35.4	34.1	26.1	36.9

(3) 24時間対応型の介護サービスの提供

① 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス（「定期巡回サービス」と表記）利用以前の介護サービス利用状況については、「訪問介護」（42.2%）、「通所介護（デイサービス）」（39.6%）、「福祉用具貸与（レンタル）」（36.9%）が3～4割となっている。要介護度別では、要介護3・4・5では、「訪問介護」、「福祉用具貸与（レンタル）」（ともに43.8%）、「通所介護」（42.1%）となっている。

図表2(3)①-1 利用前の介護サービス（複数回答、定期巡回・問8）

【要介護度別】

介護サービス	TOTAL (n=187)	要介護度別（無回答n=5非表示）	
		要介護1・2 (n=61)	要介護3・4・5 (n=121)
訪問介護	42.2	41.0	43.8
訪問入浴介護	13.9	6.6	18.2
訪問看護	23.0	19.7	24.8
訪問リハビリ	7.0	8.2	6.6
通所介護（デイサービス）	39.6	36.1	42.1
通所リハビリ	5.3	9.8	3.3
短期入所生活介護（ショートステイ）	11.2	3.3	15.7
福祉用具貸与（レンタル）	36.9	24.6	43.8
夜間対応型訪問介護	10.2	6.6	12.4
認知症対応型通所介護（認知症デイ）	2.1	0.0	3.3
その他	2.1	0.0	3.3
利用していない	26.7	29.5	25.6
無回答	3.2	1.6	1.7

【利用期間別】

介護サービス	TOTAL (n=187)	利用期間別（無回答n=6非表示）		
		半年未満 (n=36)	半年以上～ 1年未満 (n=42)	1年以上 (n=103)
訪問介護	42.2	41.7	28.6	48.5
訪問入浴介護	13.9	19.4	19.0	9.7
訪問看護	23.0	19.4	14.3	28.2
訪問リハビリ	7.0	5.6	2.4	9.7
通所介護（デイサービス）	39.6	38.9	40.5	39.8
通所リハビリ	5.3	8.3	0.0	6.8
短期入所生活介護（ショートステイ）	11.2	8.3	7.1	13.6
福祉用具貸与（レンタル）	36.9	30.6	26.2	44.7
夜間対応型訪問介護	10.2	11.1	2.4	13.6
認知症対応型通所介護（認知症デイ）	2.1	2.8	2.4	1.9
その他	2.1	5.6	0.0	1.9
利用していない	26.7	19.4	33.3	28.2
無回答	3.2	2.8	2.4	0.0

定期巡回サービスの利用種類別では、一体型サービス、連携型サービスそれぞれの利用者ともに「訪問介護」が4割（一体型44.2%、連携型42.2%）となっている。連携型サービス利用者は一体型サービス利用者比べて、「通所介護（デイサービス）」（55.6%）、「訪問看護」（28.9%）、「短期入所生活介護（ショートステイ）」（20.0%）、「夜間対応型訪問介護」（15.6%）等の利用割合が高くなっている。

図表 2 (3)①-2 利用前の介護サービス（複数回答、定期巡回・問8）

【利用種類別】

利用種類別 (%)	TOTAL (n=187)	利用種類別（無回答n=8非表示）		
		一体型 (n=104)	連携型 (n=45)	わからない (n=30)
訪問介護	42.2	44.2	42.2	46.7
訪問入浴介護	13.9	13.5	13.3	20.0
訪問看護	23.0	22.1	28.9	23.3
訪問リハビリ	7.0	4.8	8.9	13.3
通所介護（デイサービス）	39.6	34.6	55.6	33.3
通所リハビリ	5.3	3.8	6.7	10.0
短期入所生活介護（ショートステイ）	11.2	8.7	20.0	10.0
福祉用具貸与（レンタル）	36.9	39.4	44.4	26.7
夜間対応型訪問介護	10.2	8.7	15.6	10.0
認知症対応型通所介護（認知症デイ）	2.1	1.9	4.4	0.0
その他	2.1	1.9	2.2	3.3
利用していない	26.7	29.8	15.6	33.3
無回答	3.2	2.9	0.0	0.0

定期巡回サービス利用に至るきっかけについては、「ケアマネジャーから勧められて」(64.2%)、「自宅で生活したかったから」(49.2%)が多い。要介護度別では、要介護3・4・5では、「ケアマネジャーから勧められて」(70.2%)、「自宅で生活したかったから」(53.7%)と、要介護1・2より割合がそれぞれ高くなっている。

定期巡回サービスの利用期間別では、利用期間の長い1年以上で「ケアマネジャーから勧められて」(66.0%)、「自宅で生活したかったから」(57.3%)がともに5割を超えている。また「料金が月額定額だったから」が17.5%となっており、利用期間1年未満の利用者よりも高い。

利用種類別では、連携型は一体型に比べて「ケアマネジャーから勧められて」(75.6%)、「自宅で生活したかったから」(62.2%)等が多く、一体型では「退院したばかりで在宅生活に慣れるため」が16.3%と連携型より多くなっている。

図表2(3)①-3 利用のきっかけ(複数回答、定期巡回・問9)

【要介護度別】

(%)	TOTAL (n=187)	要介護度別(無回答n=5非表示)	
		要介護1・2 (n=61)	要介護3・4・5 (n=121)
ケアマネジャーから勧められて	64.2	55.7	70.2
自宅で生活したかったから	49.2	42.6	53.7
料金が月額定額だったから	14.4	14.8	14.9
ご家族・友人から勧められて	10.7	14.8	9.1
退院したばかりで在宅生活に慣れるため	10.7	13.1	9.9
医療ソーシャルワーカーから勧められて	7.0	3.3	9.1
以前利用していた事業所と同じ法人が運営している事業所だったから	3.2	4.9	2.5
以前のサービスが馴染まなかったから	3.2	4.9	2.5
他のサービスでは支給限度額を超えてしまうから	2.7	1.6	3.3
新聞・雑誌・広報紙等を見て	0.5	0.0	0.8
事業者のホームページを見て	0.5	1.6	0.0
施設への入所待ちだから	0.5	0.0	0.8
その他	9.1	8.2	9.9
無回答	3.7	4.9	0.8

【利用期間別】

(%)	TOTAL (n=187)	利用期間別(無回答n=6非表示)		
		半年未満 (n=36)	半年以上～ 1年未満 (n=42)	1年以上 (n=103)
ケアマネジャーから勧められて	64.2	66.7	59.5	66.0
自宅で生活したかったから	49.2	41.7	40.5	57.3
料金が月額定額だったから	14.4	11.1	11.9	17.5
ご家族・友人から勧められて	10.7	8.3	14.3	10.7
退院したばかりで在宅生活に慣れるため	10.7	13.9	2.4	13.6
医療ソーシャルワーカーから勧められて	7.0	11.1	4.8	6.8
以前利用していた事業所と同じ法人が運営している事業所だったから	3.2	2.8	2.4	3.9
以前のサービスが馴染まなかったから	3.2	8.3	4.8	1.0
他のサービスでは支給限度額を超えてしまうから	2.7	5.6	0.0	2.9
新聞・雑誌・広報紙等を見て	0.5	0.0	0.0	1.0
事業者のホームページを見て	0.5	0.0	2.4	0.0
施設への入所待ちだから	0.5	0.0	0.0	1.0
その他	9.1	13.9	4.8	9.7
無回答	3.7	8.3	0.0	1.0

【利用種別】

	TOTAL (n=187)	利用種別(無回答n=8非表示)		
		一体型 (n=104)	携帯型 (n=45)	わからない (n=30)
ケアマネジャーから勧められて	64.2	64.4	75.6	53.3
自宅で生活したかったから	49.2	50.0	62.2	36.7
料金が月額定額だったから	14.4	16.3	15.6	10.0
ご家族・友人から勧められて	10.7	12.5	6.7	10.0
退院したばかりで在宅生活に慣れるため	10.7	16.3	2.2	6.7
医療ソーシャルワーカーから勧められて	7.0	7.7	6.7	6.7
以前利用していた事業所と同じ法人が運営している事業所だったから	3.2	4.8	2.2	0.0
以前のサービスが馴染まなかったから	3.2	2.9	2.2	6.7
他のサービスでは支給限度額を超えてしまうから	2.7	2.9	4.4	0.0
新聞・雑誌・広報紙等を見て	0.5	0.0	2.2	0.0
事業者のホームページを見て	0.5	1.0	0.0	0.0
施設への入所待ちだから	0.5	1.0	0.0	0.0
その他	9.1	7.7	13.3	6.7
無回答	3.7	1.9	2.2	3.3

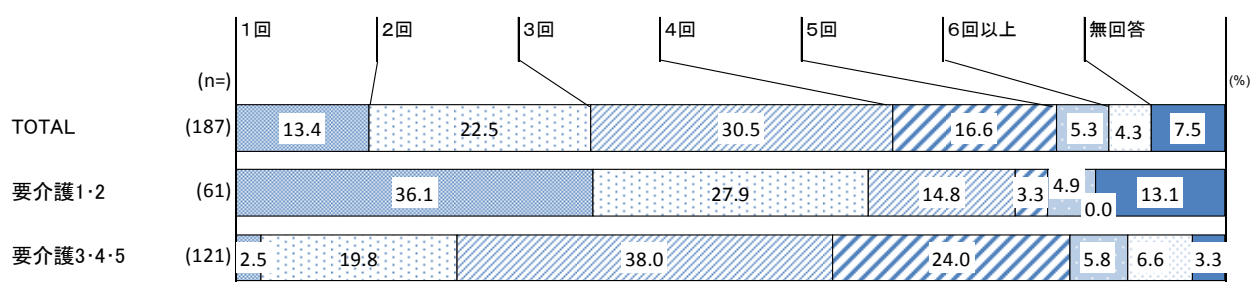
定期巡回サービスの1日当たりの利用回数については、3回以上が56.7%と利用者の半数を超えている。

要介護度別では、要介護1・2では「2回」以下が64.0%に対し、要介護3・4・5では「3回」以上が74.4%となっており、中・重度者の利用頻度が高いことがわかる。利用期間別では、1年以上利用者では「3回」以上が63.2%となっている。

利用種類別では、連携型利用者は一体型利用者より利用頻度が多く、連携型利用者では3回以上の割合が66.6%と、一体型利用者の3回以上の58.7%を上回っている。

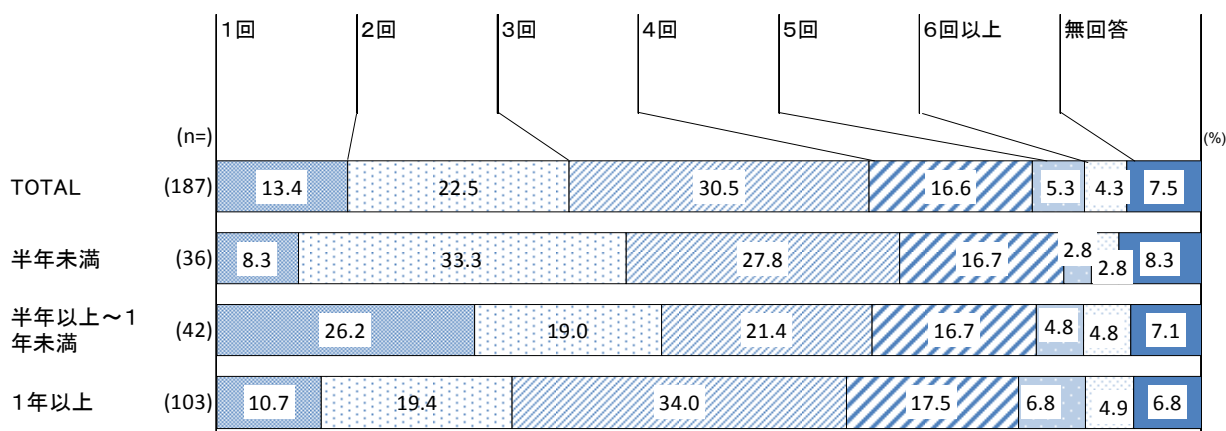
図表2 (3)①-4 定期巡回サービス・1日当たりの利用回数（定期巡回・問11）

【要介護度別】



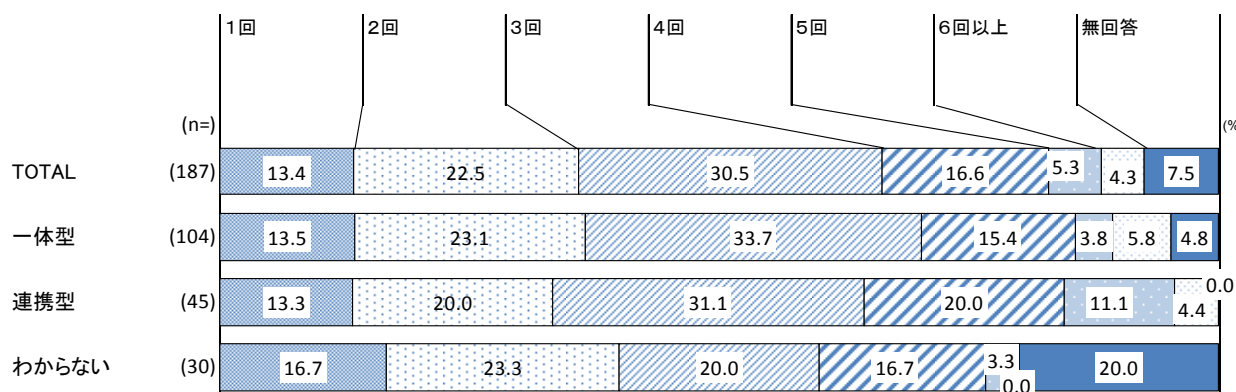
(無回答 n=5 は非表示)

【利用期間別】



(無回答 n=6 は非表示)

【利用種類別】

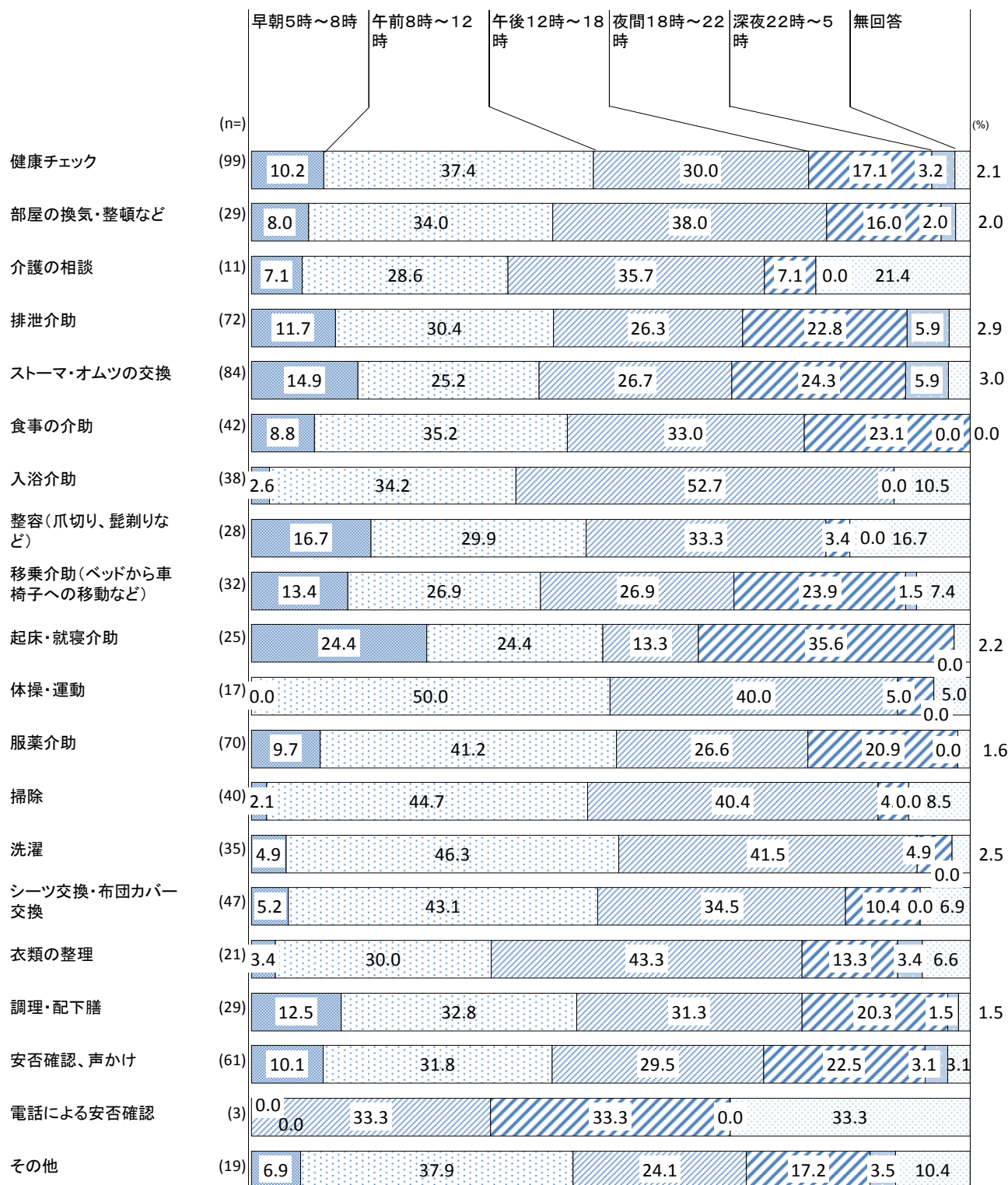


(無回答 n=8 は非表示)

定期巡回サービスの種類別の利用時間帯については、排泄介助、ストーマ・オムツの交換、移乗介助（ベッドから車椅子への移動など）、服薬介助は、「早朝5時～8時」や「夜間18時～22時」に集中する傾向がある（「起床・就寝介助」、「調理・配下膳」を除く）。排泄介助及びストーマ・おむつの交換は、「夜間18時～22時」にそれぞれ2割（排泄介助22.8%、ストーマ・オムツの交換24.3%）と集中している。

図表2(3)①-5 定期巡回サービス・利用時間帯（複数回答、定期巡回・問12）

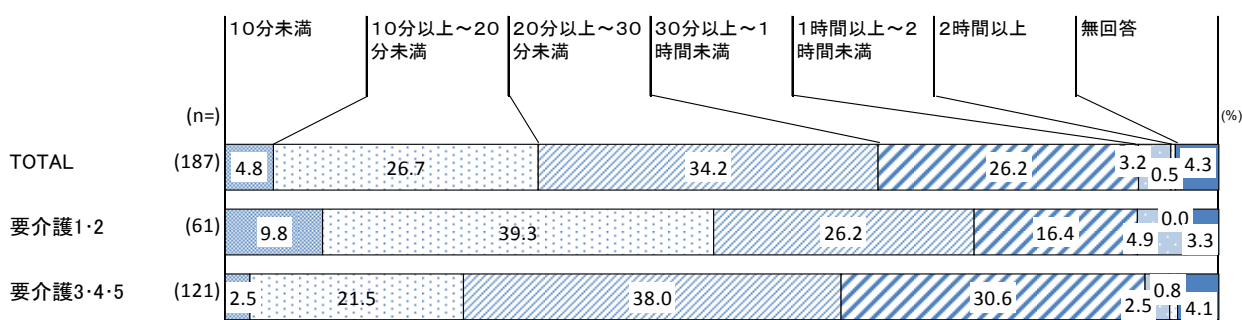
（複数回答の総数を母数(100)として再集計し、各時間帯の割合を表示している。）



定期巡回サービスの1回当たりの利用時間については、「30分未満」が65.7%、「30分以上」が29.9%となっている。要介護度別では、要介護1・2では「30分未満」が75.3%、「30分以上」が21.3%であるのに対し、要介護3・4・5では「30分未満」が62.0%、「30分以上」が33.9%と中・重度の利用者では利用時間が長くなる傾向がある。利用期間別では、1年以上の利用者の4.9%は「1時間以上2時間未満」となっている。利用種類別では、携帯型の利用者は「30分以上～1時間未満」が33.3%、「1時間以上～2時間未満」が6.7%となっており、一体型に比べてやや利用時間が長い傾向がある。

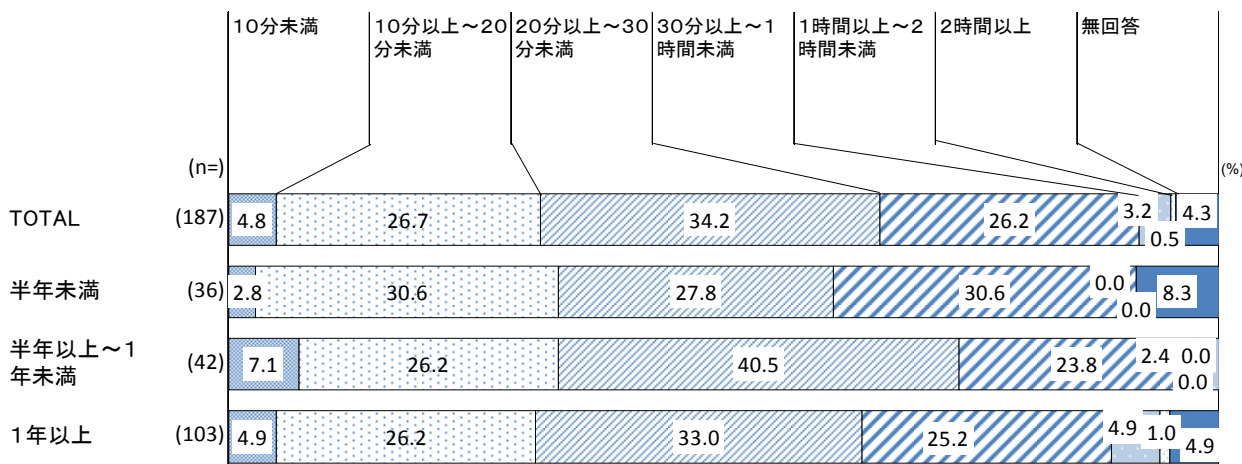
図表2(3)①-6 定期巡回サービス・1回当たりの利用時間(定期巡回・問13)

【要介護度別】



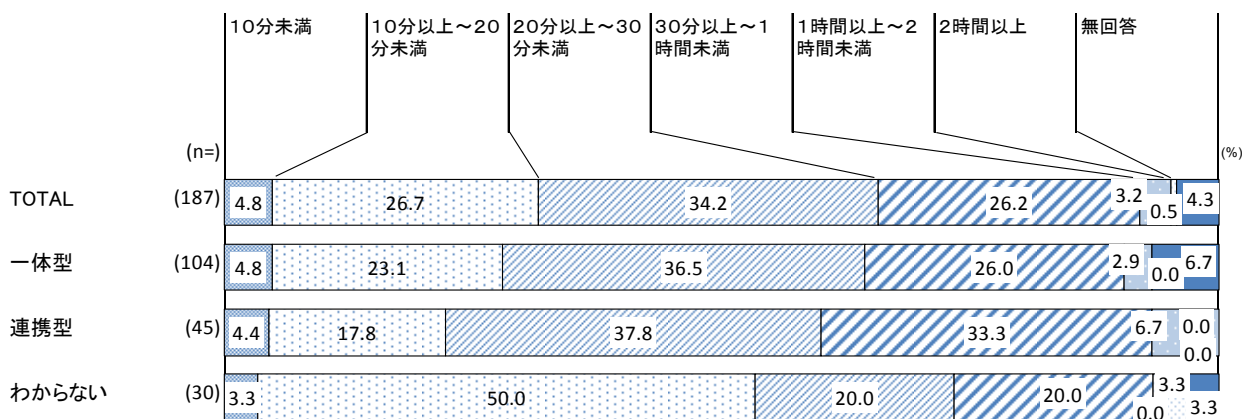
(無回答n=5は非表示)

【利用期間別】



(無回答n=6は非表示)

【利用種類別】

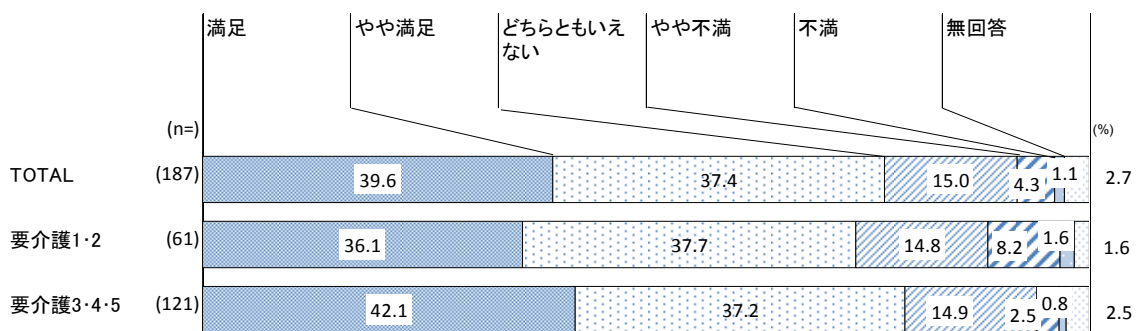


(無回答n=8は非表示)

定期巡回サービスの利用満足度については、『満足（「満足」及び「やや満足」の合計）』とする割合は77.0%と8割近い。要介護度別では、『満足』とする割合は要介護1・2、要介護3・4・5ともに7割台である一方、要介護1・2では8.2%が「不満」となっている。利用期間別では、各利用期間で『満足』とする割合が7割台である一方、1年以上利用者で『不満（「やや不満」及び「不満」の合計）』が6.8%となっている。利用種別では、連携型利用者の51.1%は「満足」としており、「やや満足」を合わせた『満足』とする割合は84.4%と8割を超えている。

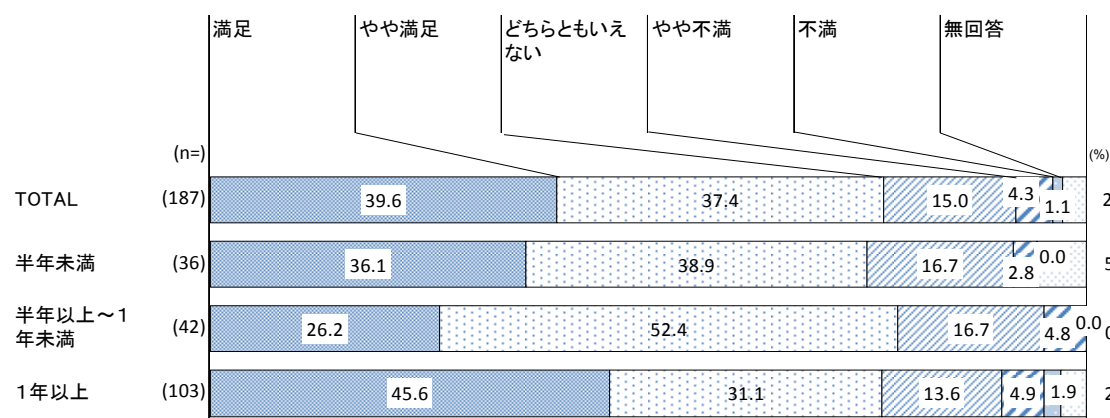
図表2(3)①-7 定期巡回サービス・利用満足度（定期巡回・問14）

【要介護度別】



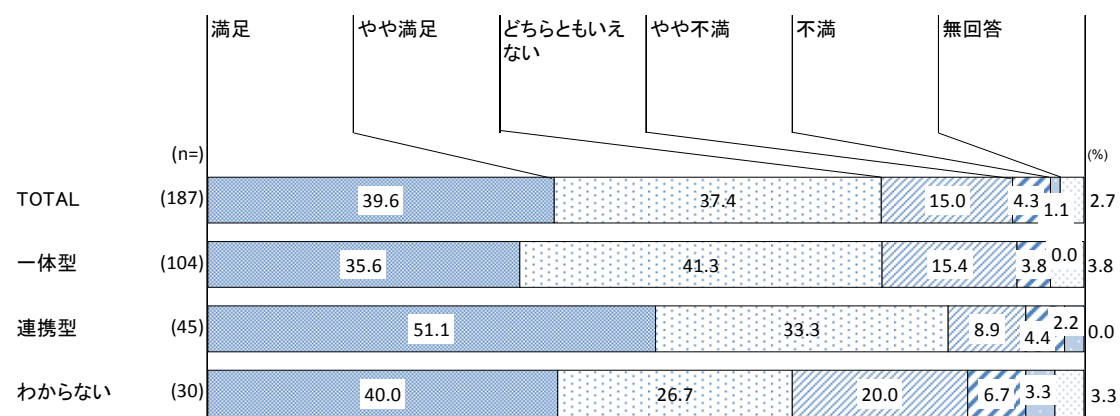
(無回答n=5は非表示)

【利用期間別】



(無回答n=6は非表示)

【利用種別】



(無回答n=8は非表示)

定期巡回サービスの良いと感じるところについては、「緊急コールですぐに駆けつけてくれる」(50.8%) が最も多く、次いで「看護職員が定期的に訪問(アセスメント含む)してくれる」が41.2%、「料金が定額である」、「独居、高齢者世帯でも在宅生活ができる」(ともに34.8%)となっている。

図表 2 (3) ①-8 定期巡回サービス・良いと感じるところ(複数回答、定期巡回・問10)

【要介護度別】

(%)	TOTAL (n=187)	要介護度別 (無回答n=5非表示)	
		要介護1・2 (n=61)	要介護3・4・5 (n=121)
緊急コールですぐに駆けつけてくれる	50.8	39.3	58.7
看護職員が定期的に訪問(アセスメント含む)してくれる	41.2	34.4	46.3
料金が定額である	34.8	27.9	38.8
独居、高齢者世帯でも在宅生活ができる	34.8	45.9	29.8
入院したり、施設に入所せず自宅で暮らせる	34.2	31.1	36.4
看護サービスが利用できる	28.9	24.6	32.2
24時間切れ目のないサービス	26.7	14.8	33.9
ケアマネジャーが変わらない	24.1	21.3	25.6
柔軟なプランでサービスを受けられる	22.5	31.1	19.0
定期巡回サービスだけで生活できる	12.3	18.0	9.9
入退院を繰り返していても在宅生活ができる	9.1	8.2	9.1
その他	2.1	1.6	1.7
無回答	3.2	3.3	1.7

【利用期間別】

(%)	TOTAL (n=187)	利用期間別 (無回答n=6非表示)		
		半年未満 (n=36)	半年以上～ 1年未満 (n=42)	1年以上 (n=103)
緊急コールですぐに駆けつけてくれる	50.8	47.2	42.9	58.3
看護職員が定期的に訪問(アセスメント含む)してくれる	41.2	44.4	42.9	40.8
料金が定額である	34.8	25.0	28.6	42.7
独居、高齢者世帯でも在宅生活ができる	34.8	27.8	35.7	36.9
入院したり、施設に入所せず自宅で暮らせる	34.2	30.6	23.8	41.7
看護サービスが利用できる	28.9	16.7	14.3	40.8
24時間切れ目のないサービス	26.7	22.2	28.6	29.1
ケアマネジャーが変わらない	24.1	30.6	21.4	23.3
柔軟なプランでサービスを受けられる	22.5	22.2	28.6	21.4
定期巡回サービスだけで生活できる	12.3	11.1	7.1	15.5
入退院を繰り返していても在宅生活ができる	9.1	13.9	4.8	8.7
その他	2.1	2.8	2.4	1.0
無回答	3.2	8.3	0.0	1.0

利用種類別では、一体型と比べて連携型で「緊急コールですぐに駆けつけてくれる」(66.7%)、「独居、高齢者世帯でも在宅生活ができる」(46.7%)、「柔軟なプランでサービスを受けられる」(40.0%)が高くなっている。一方、連携型と比べて一体型は「料金が定額である」(42.3%)が高くなっている。

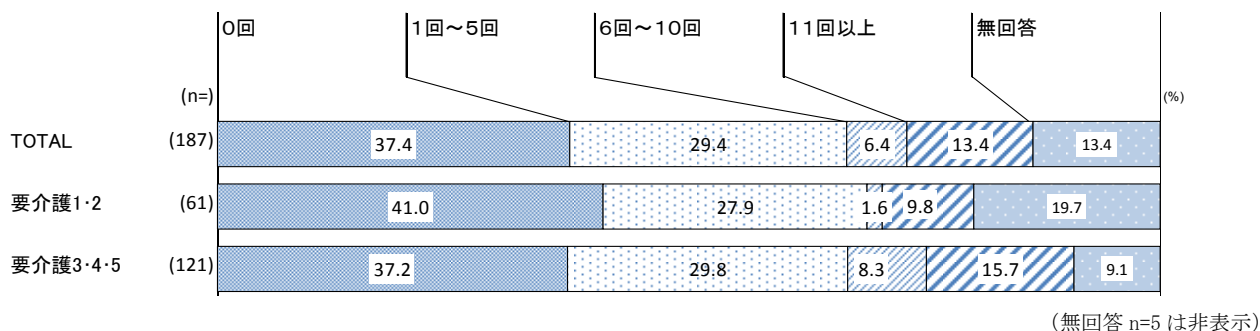
図表 2 (3) ①-9 定期巡回サービス・良いと感じるところ (複数回答、定期巡回・問 10)
【利用種類別】

利用種類別 (n=187)	TOTAL (n=187)	利用種類別 (無回答n=8非表示)		
		一体型 (n=104)	連携型 (n=45)	わからない (n=30)
緊急コールですぐに駆けつけてくれる	50.8	49.0	66.7	43.3
看護職員が定期的に訪問(アセスメント含む)してくれる	41.2	46.2	42.2	26.7
料金が定額である	34.8	42.3	24.4	30.0
独居、高齢者世帯でも在宅生活ができる	34.8	34.6	46.7	20.0
入院したり、施設に入所せず自宅で暮らせる	34.2	33.7	37.8	40.0
看護サービスが利用できる	28.9	32.7	26.7	20.0
24時間切れ目のないサービス	26.7	27.9	26.7	26.7
ケアマネジャーが変わらない	24.1	25.0	24.4	23.3
柔軟なプランでサービスを受けられる	22.5	16.3	40.0	20.0
定期巡回サービスだけで生活できる	12.3	14.4	11.1	3.3
入退院を繰り返していても在宅生活ができる	9.1	11.5	8.9	3.3
その他	2.1	1.9	2.2	0.0
無回答	3.2	1.9	0.0	6.7

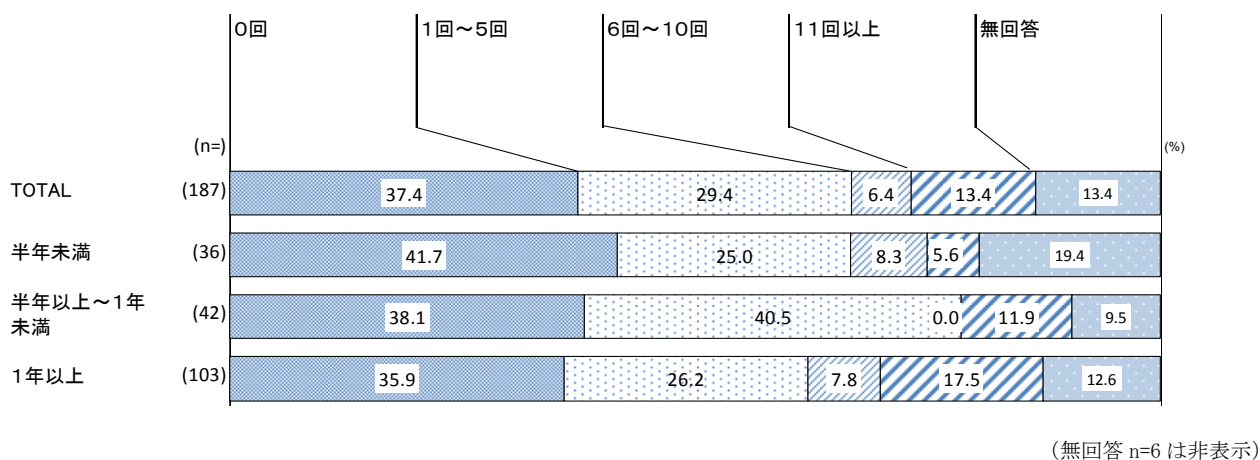
定期巡回サービスの「随時対応」、「随時訪問」の利用分布については、「0回」(37.4%)を除き、「1回～5回」が29.4%で最も多く、「11回以上」が13.4%と次いで多い。要介護度別では、要介護3・4・5で「11回以上」が15.7%と、要介護1・2の「11回以上」9.8%を上回っている。利用期間別では、1年以上利用者で「11回以上」が17.5%となっている。利用種類別では、連携型利用者で「11回以上」が22.2%となっている。

図表 2 (3)①-10 随時対応及び随時訪問・利用回数 (定期巡回・問16)

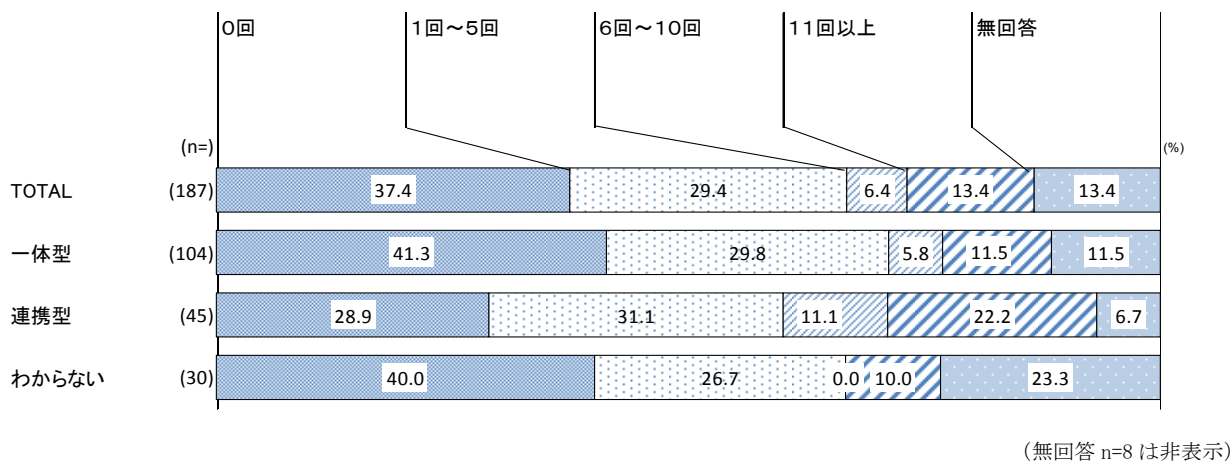
【要介護度別】



【利用期間別】



【利用種類別】

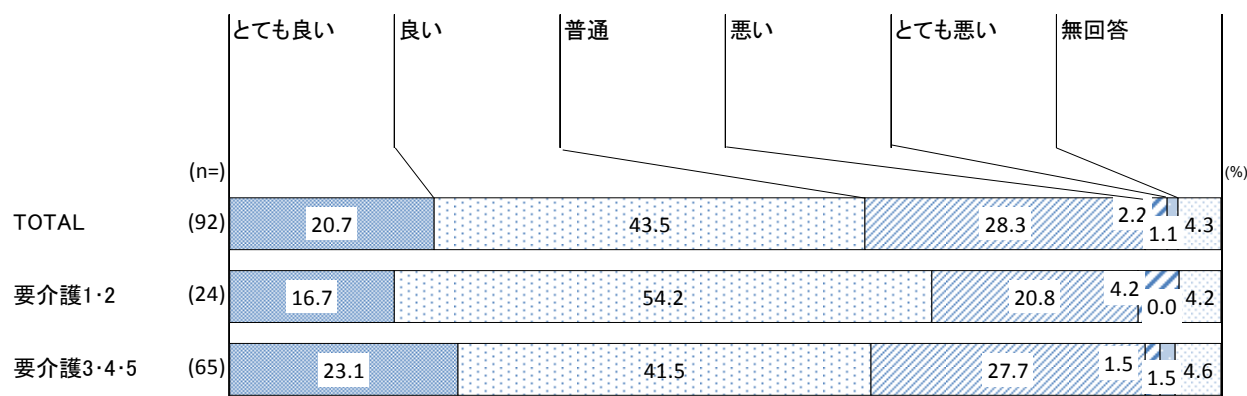


定期巡回サービスの「随時対応」、「随時訪問」のオペレーター対応については、『良い（「とても良い」及び「良い」の合計）』とする割合は64.2%、「普通」は28.3%となっている。

要介護度別では、要介護1・2では『良い』とする割合は、70.9%と要介護3・4・5（64.6%）を上回っている。利用期間別では、1年以上で『良い』とする割合は、69.8%となっている（サンプル少数のため参考値）。

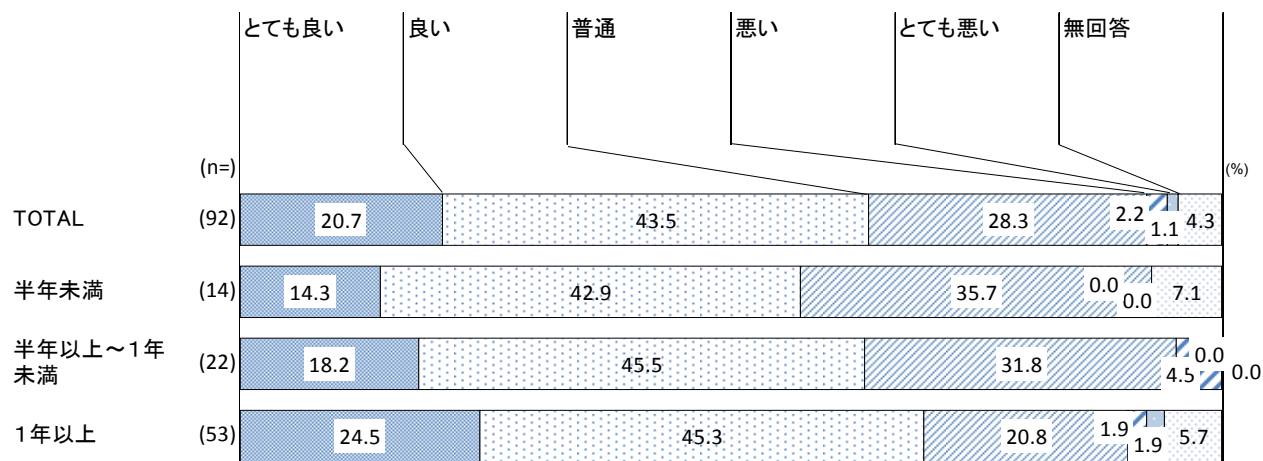
図表 2 (3)①-11 随時対応訪問・オペレーター対応（定期巡回・問18）

【要介護度別】



(無回答 n=3 は非表示)

【利用期間別】



(無回答 n=3 は非表示)

定期巡回サービスを利用する介護者の介護負担感については、「精神的なストレスがたまっている」が44.4%と最も多く、次いで「自分の用事・都合をすませることができない」、「身体的につらい（腰痛や肩こりなど）」（ともに28.9%）となっている。

図表2 (3) ①-12 定期巡回サービス利用介護者の介護負担感（複数回答、定期巡回・問26）
【要介護度別】

		TOTAL (n=187)	要介護度別(無回答n=5非表示)	
(%)			要介護1・2 (n=61)	要介護3・4・5 (n=121)
意思疎通	本人に正確な症状を伝えるのが難しい	25.1	19.7	28.1
	本人に現在の状況を理解してもらえないのが難しい	27.8	26.2	28.9
	本人の言動が理解できないことがある	19.8	11.5	24.8
	本人に受診を勧めても同意してもらえない	4.8	3.3	5.8
介護の仕方	適切な介護方法がわからない	16.0	18.0	15.7
	症状への対応がわからない	12.3	8.2	14.9
	徘徊するため目が離せない	3.2	0.0	5.0
	他の家族等に介護を協力してもらえない	9.1	6.6	10.7
	誰に、何を、どのように相談すればよいか、わからない	2.7	1.6	3.3
	日中、家を空けるのを不安に感じる	28.3	8.2	39.7
	介護を家族等他の人に任せてよいか、悩むことがある	6.4	1.6	9.1
	介護の方針などについて、家族・親戚との意見が合わない	5.3	4.9	5.8
サービス	サービスを思うように利用できない、サービスが足りない	12.8	13.1	13.2
	サービスを利用したら本人の状態が悪化した(ことがある)	2.7	3.3	2.5
	サービス事業者との関係がうまくいかない	4.3	1.6	5.8
	ケアマネジャーとの関係がうまくいかない	2.7	0.0	4.1
介護者ご自身	自分の用事・都合をすませることができない	28.9	9.8	38.8
	身体的につらい(腰痛や肩こりなど)	28.9	11.5	35.5
	精神的なストレスがたまっている	44.4	26.2	53.7
	睡眠時間が不規則になり、健康状態がおもわしくない	19.8	8.2	25.6
	自分の自由になる時間が持てない	27.3	9.8	36.4
	先々のことを考える余裕がない	16.6	9.8	19.8
	経済的につらいと感じるときがある	19.3	8.2	25.6
	仕事と介護の両立が困難	17.6	14.8	19.8
	家事と介護の両立が困難	15.5	13.1	17.4
	その他	1.6	0.0	2.5
特に困っていることはない	5.9	11.5	3.3	
無回答	21.9	34.4	15.7	

② 小規模多機能型居宅介護

利用前の介護サービスについては、「通所介護（デイサービス）」（39.5%）が最も多くなっている。一方、「利用していない」と回答した割合も36.4%となっている。

要介護度別では、「通所介護（デイサービス）」を利用していた人の割合は、要介護1～5は42.2%と要支援1・2の24.5%に比べて高くなっている。

図表2 (3)②-1 利用前の介護サービス（複数回答、小規模・看多機・問7）

【要介護度別】

介護サービス	TOTAL (n=473)	要介護度別（無回答等n=10非表示）	
		要支援1・2 (n=53)	要介護1～5 (n=410)
訪問介護	12.7	7.5	13.7
訪問入浴介護	3.6	0.0	4.1
訪問看護	6.6	0.0	7.6
訪問リハビリ	5.1	0.0	5.9
通所介護（デイサービス）	39.5	24.5	42.2
通所リハビリ	5.3	1.9	5.4
短期入所生活介護（ショートステイ）	13.3	9.4	13.9
福祉用具貸与（レンタル）	18.8	9.4	20.2
夜間対応型訪問介護	0.8	0.0	1.0
認知症対応型通所介護（認知症デイ）	5.1	0.0	5.9
その他	5.9	7.5	5.4
利用していない	36.4	49.1	34.9
無回答	2.5	3.8	1.7

【利用期間別】

介護サービス	TOTAL (n=473)	利用期間別（無回答n=10非表示）				
		半年未満 (n=43)	半年以上～ 1年未満 (n=75)	1年以上～ 1年半未満 (n=51)	1年半以上～ 2年未満 (n=65)	2年以上 (n=229)
訪問介護	12.7	16.3	21.3	9.8	4.6	12.2
訪問入浴介護	3.6	2.3	4.0	3.9	1.5	4.4
訪問看護	6.6	14.0	9.3	3.9	9.2	4.4
訪問リハビリ	5.1	9.3	12.0	3.9	3.1	3.1
通所介護（デイサービス）	39.5	51.2	37.3	29.4	43.1	39.7
通所リハビリ	5.3	7.0	4.0	3.9	4.6	5.7
短期入所生活介護（ショートステイ）	13.3	18.6	14.7	13.7	13.8	11.4
福祉用具貸与（レンタル）	18.8	37.2	28.0	5.9	15.4	16.6
夜間対応型訪問介護	0.8	0.0	2.7	2.0	0.0	0.4
認知症対応型通所介護（認知症デイ）	5.1	7.0	5.3	5.9	3.1	5.2
その他	5.9	9.3	5.3	5.9	3.1	6.6
利用していない	36.4	25.6	28.0	45.1	40.0	38.9
無回答	2.5	4.7	1.3	2.0	3.1	1.3

利用のきっかけについては、「ケアマネジャーから勧められて」(28.1%)が最も多く、次いで「サービス内容があっていたから」(26.6%)、「自宅のそばにあったから」(26.2%)となっている。

小規模多機能等の利用期間別でみると、2年以上の利用者は「自宅のそばにあったから」(28.8%)、「サービス内容があっていたから」(27.5%)が上位となっている。

図表 2 (3)②-2 利用のきっかけ（複数回答、小規模・看多機・問8）

【要介護度別】

利用のきっかけ (%)	TOTAL (n=473)	要介護度別(無回答等n=10非表示)	
		要支援1・2 (n=53)	要介護1～5 (n=410)
ケアマネジャーから勧められて	28.1	13.2	30.2
サービス内容があっていたから	26.6	17.0	28.5
自宅のそばにあったから	26.2	15.1	27.6
地域ケアプラザ・地域包括支援センターで勧められて	23.7	20.8	23.9
退院後の生活に不安があったから	18.6	17.0	19.0
見学をしてみても気に入ったから	18.6	15.1	19.5
医師・病院から勧められて	18.2	13.2	19.0
ご家族・友人から勧められて	14.0	24.5	12.9
以前のサービスが馴染まなかったから	4.0	5.7	3.9
以前利用していた事業所と同じ法人が運営している事業所だったから	4.0	1.9	4.4
利用していた事業所が小規模多機能等にサービスを転換したから	3.6	1.9	3.9
施設への入所待ちのため	1.9	0.0	2.2
ショートステイの空きがなかったから	0.4	0.0	0.5
その他	13.1	17.0	12.7
無回答	2.1	1.9	1.5

【利用期間別】

利用のきっかけ (%)	TOTAL (n=473)	利用期間別(無回答n=10非表示)				
		半年未満 (n=43)	半年以上～ 1年未満 (n=75)	1年以上～ 1年半未満 (n=51)	1年半以上～ 2年未満 (n=65)	2年以上 (n=229)
ケアマネジャーから勧められて	28.1	37.2	34.7	19.6	30.8	26.2
サービス内容があっていたから	26.6	20.9	26.7	21.6	33.8	27.5
自宅のそばにあったから	26.2	23.3	22.7	21.6	24.6	28.8
地域ケアプラザ・地域包括支援センターで勧められて	23.7	23.3	20.0	29.4	21.5	24.5
退院後の生活に不安があったから	18.6	16.3	26.7	19.6	20.0	16.6
見学をしてみても気に入ったから	18.6	18.6	20.0	23.5	23.1	16.6
医師・病院から勧められて	18.2	18.6	25.3	21.6	16.9	16.2
ご家族・友人から勧められて	14.0	9.3	13.3	19.6	12.3	14.0
以前のサービスが馴染まなかったから	4.0	9.3	4.0	2.0	1.5	3.9
以前利用していた事業所と同じ法人が運営している事業所だったから	4.0	4.7	4.0	0.0	6.2	4.4
利用していた事業所が小規模多機能等にサービスを転換したから	3.6	0.0	2.7	3.9	4.6	3.9
施設への入所待ちのため	1.9	7.0	0.0	0.0	3.1	1.3
ショートステイの空きがなかったから	0.4	2.3	0.0	0.0	0.0	0.4
その他	13.1	16.3	21.3	19.6	10.8	9.6
無回答	2.1	4.7	0.0	0.0	1.5	1.7

小規模多機能等の利用サービスについては、「通いサービス」が 84.4%と最も多く、次いで「宿泊サービス」(59.2%)、「訪問サービス」(34.2%)の順となっている。

小規模多機能等の利用期間別では、2年以上の利用者で「通いサービス」が 90.4%、「宿泊サービス」が 59.8%となっている。

図表 2 (3)②-3 利用サービス（複数回答、小規模・看多機・問 10）

【要介護度別】

	TOTAL (n=473)	要介護度別(無回答等n=10非表示)	
		要支援1・2 (n=53)	要介護1~5 (n=410)
通いサービス	84.4	84.9	84.9
訪問サービス	34.2	45.3	32.9
宿泊サービス	59.2	39.6	62.0
看護サービス	26.8	22.6	27.6
無回答	1.1	3.8	0.5

【利用期間別】

	TOTAL (n=473)	利用期間別(無回答n=10非表示)				
		半年未満 (n=43)	半年以上~ 1年未満 (n=75)	1年以上~ 1年半未満 (n=51)	1年半以上~ 2年未満 (n=65)	2年以上 (n=229)
通いサービス	84.4	74.4	74.7	86.3	83.1	90.4
訪問サービス	34.2	41.9	30.7	27.5	24.6	37.1
宿泊サービス	59.2	65.1	61.3	58.8	55.4	59.8
看護サービス	26.8	30.2	24.0	29.4	27.7	26.2
無回答	1.1	2.3	1.3	0.0	1.5	0.0

小規模多機能等の今後の利用希望種類については、「通いサービス」が 55.2%と最も多く、次いで「宿泊サービス」(50.3%)、「訪問サービス」(33.2%)となっている。

利用期間別では、2年以上の利用者で「通いサービス」が 60.3%、「宿泊サービス」が 49.8%となっている。

図表 2 (3)②-4 小規模多機能等の今後の利用希望種類 (小規模・看多機・問11)

【要介護度別】

	TOTAL (n=473)	要介護度別(無回答等n=10非表示)	
		要支援1・2 (n=53)	要介護1~5 (n=410)
通いサービス	55.2	60.4	55.4
訪問サービス	33.2	37.7	33.2
宿泊サービス	50.3	32.1	53.4
看護サービス	32.3	17.0	35.1
無回答	14.8	15.1	13.7

【利用期間別】

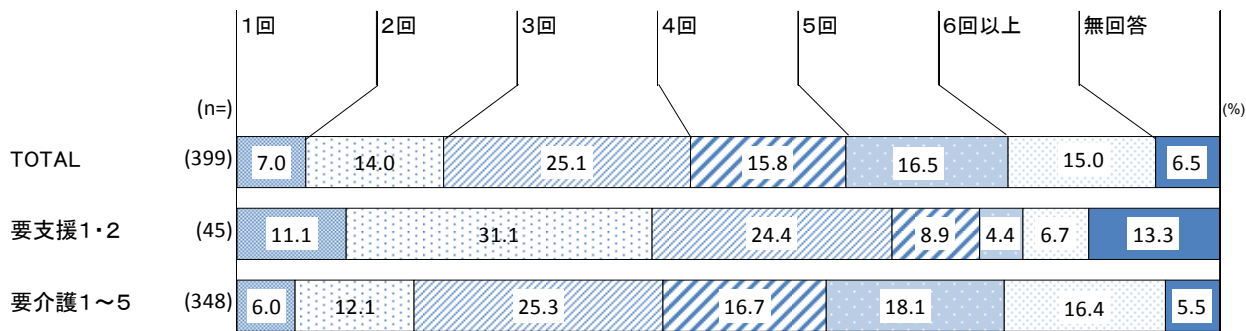
	TOTAL (n=473)	利用期間別(無回答n=10非表示)				
		半年未満 (n=43)	半年以上~ 1年未満 (n=75)	1年以上~ 1年半未満 (n=51)	1年半以上~ 2年未満 (n=65)	2年以上 (n=229)
通いサービス	55.2	48.8	46.7	58.8	49.2	60.3
訪問サービス	33.2	37.2	32.0	23.5	27.7	35.8
宿泊サービス	50.3	58.1	48.0	54.9	50.8	49.8
看護サービス	32.3	30.2	30.7	31.4	30.8	34.5
無回答	14.8	11.6	22.7	5.9	21.5	12.2

通いサービスの週当たりの利用回数については、「3回」が25.1%と最も多くなっている。次いで、「5回」が16.5%となっている。

要介護度別では、要介護1～5で週4回以上の利用が51.2%となっている。

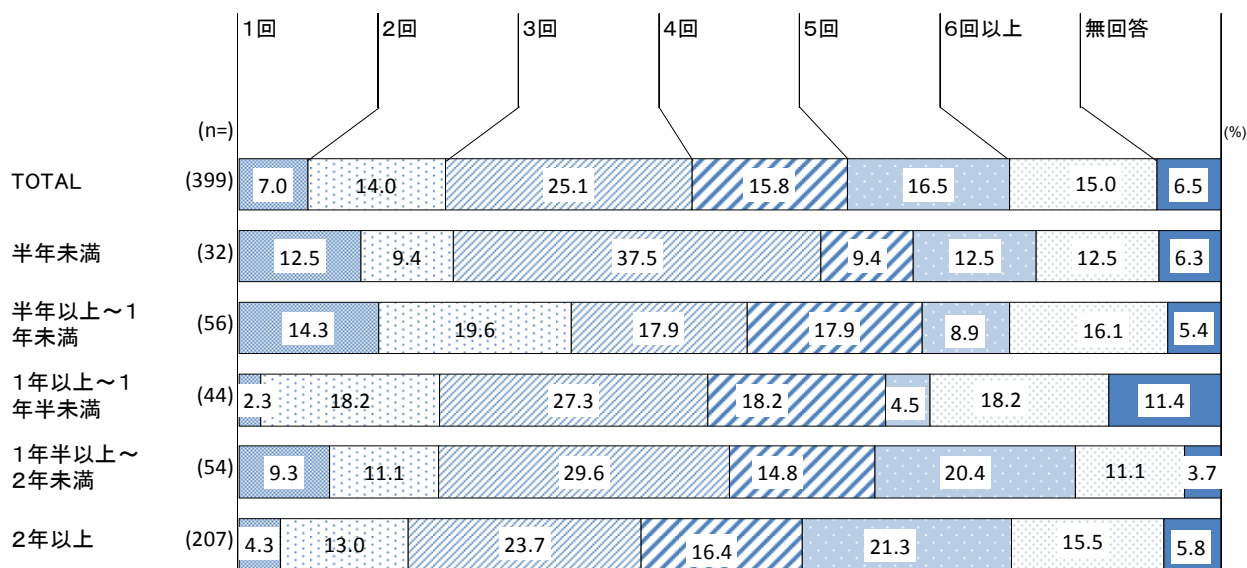
図表2 (3) ②-5 通いサービス・週当たりの利用回数（小規模・看多機・問12）

【要介護度別】



(無回答等 n=6 は非表示)

【利用期間別】



(無回答 n=6 は非表示)

通いサービスの良いと感じることについては、「入浴できる」が 67.2%と最も多く、次いで「同じスタッフによる3つ（通い・訪問・宿泊）のサービスが利用できる」（55.9%）、「宿泊できる」（54.6%）の順となっている。

要介護度別では、要支援1・2と比べて要介護1～5で「入浴できる」（69.8%）や「同じスタッフによる3つ（通い・訪問・宿泊）のサービスが利用できる」（58.0%）、「宿泊できる」（57.2%）、「施設に入所せず自宅で暮らせる」（43.4%）、「複数のサービスが利用できる」（40.5%）が特に高くなっている。

利用期間別では、2年以上の利用者で「施設に入所せず自宅で暮らせる」が 47.8%と多くなっている。

図表 2 (3) ②-6 通いサービス・良いと感じること（複数回答、小規模・看多機・問9）

【要介護度別】

	TOTAL (n=399)	要介護度別（無回答等n=6非表示）	
		要支援1・2 (n=45)	要介護1～5 (n=348)
入浴できる	67.2	51.1	69.8
同じスタッフによる3つ（通い・訪問・宿泊）のサービスが利用できる	55.9	44.4	58.0
宿泊できる	54.6	37.8	57.2
雰囲気が家庭的である	45.4	46.7	45.7
施設に入所せず自宅で暮らせる	42.1	31.1	43.4
複数のサービスが利用できる	38.8	26.7	40.5
料金が定額である	30.3	24.4	31.3
好きな時に通いサービスを利用できる	22.6	22.2	22.7
時間に拘束されずに通いサービスを利用できる	21.6	22.2	21.3
随時自宅に訪問してもらえる	18.3	17.8	18.7
地域の人との交流が持てる	13.0	13.3	13.2
その他	6.5	0.0	7.5
無回答	2.5	4.4	1.7

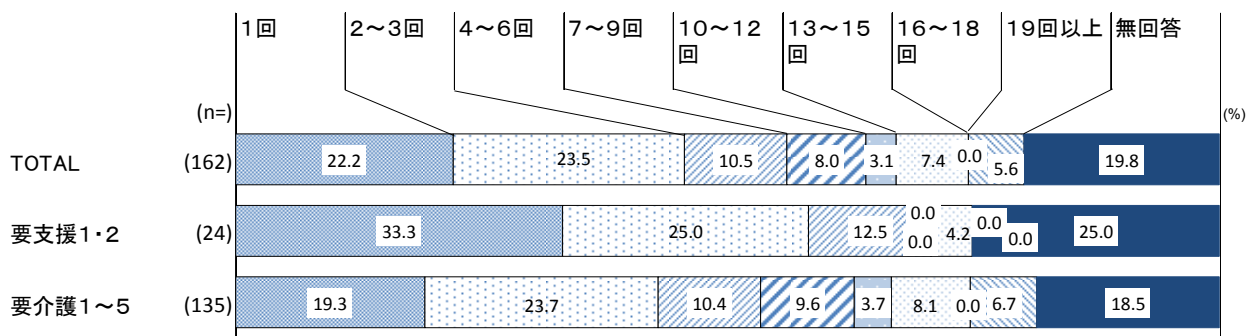
【利用期間別】

	TOTAL (n=399)	利用期間別（無回答n=6非表示）				
		半年未満 (n=32)	半年以上～ 1年未満 (n=56)	1年以上～ 1年半未満 (n=44)	1年半以上～ 2年未満 (n=54)	2年以上 (n=207)
入浴できる	67.2	68.8	67.9	75.0	64.8	66.7
同じスタッフによる3つ（通い・訪問・宿泊）のサービスが利用できる	55.9	62.5	55.4	54.5	57.4	56.0
宿泊できる	54.6	59.4	51.8	50.0	51.9	57.5
雰囲気が家庭的である	45.4	53.1	46.4	50.0	48.1	42.5
施設に入所せず自宅で暮らせる	42.1	43.8	30.4	40.9	35.2	47.8
複数のサービスが利用できる	38.8	34.4	39.3	38.6	38.9	39.6
料金が定額である	30.3	31.3	17.9	43.2	24.1	33.3
好きな時に通いサービスを利用できる	22.6	28.1	25.0	20.5	25.9	20.8
時間に拘束されずに通いサービスを利用できる	21.6	21.9	23.2	15.9	20.4	23.2
随時自宅に訪問してもらえる	18.3	18.8	12.5	31.8	18.5	16.9
地域の人との交流が持てる	13.0	12.5	7.1	4.5	7.4	17.9
その他	6.5	6.3	10.7	13.6	5.6	3.9
無回答	2.5	0.0	3.6	2.3	0.0	2.4

訪問サービスの週当たりの利用回数については、「2～3回」(23.5%)が最も多く、次いで「1回」(22.2%)、「4～6回」が10.5%となっている。

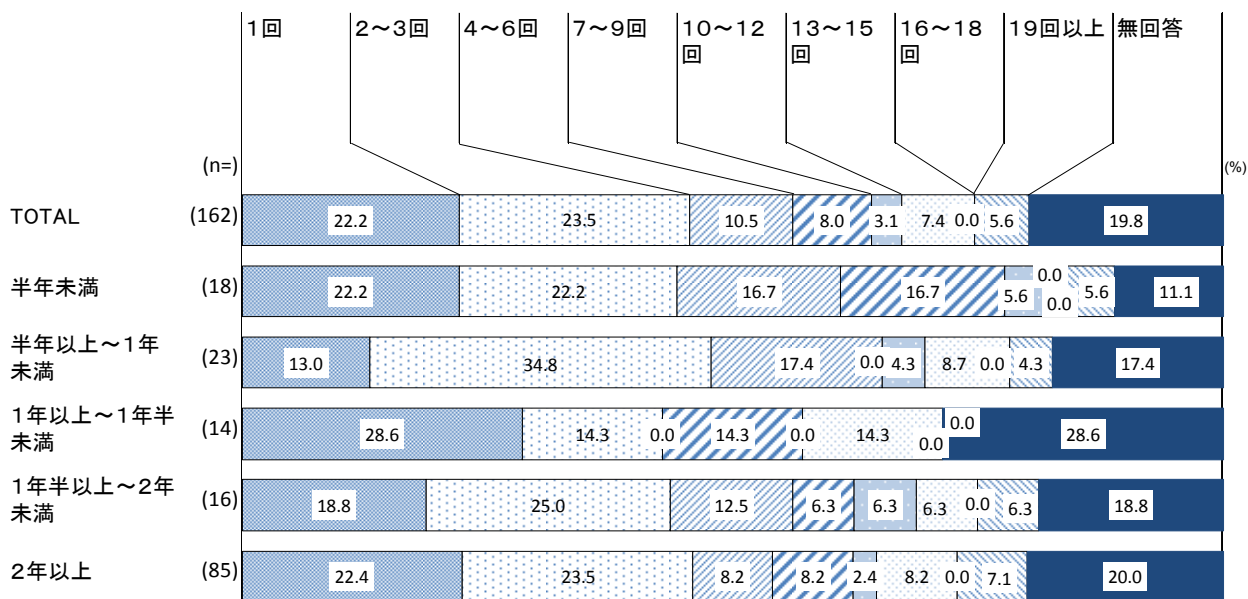
図表 2 (3) ②-7 訪問サービス・週当たりの利用回数 (小規模・看多機・問 16)

【要介護度別】



(無回答等n=3は非表示)

【利用期間別】

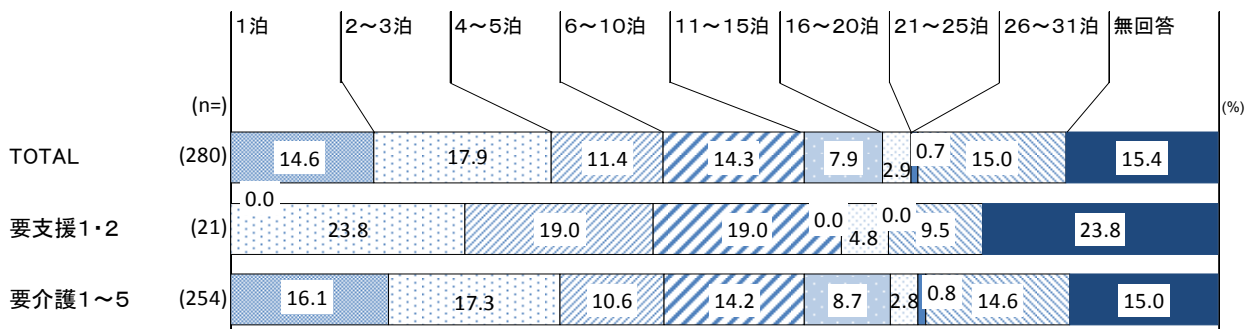


(無回答n=6は非表示)

宿泊サービスの月当たりの利用宿泊数については、「2～3泊」が17.9%と最も多く、次いで、「26～31泊」(15.0%)、「1泊」(14.6%)となっている。

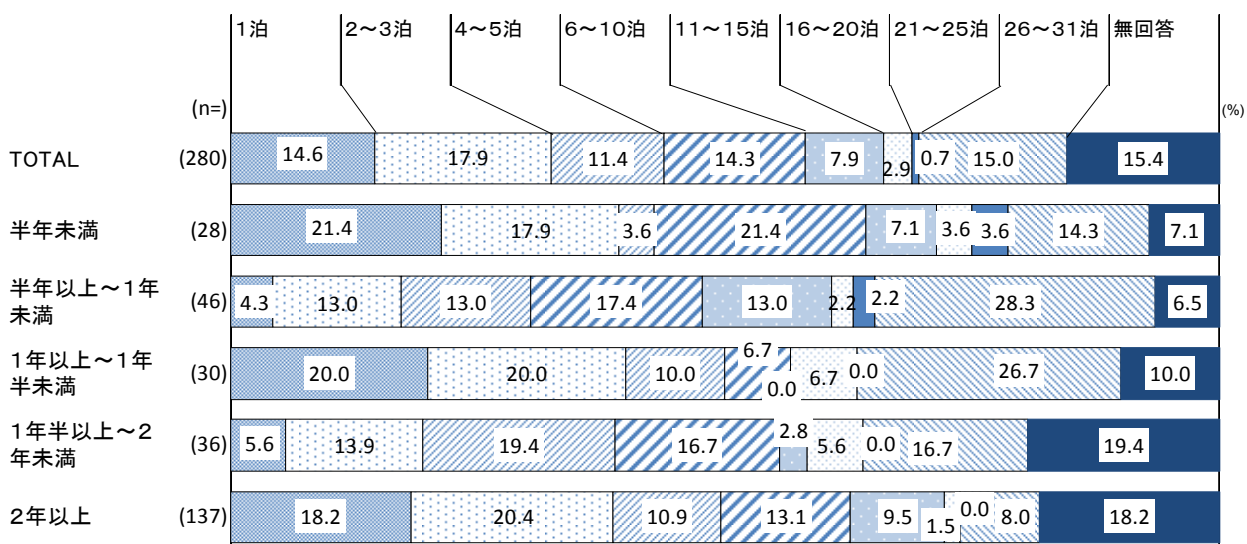
図表 2 (3)②-8 宿泊サービス・月当たりの利用宿泊数 (小規模・看多機・問 19)

【要介護度別】



(無回答等n=5は非表示)

【利用期間別】



(無回答n=3は非表示)

小規模多機能等を利用している介護者の介護負担感については、「精神的なストレスがたまっている」が46.2%と最も多く、次いで「本人に現在の状況を理解してもらるのが難しい」(41.6%)、「日中、家を空けるのを不安に感じる」(35.4%)となっている。

要介護度別では、要介護1～5では「精神的なストレスがたまっている」が47.7%、「本人に現在の状況を理解してもらるのが難しい」が43.8%、「日中、家を空けるのを不安に感じる」が36.3%、「自分の用事・都合をすませることができない」が35.8%、「本人の言動が理解できない」が35.0%となっており、要支援1・2の割合をそれぞれ大きく上回っている。

図表 2 (3)②-9 小規模多機能等利用介護者の介護負担感（複数回答、小規模・看多機・問31）
【要介護度別】

		TOTAL (n=418)	要介護度別(無回答等n=6非表示)	
			要支援1・2 (n=35)	要介護1～5 (n=377)
	(%)			
意思疎通	本人に正確な症状を伝えるのが難しい	30.4	25.7	30.8
	本人に現在の状況を理解してもらるのが難しい	41.6	22.9	43.8
	本人の言動が理解できないことがある	32.8	11.4	35.0
	本人に受診を勧めても同意してもらえない	4.5	5.7	4.2
介護の仕方	適切な介護方法がわからない	19.1	11.4	19.9
	症状への対応がわからない	14.8	5.7	15.6
	徘徊するため目が離せない	11.2	5.7	11.9
	他の家族等に介護を協力してもらえない	17.2	14.3	17.8
	誰に、何を、どのように相談すればよいか、わからない	5.5	0.0	5.8
	日中、家を空けるのを不安に感じる	35.4	25.7	36.3
	介護を家族等他の人に任せてよいか、悩むことがある	10.0	2.9	10.6
	介護の方針などについて、家族・親戚との意見が合わない	1.4	0.0	1.6
サービス	サービスを思うように利用できない、サービスが足りない	11.2	8.6	11.4
	サービスを利用したら本人の状態が悪化した(ことがある)	5.5	5.7	5.6
	サービス事業者との関係がうまくいかない	1.9	5.7	1.6
	ケアマネジャーとの関係がうまくいかない	3.1	2.9	3.2
介護者ご自身	自分の用事・都合をすませることができない	34.2	20.0	35.8
	身体的につらい(腰痛や肩こりなど)	32.8	22.9	34.0
	精神的なストレスがたまっている	46.2	31.4	47.7
	睡眠時間が不規則になり、健康状態がおもわしくない	23.2	17.1	23.9
	自分の自由になる時間が持てない	31.8	28.6	32.4
	先々のことを考える余裕がない	23.7	11.4	24.9
	経済的につらいと感じるときがある	17.2	11.4	17.2
	仕事と介護の両立が困難	23.0	17.1	23.6
	家事と介護の両立が困難	13.6	8.6	14.3
	その他	4.5	2.9	4.5
特に困っていることはない	6.2	11.4	5.8	
無回答	12.2	28.6	10.6	

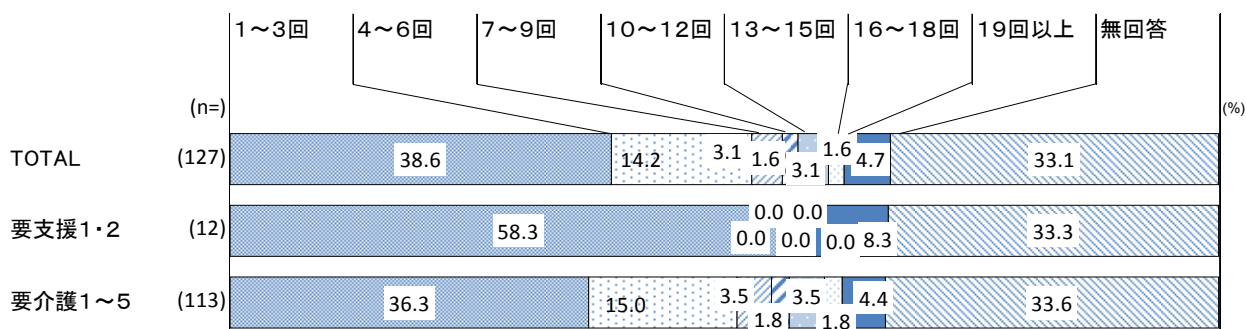
③ 看護小規模多機能型居宅介護

看護サービスの週当たりの利用回数は、要介護1～5では、「1～3回」が36.3%と最も多く、次いで「4～6回」が15.0%となっている。サンプル数が少数であるが、要支援1・2では「1～3回」が58.3%と半数を超えている。

利用期間別では、2年以上では「1～3回」が30.0%と最も多く、次いで「4～6回」が21.7%となっている。

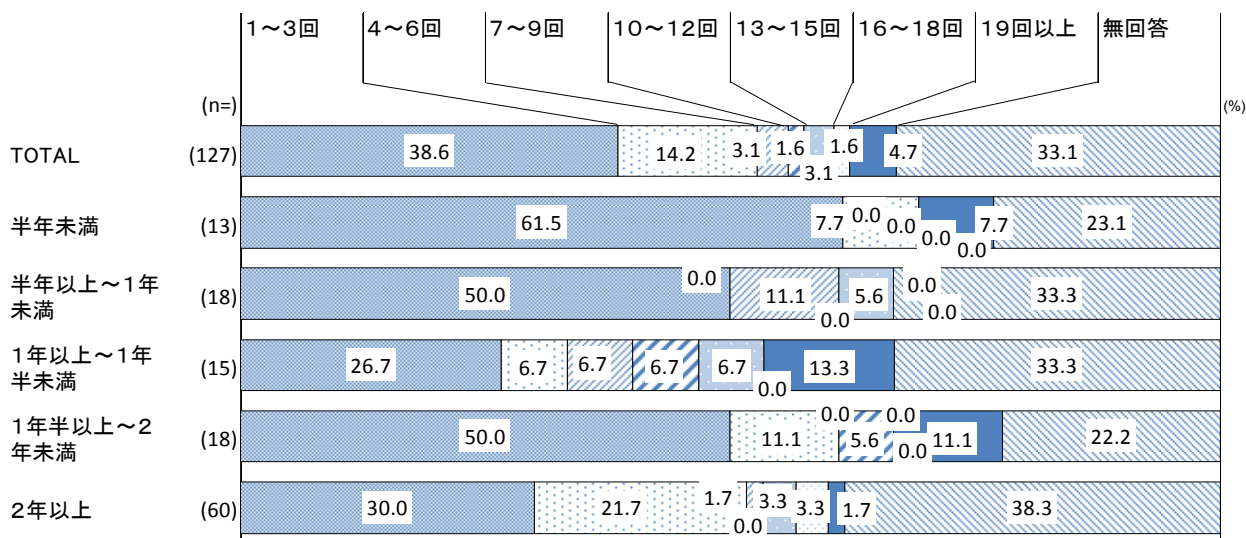
図表2(3)③-1 看護サービス・週当たりの利用回数（小規模・看多機・問24）

【要介護度別】



(無回答等n=2は非表示)

【利用期間別】



(無回答n=3は非表示)

看護サービスの利用種類については、「日常の健康管理（脈拍・血圧測定・検温など）」（74.0%）が最も多く、次いで「服薬管理・介助」（44.1%）、「日常の保健指導（熱中症対策・インフルエンザ予防など）」（34.6%）となっている。

図表 2 (3) ③-2 看護サービス・利用種類（複数回答、小規模・看多機・問 25）

【要介護度別】

	TOTAL (n=127)	要介護度別（無回答等n=2非表示）	
		要支援1・2 (n=12)	要介護1～5 (n=113)
日常の健康管理（脈拍・血圧測定・検温など）	74.0	50.0	76.1
服薬管理・介助	44.1	25.0	46.9
日常の保健指導（熱中症対策・インフルエンザ予防など）	34.6	25.0	36.3
その他かかりつけ医の指示に基づく医療処置	22.8	33.3	22.1
認知症への対応	22.0	0.0	24.8
経管栄養管理	11.0	0.0	12.4
褥瘡の処置	10.2	0.0	11.5
在宅でのリハビリテーション（拘縮予防・機能回復・嚥下機能訓練など）	7.9	0.0	8.8
ターミナルケア	3.1	0.0	3.5
在宅酸素療法	2.4	0.0	2.7
人工肛門または人口膀胱の処置	2.4	0.0	2.7
人工呼吸器管理	0.0	0.0	0.0
その他	7.9	0.0	8.8
無回答	11.8	25.0	10.6

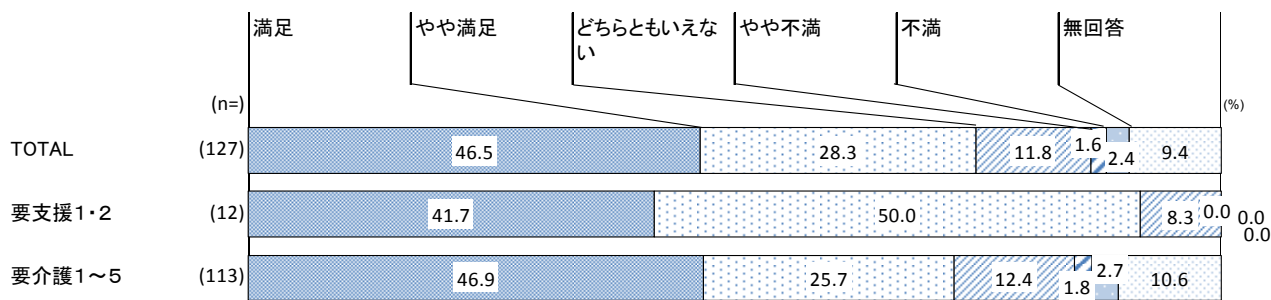
【利用期間別】

	TOTAL (n=127)	要介護度別（無回答n=3非表示）				
		半年未満 (n=13)	半年以上～ 1年未満 (n=18)	1年以上～1年半 未満 (n=15)	1年半以上～ 2年未満 (n=18)	2年以上 (n=60)
日常の健康管理（脈拍・血圧測定・検温など）	74.0	84.6	88.9	66.7	61.1	73.3
服薬管理・介助	44.1	38.5	50.0	53.3	27.8	45.0
日常の保健指導（熱中症対策・インフルエンザ予防など）	34.6	69.2	50.0	26.7	22.2	26.7
その他かかりつけ医の指示に基づく医療処置	22.8	15.4	44.4	20.0	11.1	21.7
認知症への対応	22.0	30.8	22.2	6.7	16.7	25.0
経管栄養管理	11.0	23.1	5.6	20.0	0.0	10.0
褥瘡の処置	10.2	7.7	5.6	13.3	5.6	13.3
在宅でのリハビリテーション（拘縮予防・機能回復・嚥下機能訓練など）	7.9	7.7	11.1	6.7	11.1	5.0
ターミナルケア	3.1	7.7	5.6	0.0	0.0	3.3
在宅酸素療法	2.4	15.4	5.6	0.0	0.0	0.0
人工肛門または人口膀胱の処置	2.4	0.0	11.1	0.0	5.6	0.0
人工呼吸器管理	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	7.9	15.4	11.1	6.7	5.6	6.7
無回答	11.8	0.0	5.6	20.0	5.6	15.0

看護サービスの利用満足度は、『満足（「満足」と「やや満足」の合計）』は、74.8%となっている。
 利用期間別では、2年以上では『満足』は、70.0%となっている。

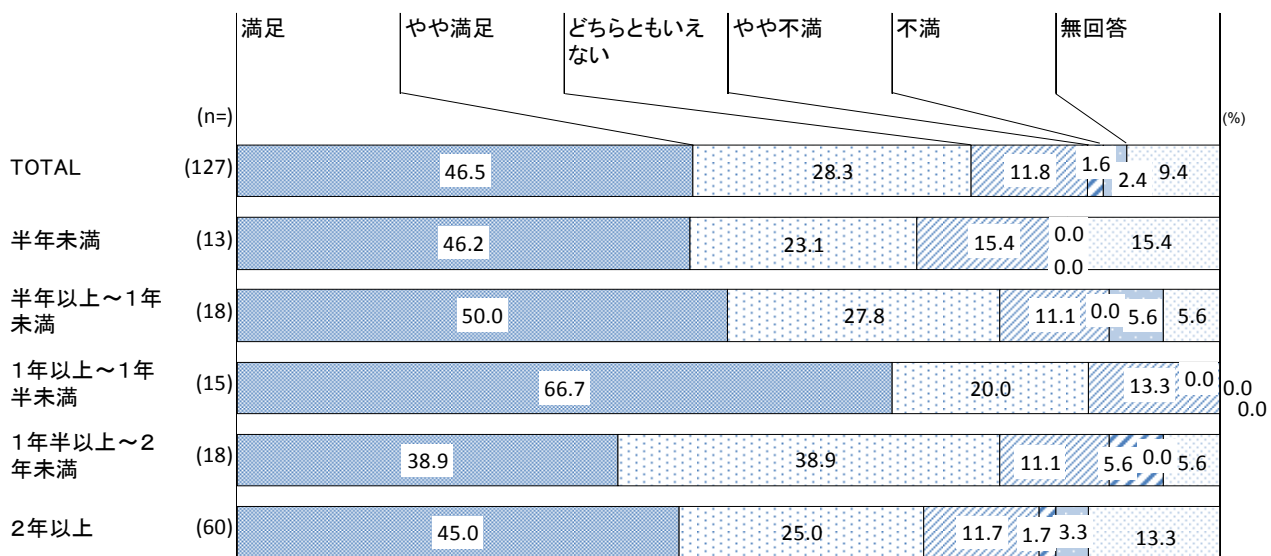
図表 2 (3) ③-3 看護サービス・利用満足度（小規模・看多機・問 26）

【要介護度別】



(無回答等 n=2 は非表示)

【利用期間別】



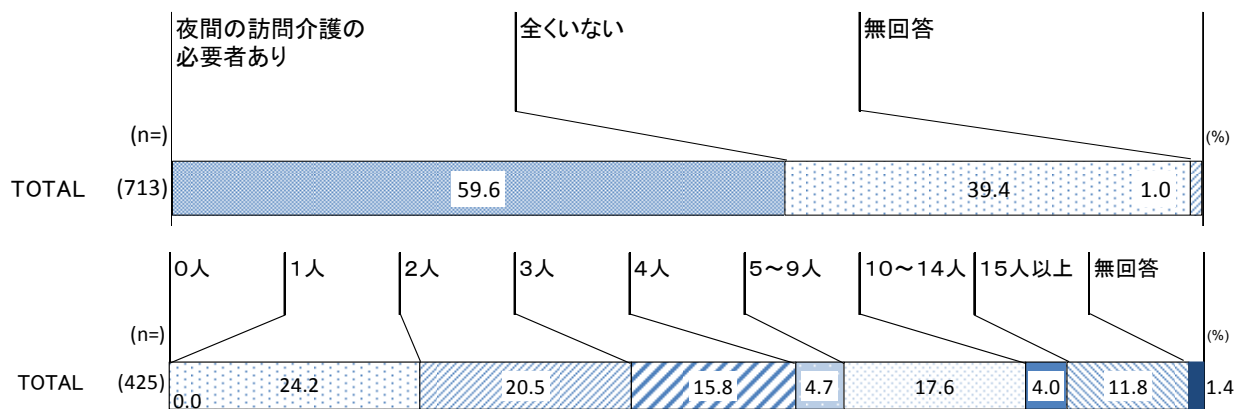
(無回答 n=3 は非表示)

④ 居宅介護支援事業所

居宅介護支援事業所の利用者のうち、夜間の訪問介護利用が必要と思われる要介護者の利用状況については、「夜間の訪問介護の利用の必要あり」が59.6%、「全くいない」が39.4%となっている。

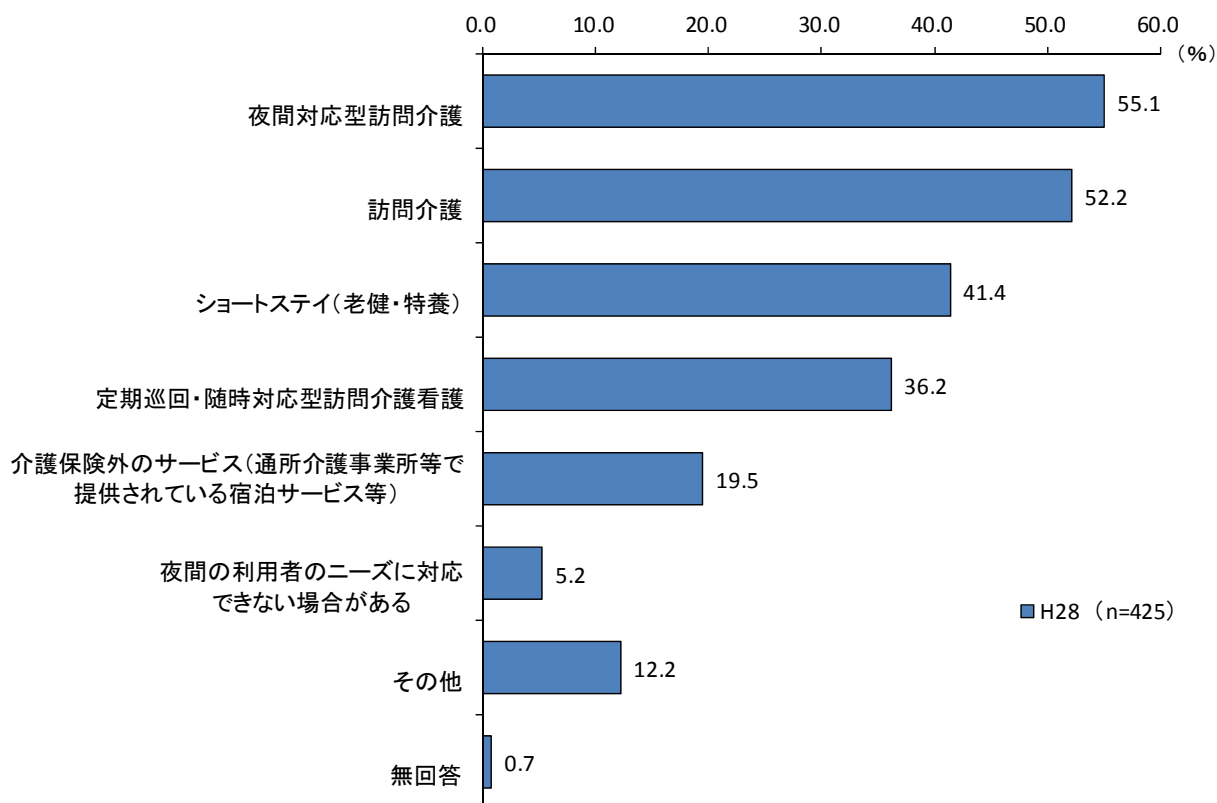
また、居宅介護支援事業所あたりの利用者数は、「1人」が24.2%、「2人」が20.5%、「5～9人」が17.6%となっている。

図表 2 (3) ④-1 夜間訪問介護必要者の利用状況と人数 (居宅介護支援・問 14)



現在のサービス利用状況については、「夜間対応型訪問介護」が55.1%と最も多く、次いで「訪問介護」(52.2%)、「ショートステイ(老健・特養)」(41.4%)となっている。

図表 2 (3) ④-2 現在のサービス利用状況 (複数回答、居宅介護支援・問 14-1)



(4) 介護者による介護

① 主な介護者

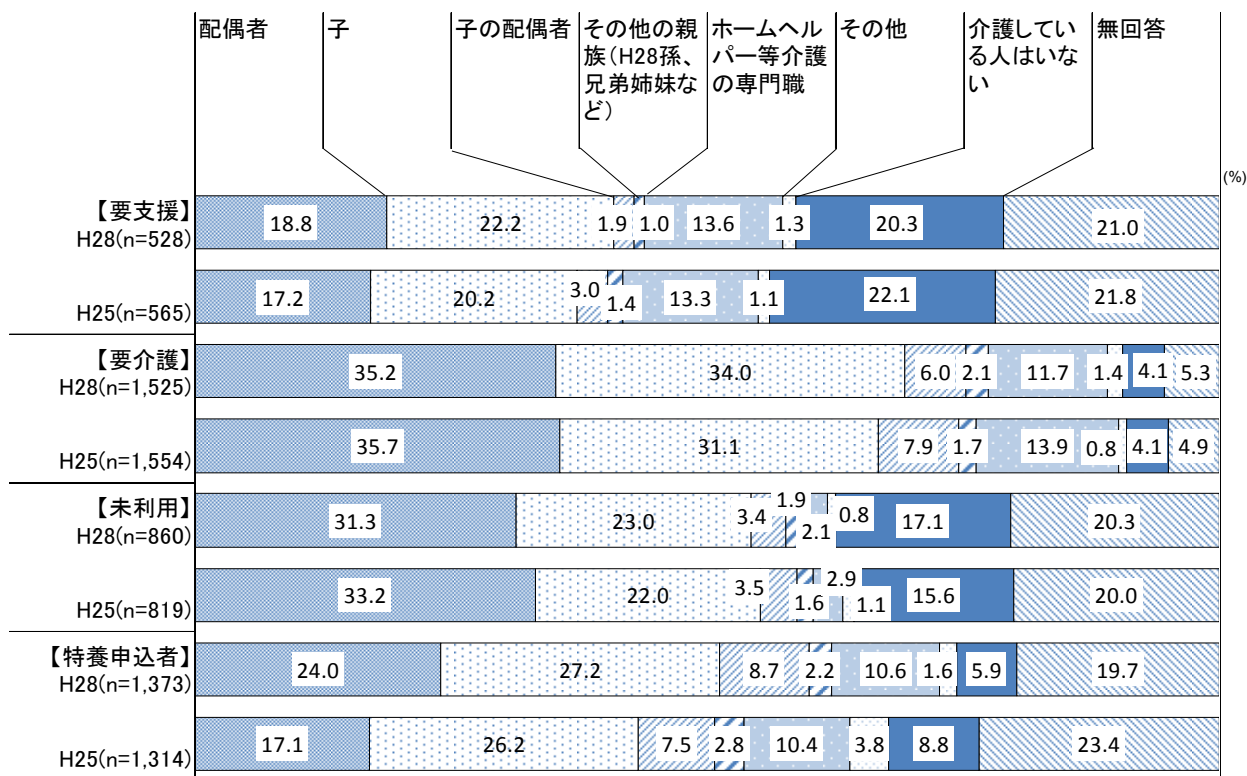
主に介護をしている人について、要支援では「子」(22.2%)、「配偶者」(18.8%)と合わせて約4割となっている。一方、「介護している人はいない」(20.3%)、「無回答」(21.0%)等の主に介護をしている人がいないと思われる方も合わせて4割にのぼっている。

要介護では、「子」(34.0%)、「配偶者」(35.2%)と両者計で約7割となっており、前回(平成25年)に比べて「子」の割合が若干高くなっている(前回31.1%)。

未利用では、「子」に比べて「配偶者」の割合が高く、「配偶者」が31.3%、「子」が23.0%となっている。また、「介護している人はいない」も17.1%となっている。

特養申込者では、「子」が27.2%、「配偶者」が24.0%となっているほか、「子の配偶者」も8.7%となっている。

図表2(4)① 主に介護をしている人(時系列)



② 介護者の年齢・健康状態

要支援者を主に介護している人の年齢構成については、「50 歳代」が最も多く、22.3%となっている。また、75 歳以上の後期高齢者は 31.9%となっている。

図表 2 (4)②-1 主に介護をしている人の年齢（要支援・問 45-1）

【要介護度別】

		主に介護をしている人の年齢									
		(n=)	50歳未満	50歳代	60歳	65歳	70歳	75歳	80歳	85歳以上	無回答
要介護度別	TOTAL	238	9.7	22.3	9.2	9.7	10.9	10.9	11.8	9.2	6.3
	要支援1	83	9.6	16.9	7.2	12.0	10.8	12.0	12.0	13.3	6.0
	要支援2	129	10.9	23.3	10.9	7.8	12.4	10.9	10.9	7.0	6.2

(無回答等n=26は非表示)

要介護者を主に介護している人の年齢構成については、「50 歳代」が最も多く、19.9%となっている。また、75 歳以上の後期高齢者は 32.2%となっている。

75～79 歳の要介護者を主に介護している人の年齢構成については、後期高齢者(75 歳以上)は 44.1%、80～84 歳を主に介護している人の年齢構成については、後期高齢者 (75 歳以上) は 49.4%となっている。

図表 2 (4)②-2 主に介護をしている人の年齢 (要介護・問 21-1)

【要介護度別】

		主に介護をしている人の年齢									
		(n=)	50歳未満	50歳代	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳以上	無回答
要介護度別	(%) TOTAL	1,202	5.8	19.9	12.8	15.9	11.5	10.7	13.6	7.9	1.9
	要介護1	242	6.6	25.2	9.1	10.7	9.9	8.7	17.8	11.6	0.4
	要介護2	479	5.4	19.6	14.2	15.9	10.9	10.9	12.3	8.1	2.7
	要介護3	221	6.8	17.2	14.5	17.2	12.2	8.1	15.4	6.3	2.3
	要介護4	132	3.8	16.7	15.2	19.7	13.6	16.7	7.6	6.1	0.8
	要介護5	102	5.9	19.6	8.8	20.6	15.7	13.7	11.8	3.9	0.0

(無回答 n=26 は非表示)

【要介護者の年齢別】

		主に介護をしている人の年齢									
		(n=)	50歳未満	50歳代	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳以上	無回答
要介護者の年齢別	(%) TOTAL	1,202	5.8	19.9	12.8	15.9	11.5	10.7	13.6	7.9	1.9
	70歳未満	59	11.9	5.1	28.8	42.4	11.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	70～74歳	103	10.7	2.9	1.9	25.2	32.0	16.5	8.7	1.0	1.0
	75～79歳	186	10.8	10.2	1.6	7.0	25.3	31.2	11.3	1.6	1.1
	80～84歳	261	5.0	30.7	5.4	1.1	5.0	13.8	29.1	6.5	3.4
	85歳以上	585	3.1	22.6	20.0	21.2	6.5	3.1	9.2	12.5	1.9

(無回答 n=8 は非表示)

未利用者を主に介護している人の年齢構成については、「50 歳代」が最も多く、21.0%となっている。また、75 歳以上の後期高齢者は 36.5%となっている。

要介護度別では、要支援 1・2、要介護 1・2 とも、「50 歳代」が最も多く、22.1%、23.9%である。75 歳以上の割合は、要支援 1・2 で 37.9%、要介護 1・2 で 32.0%である。

要介護 3・4・5 では、「50 歳代」は 14.0%で 1 割台に対し、75 歳以上の割合が 38.0%となっている。

図表 2 (4)②-3 主に介護をしている人の年齢（未利用・問 21-1）

【要介護度別】

		主に介護をしている人の年齢									
		(%)	(n=)	50歳未満	50歳代	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳以上
要介護度別	TOTAL	520	8.7	21.0	9.4	9.0	10.8	14.6	14.8	7.1	4.6
	要支援1・2	272	8.8	22.1	8.1	7.4	9.9	16.2	15.4	6.3	5.9
	要介護1・2	159	7.5	23.9	14.5	8.8	11.9	9.4	15.7	6.9	1.3
	要介護3・4・5	50	10.0	14.0	6.0	16.0	10.0	24.0	6.0	8.0	6.0

(無回答 n=39 は非表示)

特養申込者を主に介護している人の年齢構成については、「50 歳代」が最も多く、19.3%となっている。また、75 歳以上の後期高齢者は 29.2%となっている。

要介護度別では、要介護 2 で「65～69 歳」が最も多く、24.4%である。要介護 3 以上は「50 歳代」が最も多く、2 割前後となっている。

図表 2 (4)②-4 主に介護をしている人の年齢（特養申込者・問 15-1）

【要介護度別】

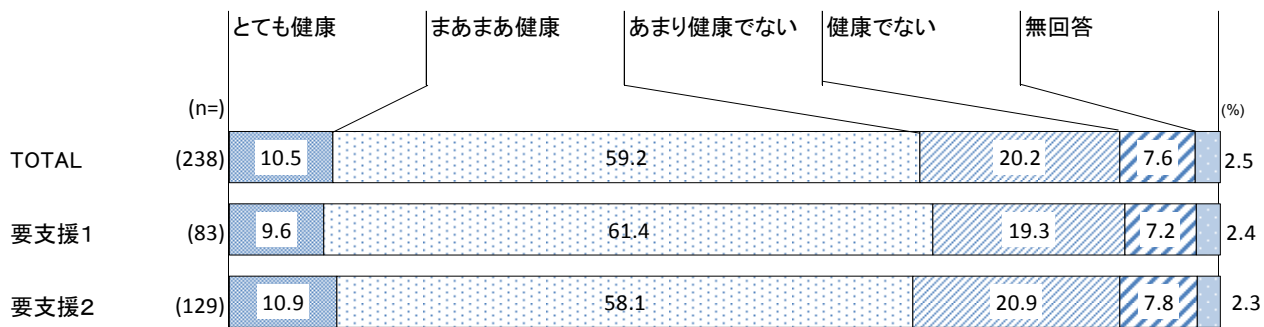
		主に介護をしている人の年齢									
		(%)	(n=)	50歳未満	50歳代	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳以上
要介護度別	TOTAL	876	6.5	19.3	15.2	17.9	9.9	12.0	11.0	6.2	2.1
	要介護1	36	8.3	19.4	16.7	11.1	5.6	13.9	19.4	0.0	5.6
	要介護2	82	3.7	12.2	13.4	24.4	11.0	11.0	9.8	12.2	2.4
	要介護3	291	6.2	19.9	15.8	19.2	9.3	11.0	11.7	5.8	1.0
	要介護4	281	7.1	20.3	17.4	16.0	9.3	11.4	10.7	5.7	2.1
	要介護5	178	6.7	20.2	11.8	16.9	11.8	15.2	9.0	5.6	2.8

(無回答 n=8 は非表示)

要支援者を主に介護している人の健康状態については、「まあまあ健康」が 59.2%と最も多く、次いで「あまり健康でない」が 20.2%となっている。『健康（「とても健康」及び「まあまあ健康」の合計）』との回答は 69.7%、『健康でない（「あまり健康でない」及び「健康でない」の合計）』との回答は 27.8%となっている。

図表 2 (4)②-5 主に介護をしている人の健康状態（要支援・問 48）

【要介護度別】



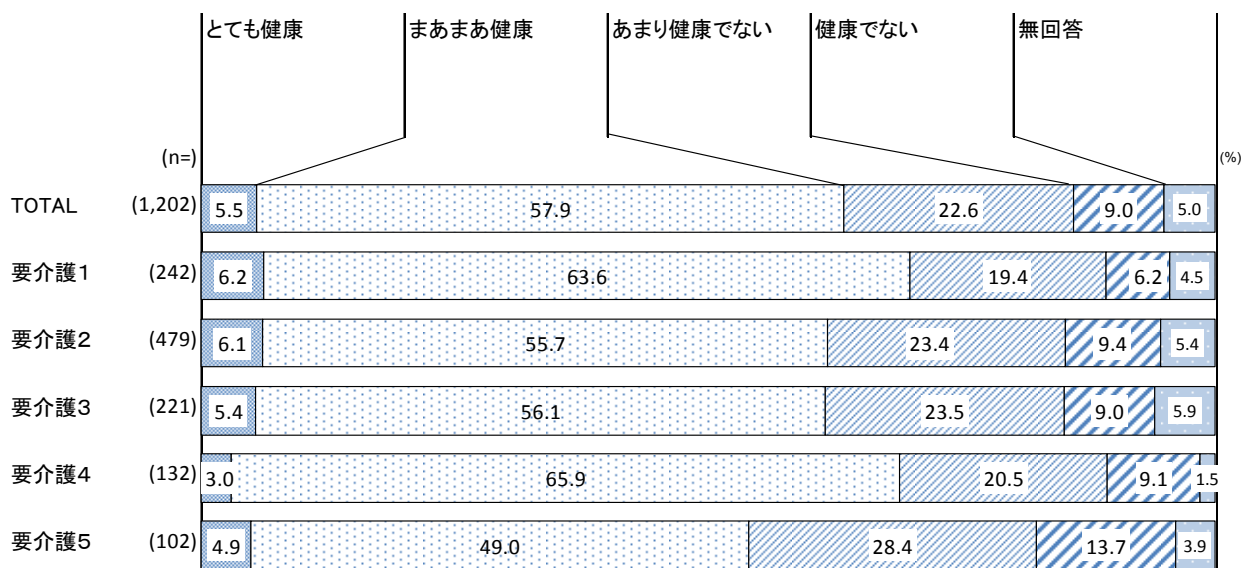
(無回答等 n=26 は非表示)

要介護者を主に介護している人の健康状態については、「まあまあ健康」が 57.9%と最も多く、次いで「あまり健康でない」が 22.6%となっている。『健康（「とても健康」及び「まあまあ健康」の合計）』との回答は 63.4%、『健康でない（「あまり健康でない」及び「健康でない」の合計）』との回答は 31.6%となっている。

要介護5の人を主に介護している人では、『健康』であるのは 53.9%にとどまり、『健康でない』が 42.1%となっている。

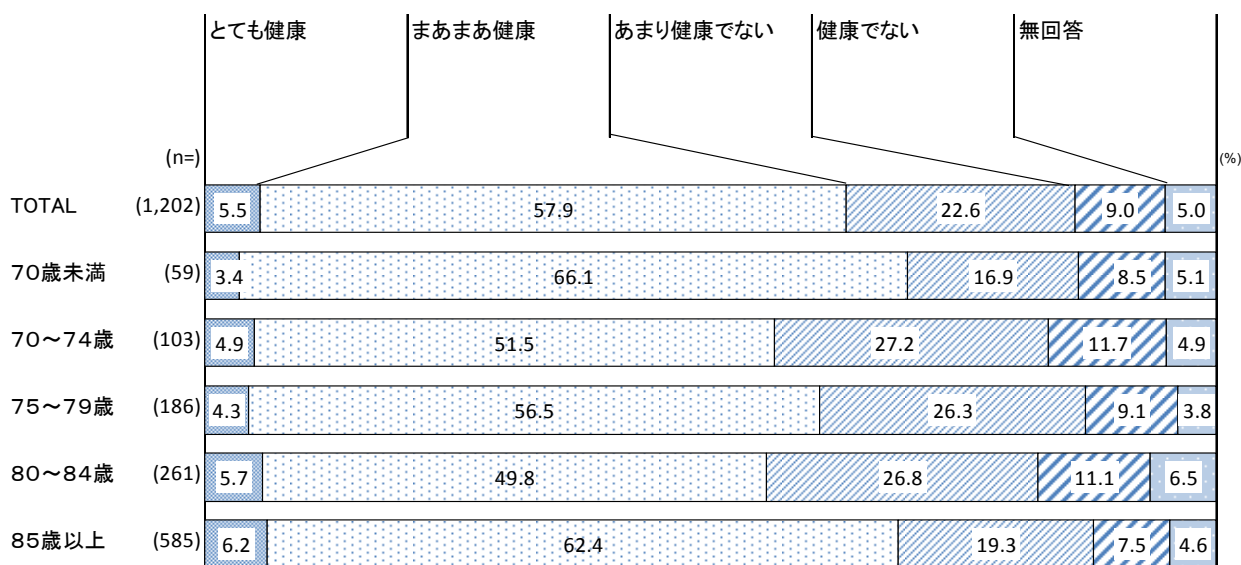
図表 2 (4)②-6 主に介護をしている人の健康状態（要介護・問 29）

【要介護度別】



(無回答 n=26 は非表示)

【要介護者の年齢別】

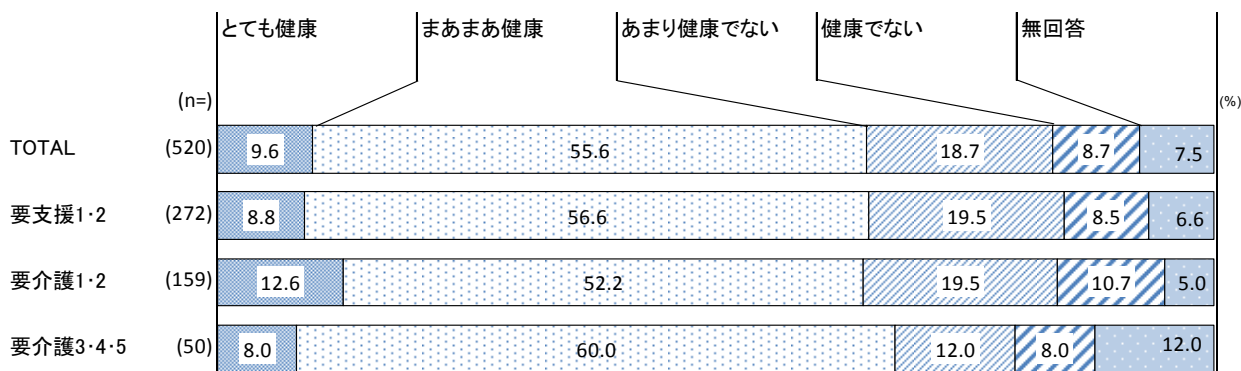


(無回答 n=8 は非表示)

未利用者を主に介護している人の健康状態については、『健康（「とても健康」及び「まあまあ健康」の合計）』との回答は 65.2%、『健康でない（「あまり健康でない」及び「健康でない」の合計）』との回答は 27.4%となっている。要介護度別では、『健康でない』が要介護1・2の人を主に介護している人で 30.2%、要支援1・2で 28.0%となっている。

図表 2 (4)②-7 主に介護をしている人の健康状態（未利用・問 29）

【要介護度別】



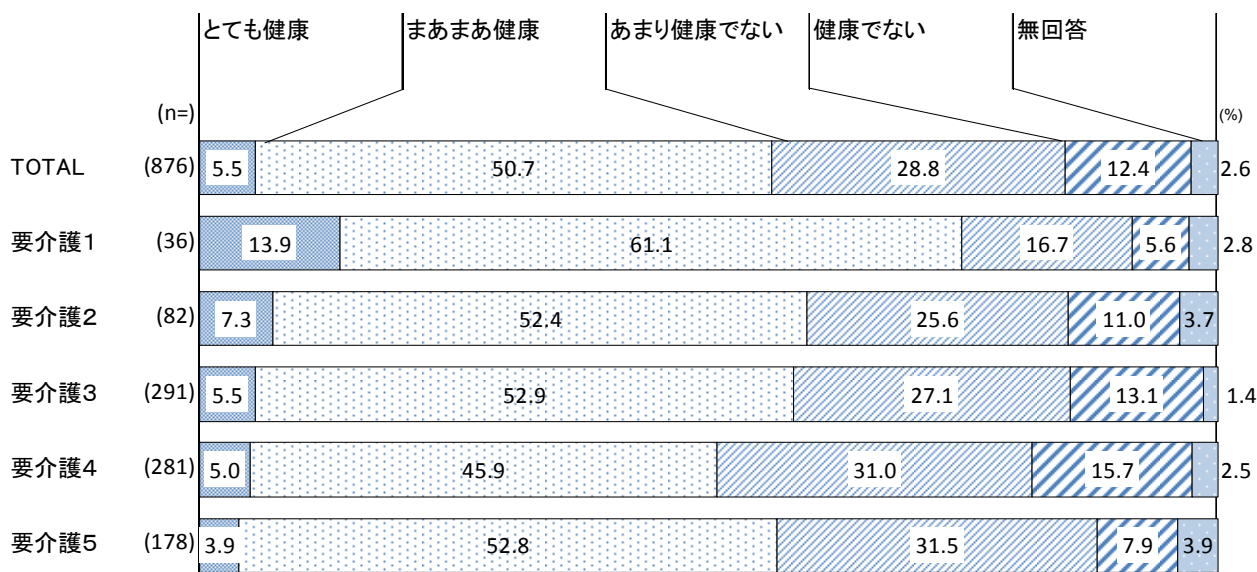
(無回答 n=39 は非表示)

特養申込者を主に介護している人の健康状態については、『健康（「とても健康」及び「まあまあ健康」の合計）』との回答は 56.2%、『健康でない（「あまり健康でない」及び「健康でない」の合計）』との回答は 41.2%となっている。

要介護度別では、要介護4を主に介護している人では、『健康』は 50.9%に対し、『健康でない』は 46.7%と、健康でないとする割合が4割を超えている。

図表 2 (4)②-8 主に介護をしている人の健康状態（特養申込者・問 22）

【要介護度別】



(無回答 n=8 は非表示)

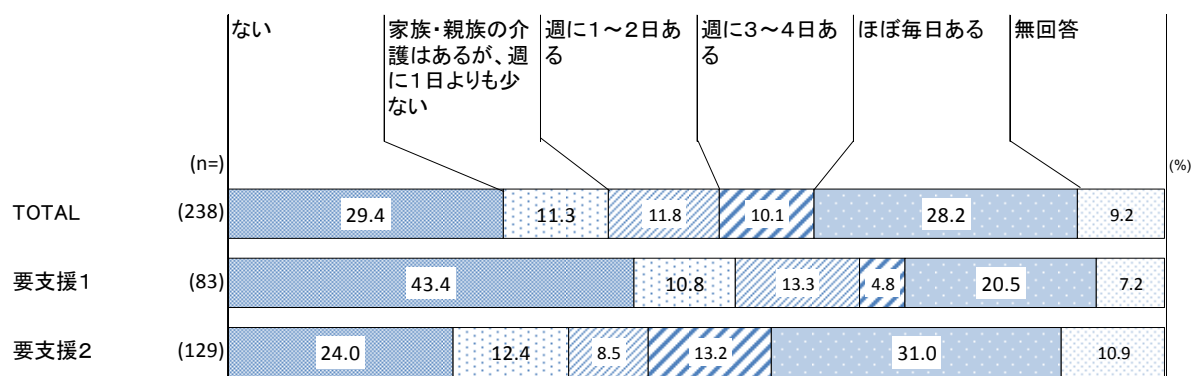
③ 一日当たりの介護時間

要支援者を主に介護している人の介護時間は、「ない」(29.4%)が最も多く、次いで「ほぼ毎日ある」(28.2%)となっている。

要介護度別では、要支援1では「ない」が43.4%であるのに対し、要支援2では「ほぼ毎日ある」が31.0%となっている。

図表2(4)③-1 主に介護をしている人から介護を受ける頻度(要支援・問49)

【要介護度別】



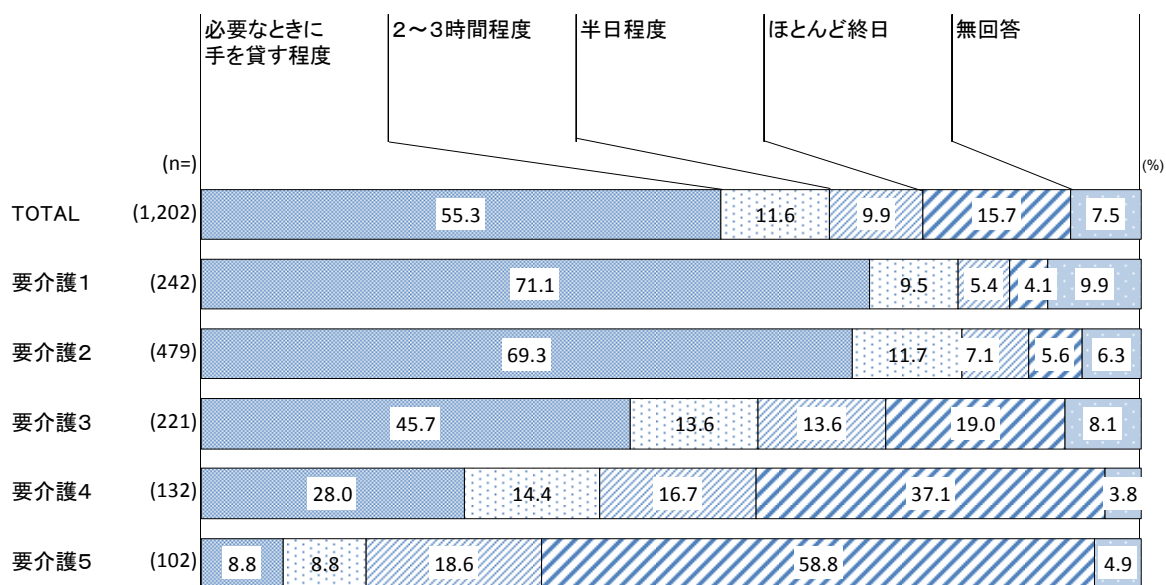
(無回答等 n=26 は非表示)

要介護者を主に介護している人の一日当たりの介護時間は、「必要なときに手を貸す程度」が最も多く、55.3%となっている。

要介護1・2の軽度では、7割前後が「必要なときに手を貸す程度」となっているが、要介護4・5の重度では「ほとんど終日」の割合が高くなっており、要介護4では37.1%、要介護5では58.8%を占めている。

図表2(4)③-2 一日当たりの介護時間(要介護・問24)

【要介護度別】



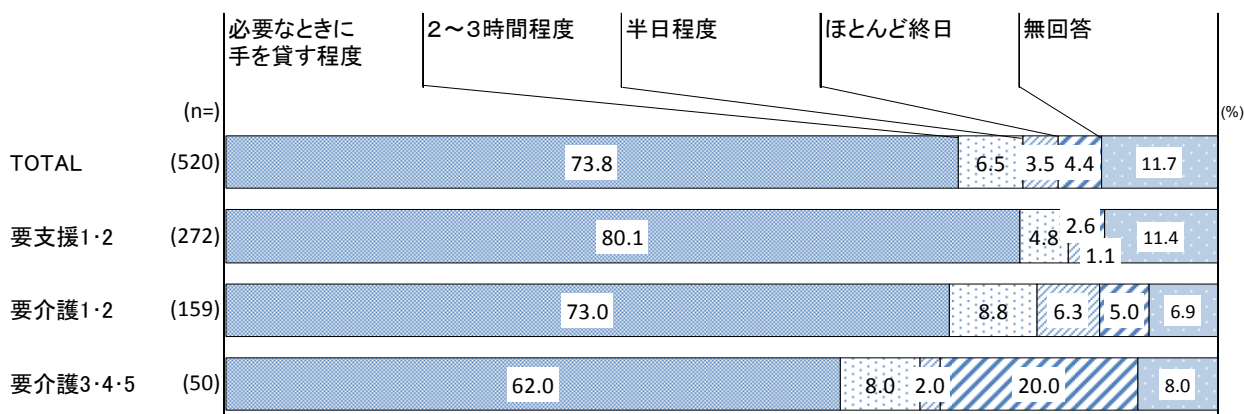
(無回答 n=26 は非表示)

未利用者を主に介護している人の一日当たりの介護時間は、「必要なときに手を貸す程度」が最も多く、73.8%となっている。

要介護度別では、要支援1・2、要介護1・2の軽度では、7～8割が「必要なときに手を貸す程度」となっているが、要介護3・4・5の中・重度では「ほとんど終日」の割合が高く、20.0%となっている。

図表 2 (4)③-3 一日当たりの介護時間（未利用・問 24）

【要介護度別】



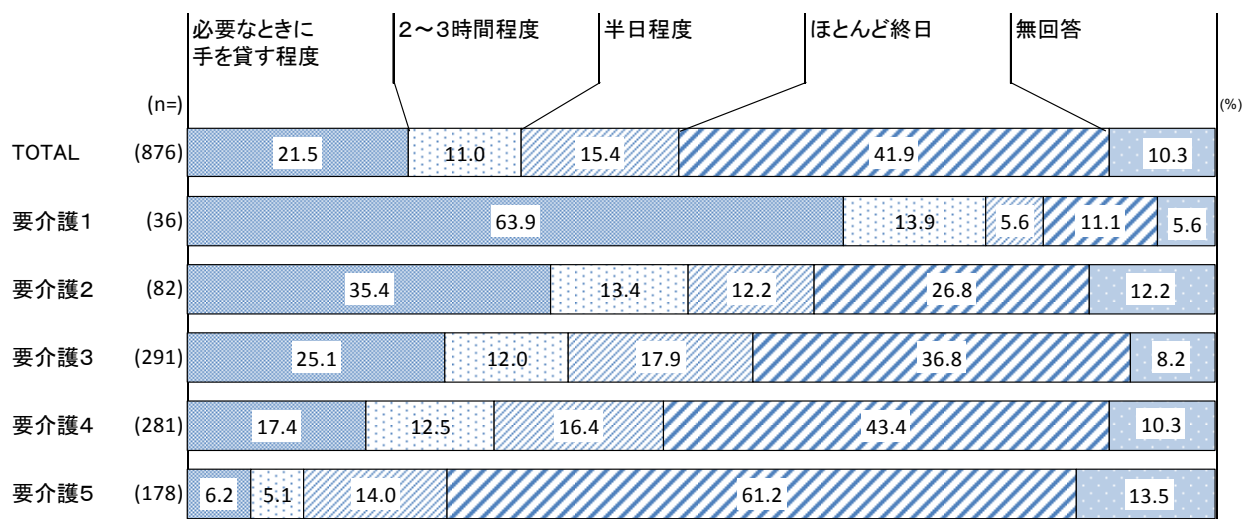
(無回答 n=39 は非表示)

特養申込者を主に介護している人の一日当たりの介護時間は、介護度によって大きく異なっており、全体では「ほとんど終日」が最も多く、41.9%となっている。

要介護度別では、重度者の介護者ほど介護時間が長く、要介護5では「ほとんど終日」が61.2%となっている。

図表 2 (4)③-4 一日当たりの介護時間（特養申込者・問 18）

【要介護度別】



(無回答 n=8 は非表示)

(5) 介護負担

① 介護負担感

要支援者の在宅での介護について、主に介護をしている人が困ったり負担に感じていることについては、「身体的につらい（腰痛や肩こりなど）」が20.2%で最も多く、次いで「精神的なストレスがたまっている」が19.7%となっている。

要介護度別では、要支援2で「精神的なストレスがたまっている」が24.8%、「身体的につらい（腰痛や肩こりなど）」が20.9%、「自分の用事・都合をすませることができない」、「先々のことを考える余裕がない」がともに16.3%、「日中、家を空けるのを不安に感じる」が15.5%、「来客にも気を遣う」、「自分の自由になる時間が持てない」がともに14.0%と、要支援1の割合を大きく上回っている。

図表 2 (5)①-1 介護負担感（複数回答、要支援・問52）

【要介護度別】

		TOTAL (n=238)	要介護度別(無回答等n=26非表示)	
(%)			要支援1 (n=83)	要支援2 (n=129)
意思疎通	本人に正確な症状を伝えるのが難しい	6.3	3.6	7.8
	本人に現在の状況を理解してもらるのが難しい	8.8	7.2	9.3
	来客にも気を遣う	10.5	6.0	14.0
	本人の言動が理解できないことがある	6.7	7.2	6.2
	本人に受診を勧めても同意してもらえない	2.1	3.6	1.6
介護の仕方	適切な介護方法がわからない	5.9	1.2	8.5
	症状への対応がわからない	6.3	4.8	5.4
	徘徊するため目が離せない	0.0	0.0	0.0
	他の家族等に介護を協力してもらえない	3.4	2.4	4.7
	誰に、何を、どのように相談すればよいか、わからない	2.5	1.2	3.1
	日中、家を空けるのを不安に感じる	13.4	10.8	15.5
	介護を家族等他の人に任せてよいか、悩むことがある	3.4	0.0	5.4
	介護の方針などについて、家族・親戚との意見が合わない	0.8	0.0	1.6
	介護することに対して、周囲の理解が得られない	1.7	0.0	2.3
サービス	サービスを思うように利用できない、サービスが足りない	9.2	9.6	7.8
	サービスを利用したら本人の状態が悪化した(ことがある)	0.8	0.0	1.6
	サービス事業者との関係がうまくいかない	0.8	0.0	1.6
	ケアマネジャーとの関係がうまくいかない	2.1	2.4	1.6
介護者ご自身	自分の用事・都合をすませることができない	11.3	2.4	16.3
	身体的につらい(腰痛や肩こりなど)	20.2	16.9	20.9
	精神的なストレスがたまっている	19.7	12.0	24.8
	睡眠時間が不規則になり、健康状態がおもわしくない	5.9	2.4	7.8
	自分の自由になる時間が持てない	10.1	3.6	14.0
	先々のことを考える余裕がない	13.0	8.4	16.3
	経済的につらいと感じるときがある	8.4	7.2	7.8
	仕事と介護の両立が困難	4.2	1.2	5.4
	育児と介護の両立が困難	0.8	0.0	0.8
	家事と介護の両立が困難	3.4	0.0	5.4
	その他	3.4	1.2	4.7
	特に困っていることはない	23.9	27.7	22.5
無回答	26.1	27.7	24.8	

要介護者の在宅での介護について、主に介護をしている人が困ったり負担に感じていることについては、「精神的なストレスがたまっている」が最も多く、48.5%となっている。次いで「日中、家を空けるのを不安に感じる」(44.3%)や「身体的につらい(腰痛や肩こりなど)」(34.4%)、「自分の自由になる時間が持てない」(34.3%)、「本人に現在の状況を理解してもらるのが難しい」(33.7%)となっている。全体的に、介護者自身や意思疎通に関する内容の割合が高くなっている。

また、介護度が高くなるにつれ、「自分の自由になる時間が持てない」、「身体的につらい」の割合が高くなる傾向にある。

図表 2 (5)①-2 介護負担感(複数回答、要介護・問30)

【要介護度別】

	(%)	TOTAL (n=1202)	要介護度別(無回答n=26非表示)				
			要介護1 (n=242)	要介護2 (n=479)	要介護3 (n=221)	要介護4 (n=132)	要介護5 (n=102)
意思疎通	本人に正確な症状を伝えるのが難しい	21.5	19.4	15.9	24.4	30.3	38.2
	本人に現在の状況を理解してもらるのが難しい	33.7	32.6	27.6	38.9	45.5	43.1
	来客にも気を遣う	18.3	14.0	16.7	21.7	18.2	28.4
	本人の言動が理解できないことがある	29.3	27.7	24.0	33.0	40.2	39.2
	本人に受診を勧めても同意してもらえない	6.1	5.8	6.3	5.0	8.3	6.9
介護の仕方	適切な介護方法がわからない	9.2	7.9	8.8	10.9	12.1	6.9
	症状への対応がわからない	11.4	10.7	9.8	13.1	15.2	13.7
	徘徊するため目が離せない	3.4	1.7	1.3	6.3	8.3	5.9
	他の家族等に介護を協力してもらえない	12.1	5.4	11.5	16.3	17.4	14.7
	誰に、何を、どのように相談すればよいか、わからない	4.8	5.4	4.8	2.3	7.6	3.9
	日中、家を空けるのを不安に感じる	44.3	39.3	40.1	52.0	53.8	49.0
	介護を家族他の人に任せてよいか、悩むことがある	7.6	7.0	6.7	10.4	4.5	11.8
	介護の方針などについて、家族・親戚との意見が合わない	3.2	1.2	1.9	3.6	6.1	6.9
	介護することに対して、周囲の理解が得られない	2.8	3.3	2.1	1.8	3.8	3.9
サービス	サービスを思うように利用できない、サービスが足りない	7.7	7.0	8.4	8.6	3.8	10.8
	サービスを利用したら本人の状態が悪化した(ことがある)	3.2	2.1	2.3	3.2	5.3	8.8
	サービス事業者との関係がうまくいかない	2.1	1.2	2.9	1.4	2.3	2.0
	ケアマネジャーとの関係がうまくいかない	1.7	1.2	2.1	1.4	0.8	2.9
介護者自身	自分の用事・都合をすませることができない	27.2	24.0	22.8	27.1	40.2	43.1
	身体的につらい(腰痛や肩こりなど)	34.4	22.7	28.6	47.1	47.0	52.0
	精神的なストレスがたまっている	48.5	40.9	46.1	58.8	53.8	52.0
	睡眠時間が不規則になり、健康状態がおもわしくない	17.4	8.7	12.1	23.1	28.8	40.2
	自分の自由になる時間が持てない	34.3	25.2	29.4	39.8	45.5	58.8
	先々のことを考える余裕がない	23.9	17.8	19.4	27.6	35.6	39.2
	経済的につらいと感じるときがある	21.1	14.5	16.9	28.1	26.5	37.3
	仕事と介護の両立が困難	11.9	8.3	12.7	14.0	12.1	13.7
	育児と介護の両立が困難	0.7	0.8	0.2	0.9	0.0	2.0
	家事と介護の両立が困難	8.2	6.6	5.8	11.8	12.9	10.8
その他	4.7	4.5	3.5	5.4	7.6	6.9	
特に困っていることはない	9.4	9.5	11.5	5.4	9.8	5.9	
無回答	10.1	12.8	12.7	7.7	1.5	3.9	

【要介護者の年齢別】

	(%)	TOTAL (n=1202)	要介護者の年齢別(無回答n=8非表示)					
			65歳未満 (n=3)	65～69歳 (n=56)	70～74歳 (n=103)	75～79歳 (n=186)	80～84歳 (n=261)	85歳以上 (n=585)
意思疎通	本人に正確な症状を伝えるのが難しい	21.5	0.0	8.9	17.5	17.2	16.9	26.8
	本人に現在の状況を理解してもらおうのが難しい	33.7	33.3	17.9	32.0	30.6	29.1	38.6
	来客にも気を遣う	18.3	0.0	21.4	25.2	16.7	18.0	17.6
	本人の言動が理解できないことがある	29.3	66.7	32.1	29.1	32.3	28.4	28.2
	本人に受診を勧めても同意してもらえない	6.1	33.3	3.6	5.8	4.8	6.9	6.3
介護の仕方	適切な介護方法がわからない	9.2	0.0	14.3	13.6	5.9	9.6	8.4
	症状への対応がわからない	11.4	0.0	21.4	12.6	8.1	14.2	9.7
	徘徊するため目が離せない	3.4	0.0	3.6	7.8	3.8	2.7	2.9
	他の家族等に介護を協力してもらえない	12.1	33.3	8.9	11.7	11.8	10.0	13.3
	誰に、何を、どのように相談すればよいか、わからない	4.8	33.3	8.9	4.9	5.9	5.7	3.6
	日中、家を空けるのを不安に感じる	44.3	33.3	46.4	45.6	46.8	40.2	45.0
	介護を家族等他の人に任せてよいか、悩むことがある	7.6	0.0	1.8	6.8	5.4	7.3	9.2
	介護の方針などについて、家族・親戚との意見が合わない	3.2	33.3	1.8	1.0	2.2	2.7	4.1
	介護することに対して、周囲の理解が得られない	2.8	33.3	3.6	0.0	2.2	3.1	3.2
サービス	サービスを思うように利用できない、サービスが足りない	7.7	33.3	10.7	10.7	6.5	5.4	8.4
	サービスを利用したら本人の状態が悪化した(ことがある)	3.2	0.0	1.8	1.9	4.8	2.7	3.4
	サービス事業者との関係がうまくいかない	2.1	0.0	0.0	0.0	3.8	3.4	1.5
	ケアマネジャーとの関係がうまくいかない	1.7	0.0	3.6	1.0	1.6	1.9	1.5
介護者ご自身	自分の用事・都合をすませることができない	27.2	33.3	28.6	24.3	29.6	25.3	27.9
	身体的につらい(腰痛や肩こりなど)	34.4	33.3	26.8	40.8	38.2	36.8	31.8
	精神的なストレスがたまっている	48.5	33.3	48.2	50.5	53.2	42.1	49.6
	睡眠時間が不規則になり、健康状態がおもわしくない	17.4	33.3	21.4	19.4	19.4	14.6	17.1
	自分の自由になる時間が持てない	34.3	33.3	33.9	34.0	40.3	28.4	35.6
	先々のことを考える余裕がない	23.9	0.0	32.1	29.1	32.3	20.3	21.5
	経済的につらいと感じるときがある	21.1	33.3	33.9	31.1	29.0	19.5	16.4
	仕事と介護の両立が困難	11.9	0.0	16.1	10.7	11.8	10.3	12.5
	育児と介護の両立が困難	0.7	0.0	3.6	1.0	1.6	0.0	0.3
	家事と介護の両立が困難	8.2	0.0	7.1	12.6	5.4	9.2	8.0
その他	4.7	0.0	3.6	5.8	3.8	5.4	4.6	
特に困っていることはない	9.4	0.0	10.7	4.9	7.5	10.0	10.6	
無回答	10.1	33.3	10.7	9.7	8.1	11.9	9.6	

特養申込者の在宅での介護について、主に介護をしている人が困ったり負担に感じていることについては、「精神的なストレスがたまっている」が71.6%で最も多いほか、「本人に現在の状況を理解してもらうのが難しい」(58.7%)、「日中、家を空けるのを不安に感じる」(57.4%)、「身体的につらい(腰痛や肩こりなど)」(55.0%)がいずれも半数を超えている。

要介護度別では、特に要介護3の人を主に介護している人で「精神的なストレスがたまっている」が77.3%、「日中、家を空けるのを不安に感じる」が62.9%と高くなっている。

また、「自分の自由になる時間が持てない」は要介護4・5の人を主に介護している人で約5割となっている。

図表2(5)①-3 介護負担感(複数回答、特養申込者・問23)

【要介護度別】

	TOTAL (n=876)	要介護度別(無回答n=8非表示)				
		要介護1 (n=36)	要介護2 (n=82)	要介護3 (n=291)	要介護4 (n=281)	要介護5 (n=178)
意思疎通	(%)					
本人に正確な症状を伝えるのが難しい	46.0	16.7	34.1	48.8	48.4	49.4
本人に現在の状況を理解してもらうのが難しい	58.7	50.0	48.8	62.5	62.3	52.8
来客にも気を遣う	27.5	22.2	31.7	29.2	26.7	25.3
本人の言動が理解できないことがある	49.3	36.1	35.4	52.9	49.5	52.2
本人に受診を勧めても同意してもらえない	8.7	11.1	6.1	8.9	10.3	5.6
介護の仕方						
適切な介護方法がわからない	20.1	11.1	15.9	18.9	24.2	19.7
症状への対応がわからない	20.8	22.2	15.9	19.6	23.8	20.2
徘徊するため目が離せない	15.0	8.3	8.5	16.5	21.7	6.2
他の家族等に介護を協力してもらえない	28.8	22.2	31.7	29.6	31.7	22.5
誰に、何を、どのように相談すればよいか、わからない	8.4	16.7	8.5	7.9	8.5	7.9
日中、家を空けるのを不安に感じる	57.4	44.4	45.1	62.9	58.4	55.6
介護を家族等他の人に任せてよいか、悩むことがある	14.2	5.6	9.8	13.4	16.7	15.2
介護の方針などについて、家族・親戚との意見が合わない	5.8	2.8	7.3	6.2	6.8	3.9
介護することに対して、周囲の理解が得られない	6.4	11.1	7.3	5.8	6.8	5.6
サービス						
サービスを思うように利用できない、サービスが足りない	11.6	8.3	12.2	11.0	13.5	10.7
サービスを利用したら本人の状態が悪化した(ことがある)	8.0	5.6	6.1	6.9	9.6	9.0
サービス事業者との関係がうまくいかない	2.4	5.6	0.0	1.7	2.8	3.4
ケアマネジャーとの関係がうまくいかない	2.9	2.8	2.4	2.1	2.5	5.1
介護者ご自身						
自分の用事・都合をすませることができない	47.0	33.3	35.4	48.5	48.4	52.2
身体的につらい(腰痛や肩こりなど)	55.0	30.6	36.6	54.6	60.5	62.4
精神的なストレスがたまっている	71.6	58.3	68.3	77.3	72.2	64.6
睡眠時間が不規則になり、健康状態がおもわしくない	40.3	25.0	32.9	43.0	42.0	41.0
自分の自由になる時間が持てない	46.5	25.0	32.9	48.1	50.5	50.0
先々のことを考える余裕がない	45.3	36.1	41.5	47.4	47.3	43.3
経済的につらいと感じるときがある	39.2	30.6	42.7	41.2	40.9	33.1
仕事と介護の両立が困難	28.3	25.0	25.6	28.2	32.4	25.3
育児と介護の両立が困難	2.3	2.8	1.2	2.4	2.1	2.8
家事と介護の両立が困難	23.5	19.4	20.7	23.0	27.4	21.3
その他	7.1	13.9	11.0	8.2	6.0	3.9
特に困っていることはない	0.6	5.6	0.0	0.7	0.0	0.6
無回答	8.2	11.1	11.0	6.2	6.8	12.4

② 不安を感じる介護

要支援者を主に介護している人が不安を感じる内容は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（28.2%）、「外出の付き添い、送迎等」（26.9%）、「食事の準備（調理等）」（23.5%）が2割を超えている。また、「不安を感じていることは、特にない」は17.2%となっている。

要介護度別にみると、要支援2では、「外出の付き添い、送迎等」が31.0%と3割を超えている。

図表2 (5)②-1 不安を感じる介護（複数回答、要支援・問54）

【要介護度別】

	TOTAL (n=238)	要介護度別(無回答等n=26非表示)	
		要支援1 (n=83)	要支援2 (n=129)
(%)			
日中の排泄	3.8	2.4	3.9
夜間の排泄	4.6	1.2	4.7
食事の介助(食べる時)	2.1	1.2	2.3
入浴・洗身	11.8	7.2	13.2
身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	2.1	0.0	2.3
衣服の着脱	2.9	2.4	2.3
屋内の移乗・移動	5.9	6.0	6.2
外出の付き添い、送迎等	26.9	21.7	31.0
服薬	4.6	6.0	3.1
認知症状への対応	12.2	8.4	14.7
医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	4.2	1.2	6.2
食事の準備(調理等)	23.5	16.9	27.1
その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	28.2	26.5	27.9
金銭管理や生活面に必要な諸手続き	16.4	20.5	12.4
その他	4.2	3.6	5.4
不安を感じていることは、特にない	17.2	18.1	20.2
無回答	19.7	22.9	17.1

要介護者を主に介護している人が不安に感じる内容は、「外出の付き添い、送迎等」が最も多く、34.9%となっており、次いで「認知症状への対応」(31.9%)、「食事の準備(調理等)」(28.8%)となっている。

要介護1・2の軽度では、「外出の付き添い、送迎等」や「認知症状への対応」、「食事の準備(調理等)」が高くなっている。一方、要介護3・4・5の中・重度では、「日中の排泄」や「夜間の排泄」が高くなっている。

図表2(5)②-2 不安に感じる介護(複数回答、要介護・問32)

【要介護度別】

	TOTAL (n=1202)	要介護度別(無回答n=26非表示)				
		要介護1 (n=242)	要介護2 (n=479)	要介護3 (n=221)	要介護4 (n=132)	要介護5 (n=102)
日中の排泄	17.7	9.9	13.8	22.6	34.8	26.5
夜間の排泄	23.6	14.5	20.5	29.4	34.8	38.2
食事の介助(食べる時)	8.9	4.5	7.1	7.2	14.4	26.5
入浴・洗身	26.5	19.0	30.5	31.2	25.0	19.6
身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	8.3	4.5	8.6	11.3	6.8	11.8
衣服の着脱	13.7	7.4	12.1	22.6	15.9	16.7
屋内の移乗・移動	12.6	8.3	10.2	18.1	15.9	19.6
外出の付き添い、送迎等	34.9	36.4	38.0	37.1	27.3	19.6
服薬	15.1	17.8	13.6	19.9	12.1	8.8
認知症状への対応	31.9	37.6	31.3	32.6	30.3	26.5
医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	4.7	4.5	3.1	5.0	6.1	11.8
食事の準備(調理等)	28.8	31.4	30.9	28.5	23.5	19.6
その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	25.9	28.5	26.5	29.4	17.4	17.6
金銭管理や生活面に必要な諸手続き	19.8	25.2	18.4	20.8	13.6	20.6
その他	4.7	3.7	4.2	4.5	4.5	9.8
不安に感じていることは、特にな	8.5	8.3	9.4	5.4	8.3	9.8
無回答	8.2	9.1	8.6	10.0	3.0	6.9

また、主に介護をしている人の年齢が 50～64 歳では、「認知症状への対応」が 4 割と高くなっている一方、主に介護をしている人の年齢が 75 歳以上では「外出の付き添い、送迎等」が 4 割前後と高く、主に介護をしている人の年齢により不安に感じる内容も異なっている。

図表 2 (5)②-3 不安に感じる介護（複数回答、要介護・問 32）

【主に介護をしている人の年齢別】

(%)	TOTAL (n=1202)	主に介護をしている人の年齢別（無回答n=23非表示）			
		50歳未満 (n=70)	50歳代 (n=239)	60～64歳 (n=154)	65～69歳 (n=191)
日中の排泄	17.7	15.7	21.3	20.1	23.6
夜間の排泄	23.6	22.9	24.3	23.4	30.4
食事の介助(食べる時)	8.9	8.6	7.5	8.4	12.6
入浴・洗身	26.5	28.6	25.1	30.5	24.1
身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	8.3	10.0	7.5	9.1	5.8
衣服の着脱	13.7	11.4	5.0	15.6	11.5
屋内の移乗・移動	12.6	17.1	15.1	17.5	13.1
外出の付き添い、送迎等	34.9	34.3	30.1	31.2	34.0
服薬	15.1	18.6	12.1	13.0	10.5
認知症状への対応	31.9	38.6	41.0	41.6	35.6
医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	4.7	2.9	6.3	7.1	5.2
食事の準備(調理等)	28.8	34.3	23.4	28.6	23.0
その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	25.9	30.0	23.4	22.1	22.5
金銭管理や生活面に必要な諸手続き	19.8	28.6	15.9	18.2	17.3
その他	4.7	2.9	6.3	3.9	8.9
不安に感じていることは、特にない	8.5	8.6	6.7	7.8	10.5
無回答	8.2	5.7	6.7	4.5	8.4

(%)	TOTAL (n=1202)	(つづき)主に介護をしている人の年齢別（無回答n=23非表示）			
		70～74歳 (n=138)	75～79歳 (n=129)	80～84歳 (n=163)	85歳以上 (n=95)
日中の排泄	17.7	15.2	20.9	10.4	9.5
夜間の排泄	23.6	23.9	29.5	16.0	15.8
食事の介助(食べる時)	8.9	8.0	13.2	4.9	8.4
入浴・洗身	26.5	28.3	28.7	29.4	15.8
身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	8.3	12.3	9.3	8.0	7.4
衣服の着脱	13.7	23.9	22.5	16.6	9.5
屋内の移乗・移動	12.6	8.7	12.4	8.6	8.4
外出の付き添い、送迎等	34.9	32.6	42.6	40.5	38.9
服薬	15.1	18.8	19.4	15.3	22.1
認知症状への対応	31.9	18.8	27.1	19.6	31.6
医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	4.7	5.1	4.7	2.5	2.1
食事の準備(調理等)	28.8	27.5	40.3	29.4	34.7
その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	25.9	24.6	33.3	31.3	27.4
金銭管理や生活面に必要な諸手続き	19.8	21.7	24.0	19.6	25.3
その他	4.7	3.6	1.6	3.1	5.3
不安に感じていることは、特にない	8.5	13.8	7.8	8.0	5.3
無回答	8.2	8.0	5.4	12.3	12.6

(6) 仕事と介護の両立

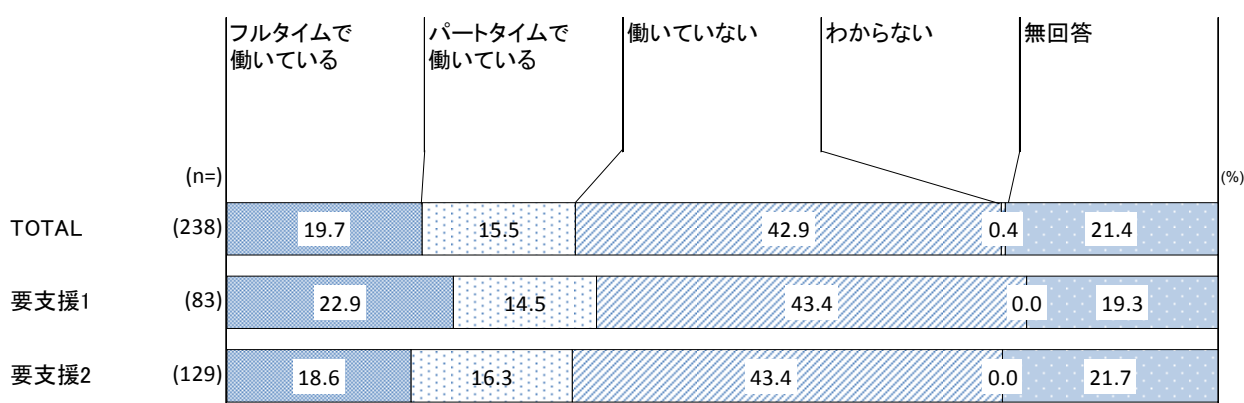
① 主に介護をしている人の就労状況

主に介護をしている人の就労状況は、要支援者を介護している人で『働いている（「フルタイムで働いている」及び「パートタイムで働いている」の合計）』は 35.2%となっている。最も軽度である要支援1を主に介護している人では、『働いている』は 37.4%と最も多くなっている。

要介護者を主に介護している人で『働いている』は 29.0%、介護保険サービス未利用者を主に介護している人で『働いている』は 28.1%となっている。

図表2 (6)① 主に介護をしている人の就労状況・勤務形態
(要支援・問53)

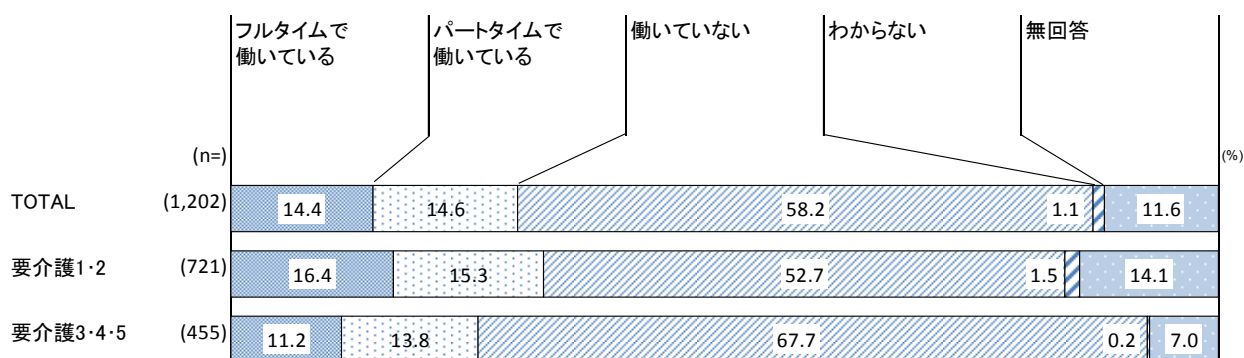
【要介護度別】



(無回答等 n=26 は非表示)

(要介護・問31)

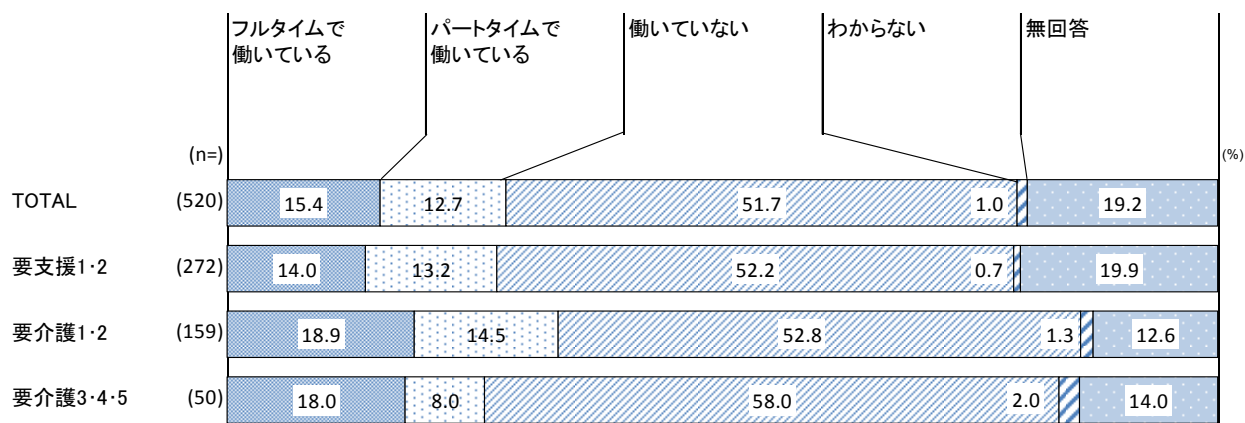
【要介護度別】



(無回答 n=26 は非表示)

(未利用・問 31)

【要介護度別】



(無回答 n=39 は非表示)

② 主に介護をしている人の働き方の調整

働き方の調整は、要介護者を主に介護している人では「介護のために、『労働時間を調整』しながら、働いている」は37.8%と高く、要介護3・4・5と中・重度になるほどその割合は高くなっている。

一方、要支援及び介護保険サービス未利用者を主に介護している人は、働き方の調整は「特に行っていない」が5割超となっている。

図表2(6)② 主に介護をしている人の働き方の調整状況（複数回答）
（要支援・問53-1）

【要介護度別】

調整状況	TOTAL (n=84)	要介護度別(無回答等n=8非表示)	
		要支援1 (n=31)	要支援2 (n=45)
特に行っていない	58.3	67.7	55.6
介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている	15.5	16.1	15.6
介護のために、「休暇」を取りながら、働いている	10.7	3.2	13.3
介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	2.4	0.0	2.2
介護のために、前掲(2~4)以外の調整をしながら、働いている	15.5	16.1	15.6
無回答	3.6	0.0	6.7

（要介護・問31-1）

【要介護度別】

調整状況	TOTAL (n=349)	要介護度別(無回答n=7非表示)	
		要介護1・2 (n=228)	要介護3・4・5 (n=114)
特に行っていない	32.7	36.4	24.6
介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている	37.8	33.3	47.4
介護のために、「休暇」を取りながら、働いている	12.9	14.5	10.5
介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	2.0	1.8	2.6
介護のために、前掲(2~4)以外の調整をしながら、働いている	17.5	15.8	21.1
無回答	6.9	7.5	5.3

（未利用・問31-1）

【要介護度別】

調整状況	TOTAL (n=146)	要介護度別(無回答n=6非表示)		
		要支援1・2 (n=74)	要介護1・2 (n=53)	要介護3・4・5 (n=13)
特に行っていない	52.1	60.8	45.3	46.2
介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている	21.2	9.5	30.2	46.2
介護のために、「休暇」を取りながら、働いている	7.5	8.1	7.5	7.7
介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	2.1	0.0	3.8	7.7
介護のために、前掲(2~4)以外の調整をしながら、働いている	11.6	6.8	13.2	23.1
無回答	9.6	14.9	3.8	0.0

③ 勤務先からの支援

仕事と介護の両立に効果がある勤務先からの支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」や「制度を利用しやすい職場づくり」、「介護をしている従業員への経済的な支援」等があがっている。

図表 2 (6)③ 仕事と介護の両立に効果がある勤務先からの支援（複数回答）
（要支援・問 53-2）

【要介護度別】

	TOTAL (n=84)	要介護度別（無回答等n=8非表示）	
		要支援1 (n=31)	要支援2 (n=45)
自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	10.7	9.7	11.1
介護休業・介護休暇等の制度の充実	25.0	25.8	22.2
制度を利用しやすい職場づくり	25.0	25.8	26.7
仕事と介護の両立に関する情報の提供	13.1	12.9	13.3
介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	10.7	9.7	13.3
介護をしている従業員への経済的な支援	22.6	22.6	22.2
その他	6.0	9.7	4.4
特になし	27.4	35.5	24.4
無回答	15.5	12.9	17.8

（要介護・問 31-2）

【要介護度別】

	TOTAL (n=349)	要介護度別（無回答n=7非表示）	
		要介護1・2 (n=228)	要介護3・4・5 (n=114)
自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	18.3	19.3	16.7
介護休業・介護休暇等の制度の充実	25.2	24.1	28.1
制度を利用しやすい職場づくり	23.2	24.1	21.9
仕事と介護の両立に関する情報の提供	10.6	9.6	13.2
介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	8.9	7.9	11.4
介護をしている従業員への経済的な支援	23.2	23.2	24.6
その他	6.9	6.1	7.9
特になし	20.6	21.1	20.2
無回答	9.7	9.6	8.8

（未利用・問 31-2）

【要介護度別】

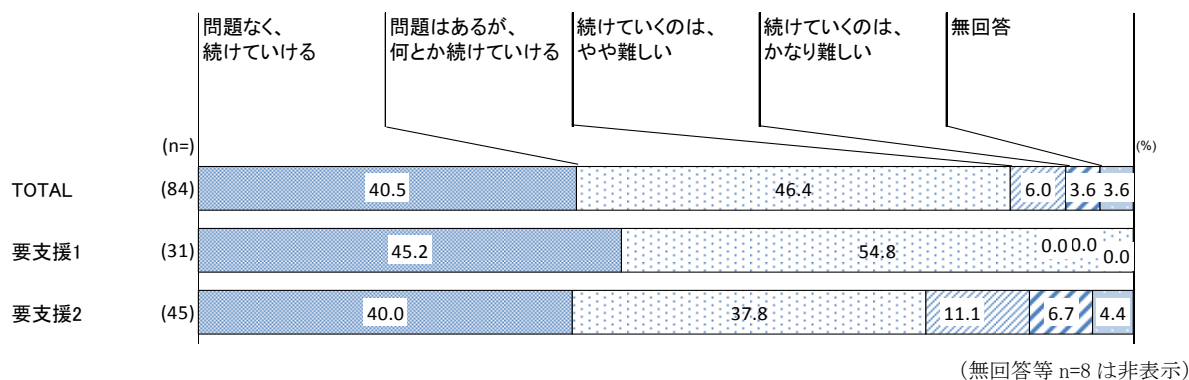
	TOTAL (n=146)	要介護度別（無回答n=6非表示）		
		要支援1・2 (n=74)	要介護1・2 (n=53)	要介護3・4・5 (n=13)
自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	15.8	10.8	24.5	15.4
介護休業・介護休暇等の制度の充実	17.1	18.9	15.1	7.7
制度を利用しやすい職場づくり	21.2	18.9	24.5	15.4
仕事と介護の両立に関する情報の提供	12.3	9.5	13.2	23.1
介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	10.3	12.2	7.5	7.7
介護をしている従業員への経済的な支援	19.2	14.9	24.5	15.4
その他	2.1	2.7	1.9	0.0
特になし	28.1	27.0	22.6	61.5
無回答	13.0	18.9	7.5	0.0

④ 介護継続の見込み

今後も介護を続けていけるかどうかは、要支援者を主に介護している人で『続けていける（「問題なく、続けていける」及び「問題はあるが、何とか続けていける」の合計）』は 86.9%となっている。要介護者を主に介護している人では 77.9%、介護保険サービス未利用者を主に介護している人では 82.8%となっている。

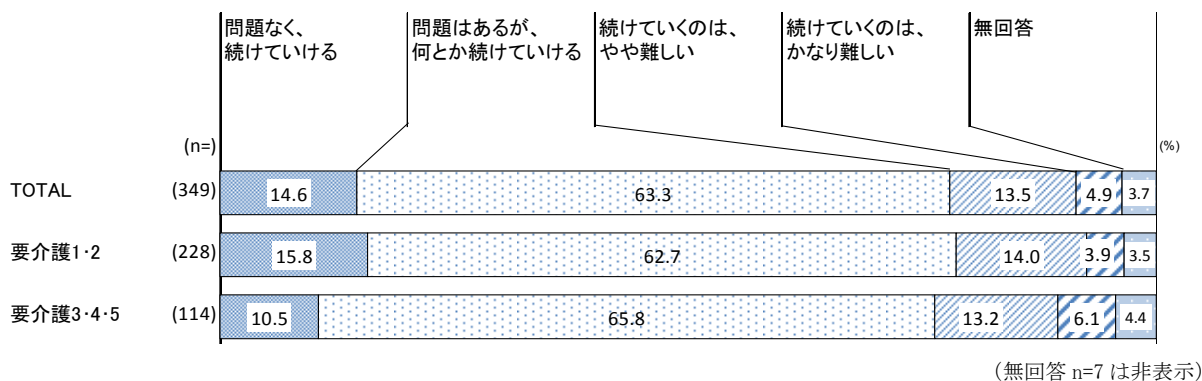
図表 2 (6)④ 介護継続の見込み（要支援・問 53-3）

【要介護度別】



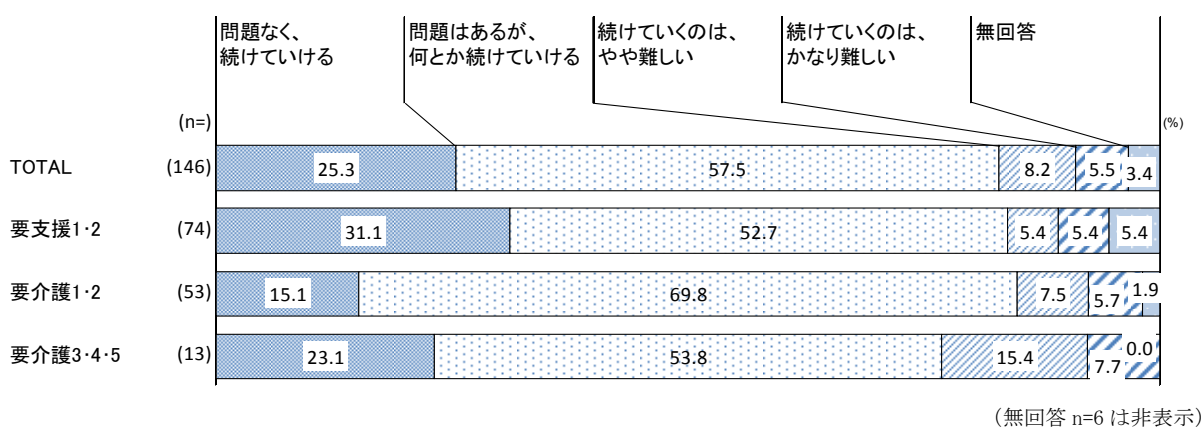
(要介護・問 31-3)

【要介護度別】



(未利用・問 31-3)

【要介護度別】



⑤ 介護離職・転職の状況

介護のために家族や親族が離職・転職したかどうかについては、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が5割超を占めるが、要介護3・4・5（要介護調査）の中・重度では、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」割合が高くなっている（21.1%）。

図表 2 (6)⑤ 家族・親族の介護離職・転職の有無（複数回答）
（要支援・問 51）

【要介護度別】

	TOTAL (n=238)	要介護度別(無回答等n=26非表示)	
		要支援1 (n=83)	要支援2 (n=129)
主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)	2.9	0.0	4.7
主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)	0.0	0.0	0.0
主な介護者が転職した	2.5	1.2	3.9
主な介護者以外の家族・親族が転職した	0.4	1.2	0.0
介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	55.0	53.0	55.8
わからない	5.5	2.4	7.0
無回答	33.6	42.2	28.7

（要介護・問 27）

【要介護度別】

	TOTAL (n=1202)	要介護度別(無回答n=26非表示)	
		要介護1・2 (n=721)	要介護3・4・5 (n=455)
主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)	15.4	11.8	21.1
主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)	1.6	1.1	2.4
主な介護者が転職した	2.2	2.6	1.5
主な介護者以外の家族・親族が転職した	0.4	0.7	0.0
介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	52.6	54.9	49.7
わからない	4.2	3.5	4.8
無回答	24.0	25.8	20.9

（未利用・問 27）

【要介護度別】

	TOTAL (n=520)	要介護度別(無回答n=39非表示)		
		要支援1・2 (n=272)	要介護1・2 (n=159)	要介護3・4・5 (n=50)
主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)	7.9	3.7	13.8	10.0
主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)	1.3	0.4	3.1	2.0
主な介護者が転職した	1.3	0.7	2.5	0.0
主な介護者以外の家族・親族が転職した	0.2	0.4	0.0	0.0
介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	50.8	52.2	52.8	48.0
わからない	6.2	7.7	3.1	10.0
無回答	32.9	34.9	25.2	32.0

(7) 軽度者への在宅サービス提供

要支援1・2の高齢者が現在（平成28年11月時点）利用している介護保険の在宅サービスは、「介護予防訪問介護又は横浜市訪問介護相当サービス」（34.6%）や「介護予防通所介護又は横浜市通所介護相当サービス」（28.2%）が高くなっている。

図表2(7)-1 利用サービス（平成28年11月時点）（複数回答、要支援1・2のみ*・問26）
【要介護度別】

利用サービス (%)	要支援1・2 TOTAL (n=486)	要介護度別	
		要支援1 (n=203)	要支援2 (n=283)
介護予防訪問介護又は横浜市訪問介護相当サービス(ホームヘルプ)	34.6	38.9	31.4
横浜市訪問型生活援助サービス	15.8	16.7	15.2
介護予防訪問入浴介護	1.6	0.5	2.5
介護予防訪問看護	4.3	3.4	4.9
介護予防訪問リハビリ	5.6	2.5	7.8
介護予防居宅療養管理指導	2.3	3.0	1.8
介護予防通所介護又は横浜市通所介護相当サービス(デイサービス)	28.2	25.6	30.0
介護予防通所リハビリ(デイケア)	23.5	22.2	24.4
介護予防短期入所生活介護(福祉施設のショートステイ)	0.8	0.0	1.4
介護予防短期入所療養介護(医療施設等のショートステイ)	0.8	0.5	1.1
介護予防特定施設入居者生活介護	0.4	0.0	0.7
介護予防福祉用具貸与	22.0	16.7	25.8
介護予防福祉用具購入	8.0	6.4	9.2
介護予防住宅改修費	7.2	6.9	7.4
介護予防認知症対応型通所介護	0.0	0.0	0.0
介護予防小規模多機能型居宅介護(1か所で通い、訪問、泊まりの各サービスを提供)	0.6	0.5	0.7
介護予防認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	0.2	0.5	0.0
利用していない	7.6	7.4	7.8
無回答	6.6	5.9	7.1

* 要支援の結果のうち、「要介護1～5」や「要介護認定なし」等を除き、「要支援1」、「要支援2」のみで集計した結果を示している。

要介護1・2の高齢者が現在（平成28年11月時点）利用しているのは、「通所介護（デイサービス）」（46.7%）や「福祉用具貸与」（42.5%）が高くなっている。

図表2(7)-2 利用サービス（平成28年11月時点）（複数回答、要介護1・2のみ*・問33）
【要介護度別】

利用サービス (%)	TOTAL (n=944)	要介護度別	
		要介護1 (n=320)	要介護2 (n=624)
訪問介護	25.1	24.7	25.3
訪問入浴介護	8.9	6.6	10.1
訪問看護	13.0	10.0	14.6
訪問リハビリテーション	10.9	7.5	12.7
居宅療養管理指導	2.3	2.2	2.4
通所介護（デイサービス）	46.7	45.6	47.3
通所リハビリテーション（デイケア）	22.8	23.8	22.3
短期入所生活介護	8.6	7.2	9.3
短期入所療養介護	0.5	0.3	0.6
福祉用具貸与	42.5	32.2	47.8
福祉用具購入	10.7	9.7	11.2
住宅改修	9.9	9.1	10.3
特定施設入居者生活介護	0.5	0.6	0.5
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1.6	1.6	1.6
夜間対応型訪問介護	0.4	0.6	0.3
認知症対応型通所介護	0.6	0.6	0.6
小規模多機能型居宅介護	1.3	0.6	1.6
看護小規模多機能型居宅介護	0.3	0.6	0.2
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	0.3	0.3	0.3
地域密着型通所介護	2.3	1.6	2.7
地域密着型特定施設入居者生活介護	0.3	0.3	0.3
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0.1	0.0	0.2
あてはまるものはない	3.6	3.8	3.5
無回答	7.0	9.1	5.9

* 要介護の結果のうち、「要介護3・4・5」等を除き、「要介護1」、「要介護2」のみで集計した結果を示している。

要支援1・2の高齢者が今後必要と考える活動やサービスは、「通いの場（体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流）」（24.9%）や「緊急時の通報システム」（23.5%）、「生活援助（掃除、洗濯、買い物、調理など）」（22.8%）が高くなっている。

また、要介護1・2の高齢者が今後必要と考える活動やサービスは、「通院・福祉施設・役所の送迎」（21.7%）、「緊急時の通報システム」（21.2%）、「生活援助（掃除、洗濯、買い物、調理など）」（21.1%）が高くなっている。

図表2(7)-3 今後必要な活動・サービス（複数回答）
（要支援・問33、要支援1・2*のみ）

【要介護度別】

(%)	要支援1・2 TOTAL (n=486)	要介護度別	
		要支援1 (n=203)	要支援2 (n=283)
通いの場(体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流)	24.9	26.6	23.7
通いの場への送迎	17.7	15.3	19.4
通院・福祉施設・役所の送迎	19.1	15.8	21.6
通院・福祉施設・役所の送迎前後の付き添い	9.7	7.9	11.0
栄養改善を目的とした配食	10.1	8.9	11.0
見守り・安否確認	13.0	13.3	12.7
緊急時の通報システム	23.5	20.7	25.4
ごみ出し	12.6	14.3	11.3
生活援助(掃除、洗濯、買い物、調理など)	22.8	22.7	23.0
話し相手	8.6	7.4	9.5
訪問による理美容	7.6	7.9	7.4
歯科などの訪問診療	7.0	5.4	8.1
介護等が必要になった場合の住宅改造	7.4	5.4	8.8
紙おむつの購入	6.2	3.4	8.1
その他	0.8	0.5	1.1
特になし	16.3	19.2	14.1
無回答	13.6	12.3	14.5

* 要支援の結果のうち、「要介護1～5」や「要介護認定なし」等を除き、「要支援1」、「要支援2」のみで集計した結果を示している。

（要介護・問41、要介護1・2*のみ）

【要介護度別】

(%)	要介護1・2 TOTAL (n=944)	要介護度別	
		要介護1 (n=320)	要介護2 (n=624)
通いの場(体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流)	19.9	23.8	17.9
通いの場への送迎	16.2	18.1	15.2
通院・福祉施設・役所の送迎	21.7	20.6	22.3
通院・福祉施設・役所の送迎前後の付き添い	16.0	14.7	16.7
栄養改善を目的とした配食	10.4	11.6	9.8
見守り・安否確認	14.5	15.3	14.1
緊急時の通報システム	21.2	21.9	20.8
ごみ出し	8.9	9.7	8.5
生活援助(掃除、洗濯、買い物、調理など)	21.1	20.9	21.2
話し相手	13.2	16.6	11.5
訪問による理美容	14.7	12.8	15.7
歯科などの訪問診療	14.2	11.9	15.4
介護等が必要になった場合の住宅改造	8.3	9.1	7.9
紙おむつの購入	12.3	10.6	13.1
その他	1.8	1.3	2.1
特になし	17.1	15.6	17.8
無回答	13.1	12.2	13.6

* 要介護の結果のうち、「要介護3・4・5」等を除き、「要介護1」、「要介護2」のみで集計した結果を示している。

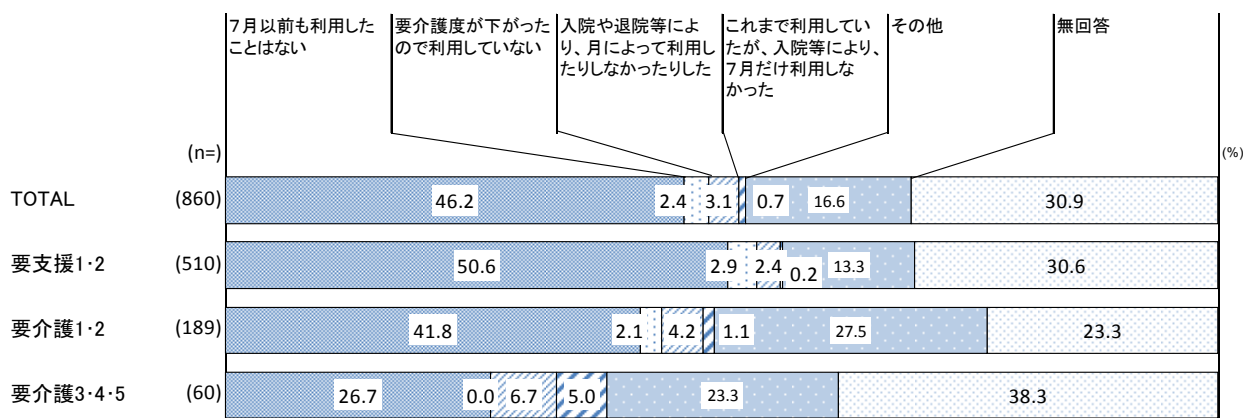
(8) 介護サービス未利用者の状況（平成 28 年 8 月にサービス利用がない方）

① 未利用者の状況と理由

抽出時点（平成 28 年 8 月）で介護サービスを利用していなかった高齢者の在宅サービス利用状況は、「7 月以前も利用したことはない」が最も多く約半数（46.2%）である。要介護度別では、要支援 1・2 は「7 月以前も利用していない」は 50.6%となっている一方、要介護 3・4・5 では 26.7%である。また、要介護 3・4・5 では「入院や退院等により、月によって利用したりしなかったりした」が 6.7%、「これまで利用していたが、入院等により、7 月だけ利用しなかった」が 5.0%と他の介護度に比べて多い。

図表 2 (8)①-1 介護サービス未利用者の状況（未利用・問 33）

【要介護度別】



(無回答 n=101 は非表示)

介護サービス未利用の理由については、要支援1・2、要介護1・2では「より重度の要介護状態になったとき利用したい」、「介護者の体力が衰えたとき利用したい」が2割を上回っている。一方、要介護3・4・5では、「施設、病院などに入所・入院していた」が36.7%と最も多い。また、「9月以降、サービス利用を始めた（または決めた）」が18.3%となっている。

図表2(8)①-2 介護サービス未利用の理由（複数回答、未利用・問34）

【要介護度別】

	TOTAL (n=860)	要介護度別(無回答等n=101非表示)		
		要支援1・2 (n=510)	要介護1・2 (n=189)	要介護3・4・5 (n=60)
(%)				
より重度の要介護状態になったとき利用したい	22.8	26.5	21.7	10.0
介護者の体力が衰えたとき利用したい	18.7	20.0	20.1	18.3
サービスの内容がよく分からない	16.7	16.1	19.0	6.7
家族が介護をするため必要ない	11.9	12.0	14.8	11.7
家族などの介護者が急に病気になった時などに、ショートステイを利用したい	10.6	10.0	14.8	13.3
施設、病院などに入所・入院していた	9.3	5.7	13.2	36.7
9月以降サービス利用を始めた(または決めた)	8.4	5.9	15.9	18.3
使いたいサービスがない	7.9	9.0	7.4	3.3
介護サービスを利用したいが、経済的な負担が大きい	6.7	6.9	7.9	8.3
家族以外の介護を受けたくない	6.3	4.5	12.2	8.3
特別養護老人ホーム等の介護保険施設のみの利用を予定している	3.5	4.1	1.6	6.7
介護保険にないサービス(紙おむつの支給、食事サービスなど)のみを利用している	1.9	1.6	1.1	8.3
その他	16.5	16.3	19.0	13.3
無回答	24.2	24.9	13.8	21.7

② 不安に感じること・介護負担感

介護サービス未利用者に対して、介護を行う上で不安に感じることは、「外出の付き添い、送迎等」が28.1%で最も多く、次いで「食事の準備（調理等）」（22.3%）、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（21.7%）、「認知症状への対応」（21.5%）の順となっている。

要介護度別では、要支援1・2では「外出の付き添い、送迎等」（27.9%）に次いで、「その他の家事」（25.4%）が高い。要介護1・2、要介護3・4・5では、「外出の付き添い、送迎等」（要介護1・2：30.8%、要介護3・4・5：34.0%）が3割を超えているほか、「認知症状への対応」は要介護1・2で39.0%、要介護3・4・5では30.0%となっている。また、要介護3・4・5では「夜間の排泄」が26.0%、「食事の準備（調理等）」が32.0%となっている。

図表2(8)②-1 不安に感じる介護（複数回答、未利用・問32）

【要介護度別】

(%)	TOTAL (n=520)	要介護度別(無回答n=39非表示)		
		要支援1・2 (n=272)	要介護1・2 (n=159)	要介護3・4・5 (n=50)
日中の排泄	7.1	4.8	10.7	8.0
夜間の排泄	14.8	9.9	18.2	26.0
食事の介助(食べる時)	4.0	2.6	3.1	14.0
入浴・洗身	18.7	16.2	23.3	22.0
身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	3.5	1.8	3.8	4.0
衣服の着脱	5.0	4.0	5.0	12.0
屋内の移乗・移動	4.4	4.8	3.1	6.0
外出の付き添い、送迎等	28.1	27.9	30.8	34.0
服薬	9.2	4.8	15.7	14.0
認知症状への対応	21.5	11.4	39.0	30.0
医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	4.0	2.6	4.4	14.0
食事の準備(調理等)	22.3	18.8	27.7	32.0
その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	21.7	25.4	15.7	22.0
金銭管理や生活面に必要な諸手続き	15.4	14.7	18.9	16.0
その他	4.4	5.1	1.9	10.0
不安に感じていることは、特になし	13.3	17.6	8.2	6.0
無回答	15.4	17.3	10.1	4.0

介護者の介護負担感は、介護者ご自身、介護の仕方、意思疎通に関する項目について、介護度が高いほど、負担に感じる割合が高い傾向となっている。

個別項目では「日中、家を空けるのを不安に感じる」とする割合が 25.8%、「精神的なストレスがたまっている」が 25.4%と、介護者の 4 人に 1 人がいずれかの負担感を感じている、としている。これら 2 項目は介護度が重度の介護者ほど割合が高い傾向があり、要介護 3・4・5 では、「精神的なストレスがたまっている」が 46.0%、「日中、家を空けるのを不安に感じる」が 40.0%と 4 割にのぼっている。

図表 2 (8)②-2 介護負担感（複数回答、未利用・問 30）

【要介護度別】

	(%)	TOTAL (n=520)	要介護度別(無回答n=39非表示)		
			要支援1・2 (n=272)	要介護1・2 (n=159)	要介護3・4・5 (n=50)
意思疎通	本人に正確な症状を伝えるのが難しい	10.4	4.8	17.0	16.0
	本人に現在の状況を理解してもらるのが難しい	13.5	7.4	24.5	18.0
	来客にも気を遣う	9.8	7.4	14.5	16.0
	本人の言動が理解できないことがある	15.0	7.4	26.4	26.0
	本人に受診を勧めても同意してもらえない	6.3	4.0	9.4	12.0
介護の仕方	適切な介護方法がわからない	7.5	6.6	8.2	12.0
	症状への対応がわからない	7.7	7.0	9.4	10.0
	徘徊するため目が離せない	1.2	0.0	1.3	6.0
	他の家族等に介護を協力してもらえない	6.7	2.6	10.7	18.0
	誰に、何を、どのように相談すればよいか、わからない	5.4	3.7	8.2	6.0
	日中、家を空けるのを不安に感じる	25.8	19.9	34.0	40.0
	介護を家族等他の人に任せてよいか、悩むことがある	5.4	2.9	8.2	8.0
	介護の方針などについて、家族・親戚との意見が合わない	2.7	0.7	4.4	6.0
	介護することに対して、周囲の理解が得られない	1.5	0.4	2.5	6.0
サービス	サービスを思うように利用できない、サービスが足りない	7.7	6.6	8.8	10.0
	サービスを利用したら本人の状態が悪化した(ことがある)	2.9	0.0	4.4	14.0
	サービス事業者との関係がうまくいかない	1.7	0.4	3.1	4.0
	ケアマネジャーとの関係がうまくいかない	2.5	1.8	1.9	6.0
介護者ご自身	自分の用事・都合をすませることができない	13.5	6.3	24.5	24.0
	身体的につらい(腰痛や肩こりなど)	17.9	18.4	16.4	28.0
	精神的なストレスがたまっている	25.4	16.5	37.1	46.0
	睡眠時間が不規則になり、健康状態がおもわしくない	6.7	4.4	6.9	22.0
	自分の自由になる時間が持てない	14.8	7.7	23.9	32.0
	先々のことを考える余裕がない	12.3	9.2	14.5	24.0
	経済的につらいと感じるときがある	12.9	9.9	14.5	26.0
	仕事と介護の両立が困難	6.3	2.9	9.4	16.0
	育児と介護の両立が困難	0.4	0.0	0.6	2.0
	家事と介護の両立が困難	5.0	3.7	5.0	14.0
その他	3.5	2.9	5.0	4.0	
特に困っていることはない	19.0	23.5	14.5	10.0	
無回答	22.5	24.6	16.4	14.0	

(9) 介護保険料の負担感、介護保険サービスと保険料の関係

① 介護保険料の負担感

介護保険料の負担感については、各調査対象者において「負担であるが、支払うことが可能」が半数を超えている。

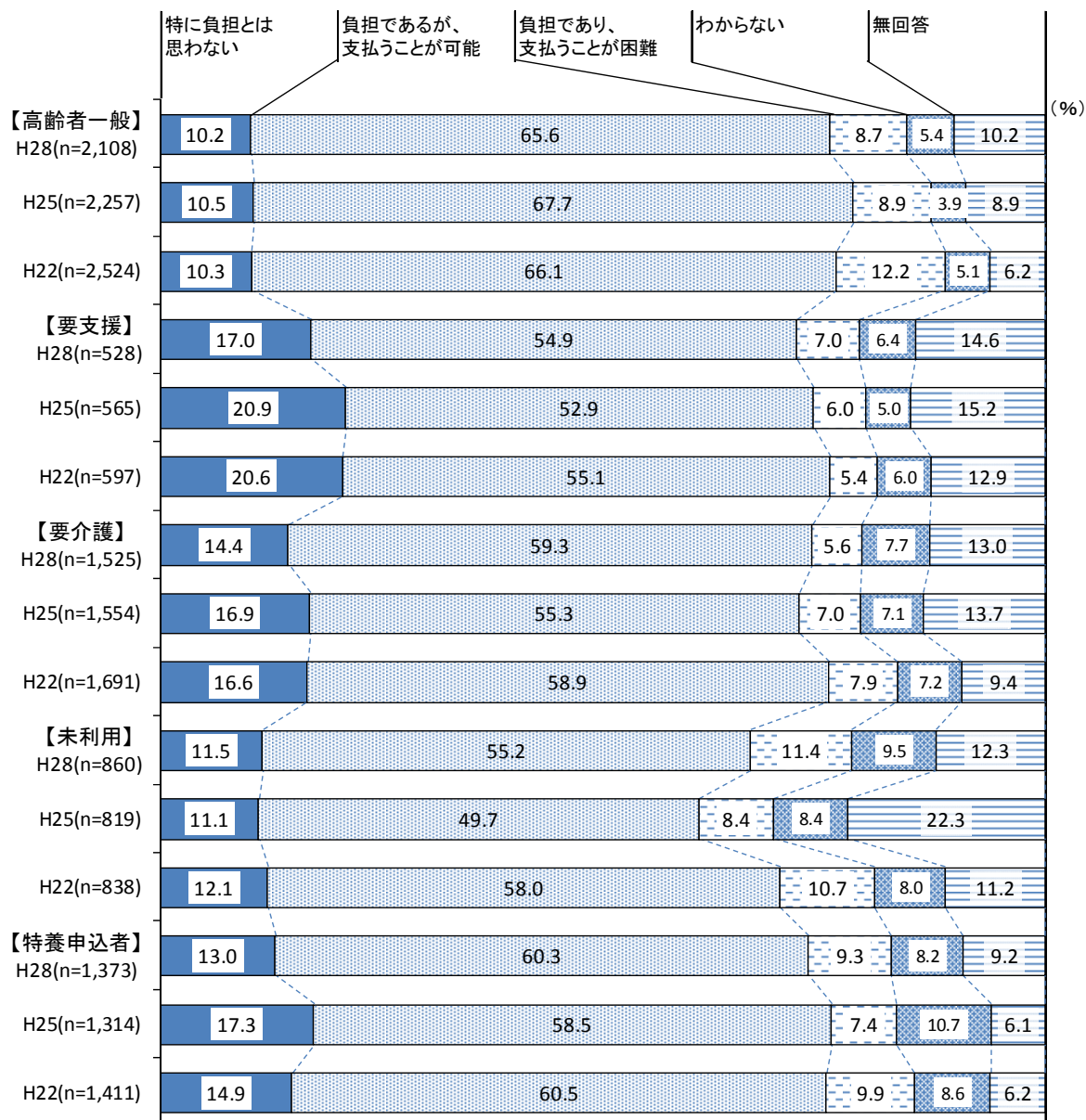
高齢者一般では前々回（平成 22 年）、前回（平成 25 年）と比べてほぼ同じ割合となっている。

要支援、要介護では、前回（平成 25 年）に比べて「特に負担とは思わない」がやや減少している（前回：要支援 20.9%、要介護 16.9%）。

未利用では、前回（平成 25 年）に比べて「負担であり、支払うことが困難」はやや増加している（前回 8.4%）。

特養申込者では、前回（平成 25 年）に比べて「特に負担とは思わない」は 4 ポイントほど減少している（前回 17.3%）。

図表 2 (9)① 介護保険料の負担感（時系列）

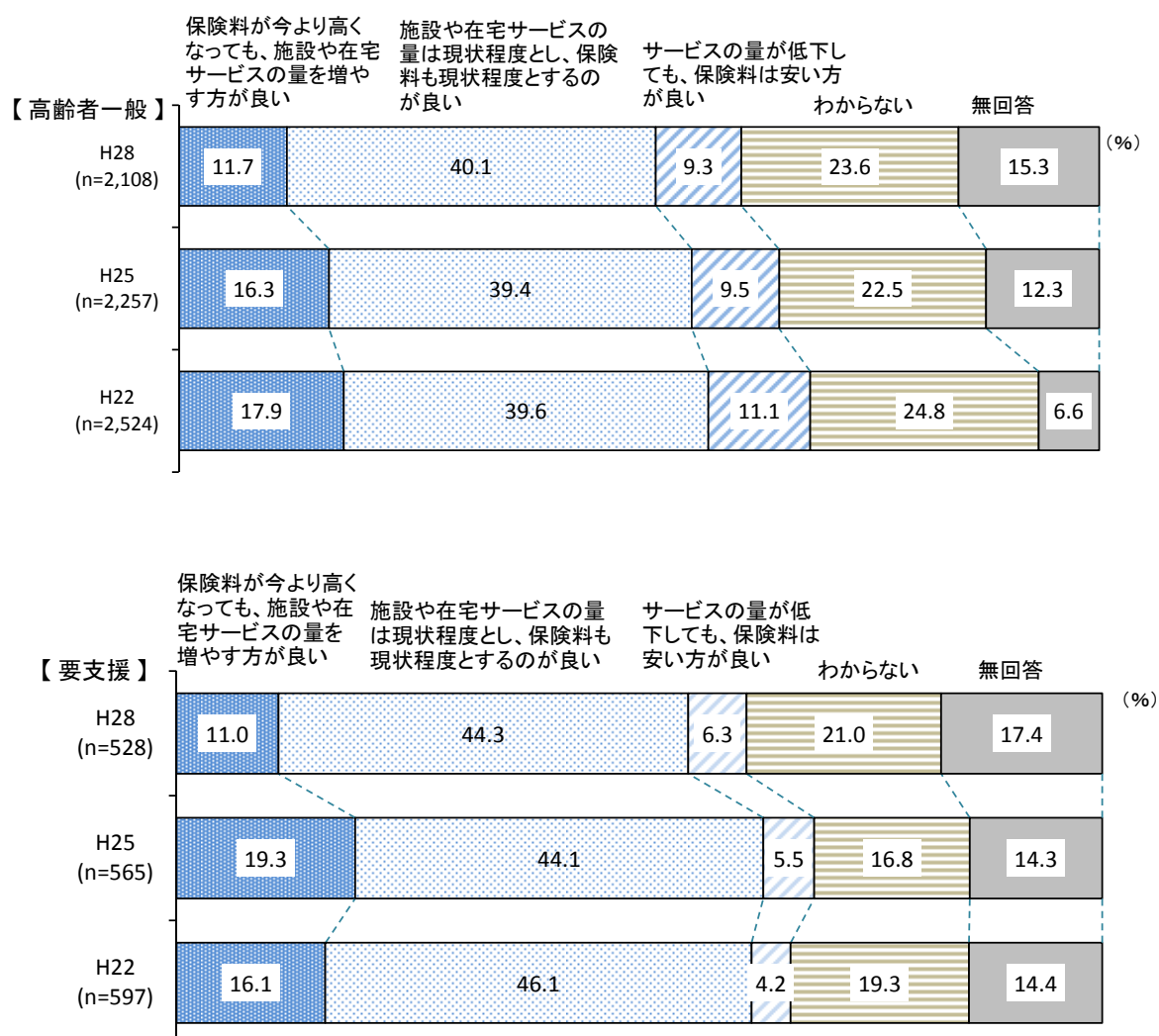


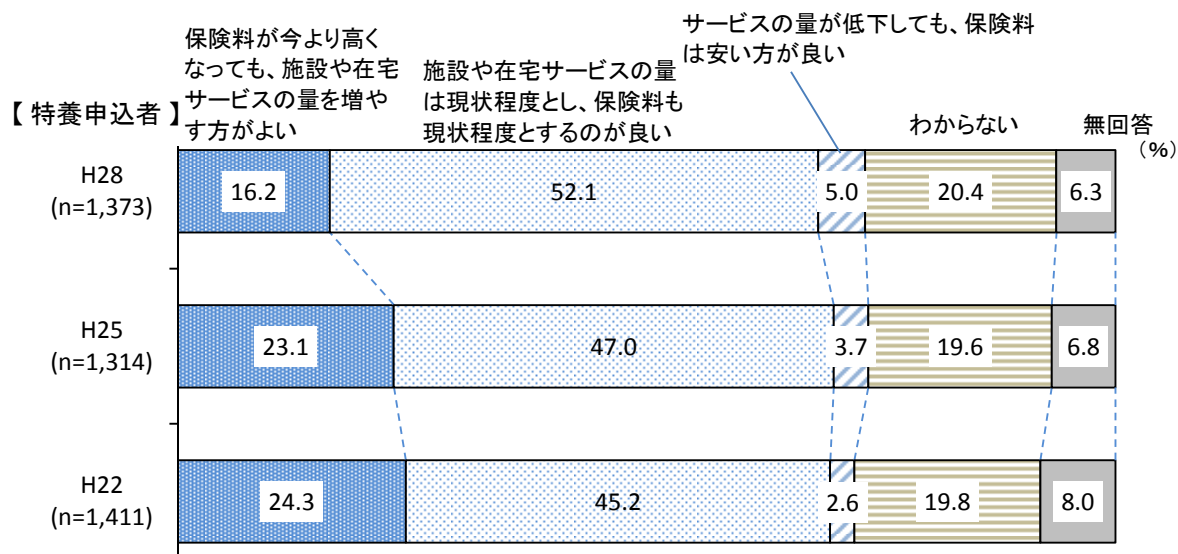
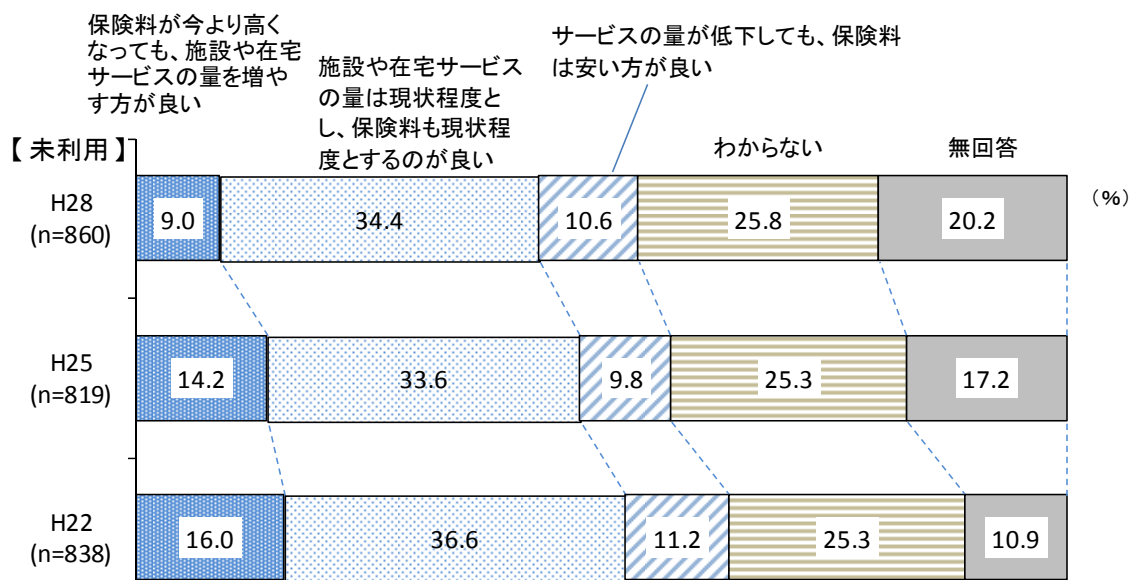
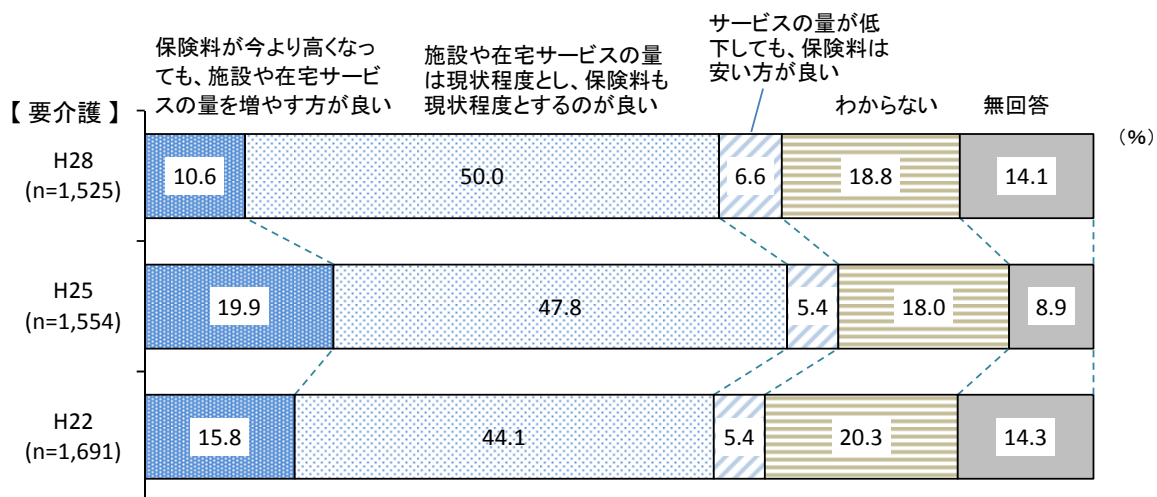
② 介護サービスと保険料の関係について

介護サービスと保険料の関係については、各調査対象者において「施設や在宅サービスの量は現状程度とし、保険料も現状程度とするのが良い」が最も多くなっている。次いで、高齢者一般、要支援、要介護、特養申込者では、「保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの量を増やす方が良い」が多くなっているが、未利用では「サービスの量が低下しても、保険料は安い方が良い」(10.6%)が「保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの量を増やす方が良い」(9.0%)をやや上回っている。

前回(平成25年)と比較すると、各調査対象とも、「保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの量を増やす方が良い」は大幅に減少している。

図表2(9)② 介護サービスと保険料の関係について(時系列)





(10) 介護従事者の確保と担い手の育成

① 職場の取組状況・評価

介護に従事する職場における取組状況（「十分行われているもの」）については、ヘルパー、ケアワーカーとも「定期的な健康診断の実施」（ヘルパー65.5%、ケアワーカー75.4%）が最も実施割合が高く、次いで「採用時における賃金・勤務時間の説明」（ヘルパー64.3%、ケアワーカー50.6%）、「事故やトラブルへの対応マニュアル作成等の体制づくり」（ヘルパー50.6%、ケアワーカー43.7%）となっている。

図表 2 (10)①-1 職場の取組状況・評価①十分行われている取組（複数回答）
（ヘルパー・問 32）

【就業形態別】

	TOTAL (n=826)	就業形態別（無回答n=30非表示）	
		正社員 （正規職員） (n=324)	非正（規）社員 （パート、アルバイト、派遣職員、 非常勤職員、嘱託職員、契約社員、 登録ヘルパー等） (n=472)
キャリアアップの仕組みの整備	28.0	28.1	27.1
働き方や仕事内容、キャリアについて上司と相談する機会の設定	41.2	42.0	39.4
勤務体制を決める際の職員の要望を聞く機会の設定	46.9	44.4	47.5
採用時における賃金・勤務時間の説明	64.3	62.7	64.4
介護能力を適切に評価する仕組み	26.5	27.5	25.6
介護能力に見合った仕事への配置	45.8	47.2	44.9
介護能力の向上に向けた研修	50.2	44.8	53.6
実務の中で、上司や先輩から指導や助言を受ける機会の設定	49.9	49.7	49.8
介護に関する事例検討会の開催	41.9	40.1	42.8
定期的な健康診断の実施	65.5	70.4	61.4
介助しやすい施設づくりや福祉機器の導入	16.3	17.9	15.0
事故やトラブルへの対応マニュアル作成等の体制づくり	50.6	50.3	49.6
事業所の相談援助体制の設定	33.2	32.1	32.8
その他	2.2	2.8	1.5
無回答	11.4	12.3	11.0

（ケアワーカー・問 30）

【就業形態別】

	TOTAL (n=945)	就業形態別（無回答n=23非表示）	
		正社員 （正規職員） (n=569)	非正（規）社員 （パート、アルバイト、派遣職員、非常 勤職員、嘱託職員、契約社員等） (n=353)
キャリアアップの仕組みの整備	22.5	24.4	19.3
働き方や仕事内容、キャリアについて上司と相談する機会の設定	27.5	29.3	23.5
勤務体制を決める際の職員の要望を聞く機会の設定	35.2	32.7	38.8
採用時における賃金・勤務時間の説明	50.6	49.4	52.1
介護能力を適切に評価する仕組み	21.3	24.1	16.7
介護能力に見合った仕事への配置	19.0	20.2	16.7
介護能力の向上に向けた研修	41.8	45.2	36.3
実務の中で、上司や先輩から指導や助言を受ける機会の設定	34.8	37.4	30.3
介護に関する事例検討会の開催	26.1	27.2	24.4
定期的な健康診断の実施	75.4	79.3	69.7
介助しやすい施設づくりや福祉機器の導入	17.8	19.2	14.7
事故やトラブルへの対応マニュアル作成等の体制づくり	43.7	45.5	40.5
事業所の相談援助体制の設定	14.8	16.0	12.5
その他	1.3	1.1	1.1
無回答	15.7	12.5	20.1

仕事上の悩み、不安、不満等を解消する上で役立つと思う取組については、ヘルパー、ケアワーカーともに「介護能力の向上に向けた研修」（ヘルパー40.2%、ケアワーカー44.6%）が最も多くなっている。次いで、ヘルパーでは「実務の中で、上司や先輩から指導や助言を受ける機会の設定」、「介護に関する事例検討会の開催」（ともに 37.9%）となっている。ケアワーカーでは「定期的な健康診断の実施」（43.6%）、「事故やトラブルへの対応マニュアル作成等の体制づくり」（41.0%）となっている。

図表 2 (10)①-2 職場の取組状況・評価②仕事上の悩み、不安、不満等の解消に役立つと思う取組（複数回答）
（ヘルパー・問 32）

【就業形態別】

(%)	TOTAL (n=826)	就業形態別(無回答n=30非表示)	
		正社員 (正規職員) (n=324)	非正(規)社員(パート、アルバイト、派遣職員、非常勤職員、嘱託職員、契約社員、登録ヘルパー等) (n=472)
キャリアアップの仕組みの整備	34.7	38.3	32.6
働き方や仕事内容、キャリアについて上司と相談する機会の設定	35.7	37.0	35.2
勤務体制を決める際の職員の要望を聞く機会の設定	36.0	39.5	34.5
採用時における賃金・勤務時間の説明	30.8	30.9	30.9
介護能力を適切に評価する仕組み	29.7	34.9	25.8
介護能力に見合った仕事への配置	31.7	34.0	29.9
介護能力の向上に向けた研修	40.2	42.0	39.8
実務の中で、上司や先輩から指導や助言を受ける機会の設定	37.9	38.6	37.9
介護に関する事例検討会の開催	37.9	37.3	38.8
定期的な健康診断の実施	33.7	32.4	34.1
介助しやすい施設づくりや福祉機器の導入	23.0	24.4	21.8
事故やトラブルへの対応マニュアル作成等の体制づくり	34.5	34.9	34.7
事業所の相談援助体制の設定	30.1	30.9	29.7
その他	1.2	1.5	1.1
役立つと考えられることはない	0.5	0.0	0.8
無回答	22.9	21.6	22.9

（ケアワーカー・問 30）

【就業形態別】

(%)	TOTAL (n=945)	就業形態別(無回答n=23非表示)	
		正社員 (正規職員) (n=569)	非正(規)社員(パート、アルバイト、派遣職員、非常勤職員、嘱託職員、契約社員等) (n=353)
キャリアアップの仕組みの整備	34.8	38.7	28.9
働き方や仕事内容、キャリアについて上司と相談する機会の設定	36.7	40.2	31.4
勤務体制を決める際の職員の要望を聞く機会の設定	34.8	37.3	31.2
採用時における賃金・勤務時間の説明	34.0	34.6	33.4
介護能力を適切に評価する仕組み	33.2	36.9	27.2
介護能力に見合った仕事への配置	30.2	33.2	25.5
介護能力の向上に向けた研修	44.6	49.9	36.3
実務の中で、上司や先輩から指導や助言を受ける機会の設定	37.7	39.5	34.8
介護に関する事例検討会の開催	32.9	35.3	29.2
定期的な健康診断の実施	43.6	43.1	44.8
介助しやすい施設づくりや福祉機器の導入	35.6	38.5	30.6
事故やトラブルへの対応マニュアル作成等の体制づくり	41.0	43.6	37.4
事業所の相談援助体制の設定	23.4	25.7	20.1
その他	2.2	2.1	2.3
役立つと考えられることはない	1.4	1.4	1.4
無回答	20.1	17.8	22.7

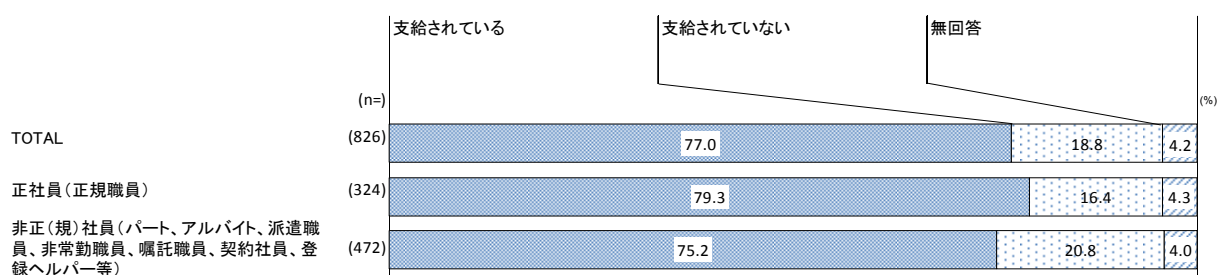
② 処遇改善加算状況

介護職員の処遇改善加算については、「支給されている」が、ヘルパーでは 77.0%、ケアワーカーでは 81.6%となっており、「支給されていない」はヘルパーでは 18.8%、ケアワーカーでは 14.6%となっている。

ヘルパー、ケアワーカーのそれぞれについて、就業形態別にみると、ケアワーカーの正社員（正規職員）では、「支給されている」が 88.0%となっている。

図表 2 (10)②-1 処遇改善加算状況（複数回答）
（ヘルパー・問 29）

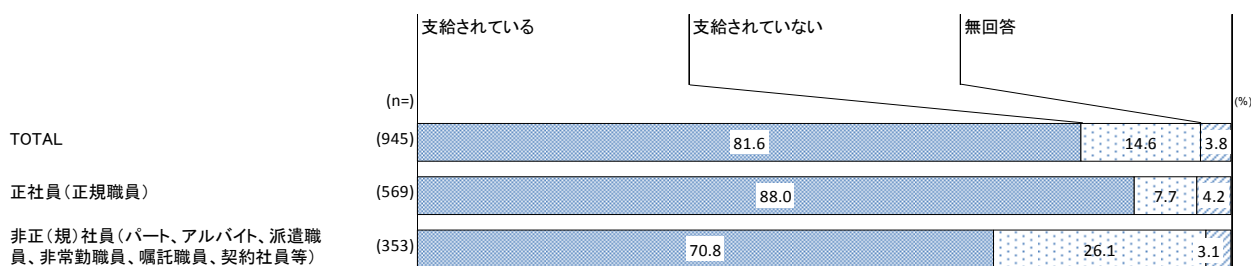
【就業形態別】



(無回答 n=30 は非表示)

（ケアワーカー・問 27）

【就業形態別】



(無回答 n=23 は非表示)

介護職員処遇改善加算による賃金改善として職場で行っているとする項目については、ヘルパー、ケアワーカーともに「一時金（賞与・その他の臨時支給分）として支給」（ヘルパー46.5%、ケアワーカー49.7%）が最も多く、次いで「毎月支給される手当として支給」（ヘルパー42.3%、ケアワーカー42.5%）となっている。

就業形態別では、ヘルパーの正社員（正規職員）では、「定期昇給の実施」が19.5%に対し、非正（規）社員では12.1%となっている。ケアワーカーについては、正社員（正規職員）では「毎月支給される手当として支給」が46.7%に対し、非正（規）社員では34.8%となっている。また、正社員（正規職員）では「一時金（賞与・その他の臨時支給分）として支給」が46.5%に対し、非正（規）社員では55.2%となっていることから、正社員（正規職員）は毎月の手当で、非正（規）社員は一時金で受け取る機会が多くなっている。

図表 2 (10) ②-2 処遇改善加算の実施項目・職場で行っている賃金改善（複数回答）
（ヘルパー・問 29-2）

【就業形態別】

	TOTAL (n=636)	就業形態別（無回答n=24非表示）	
		正社員 （正規職員） (n=257)	非正（規）社員 （パート、アルバイト、派遣職員、 非常勤職員、嘱託職員、契約社員、 登録ヘルパー等） (n=355)
(%)			
給与表（賃金表等）の改定による賃金水準の引き上げ	26.7	28.4	25.1
定期昇給の実施	15.7	19.5	12.1
毎月支給される手当として支給	42.3	43.2	41.7
一時金（賞与・その他の臨時支給分）として支給	46.5	46.7	47.0
その他	2.0	3.5	1.1
無回答	17.5	17.1	16.9

（ケアワーカー・問 27-2）

【就業形態別】

	TOTAL (n=771)	就業形態別（無回答n=20非表示）	
		正社員 （正規職員） (n=501)	非正（規）社員 （パート、アルバイト、派遣職員、 非常勤職員、嘱託職員、契約社員 等） (n=250)
(%)			
給与表（賃金表等）の改定による賃金水準の引き上げ	12.8	13.6	11.2
定期昇給の実施	3.6	5.2	0.4
毎月支給される手当として支給	42.5	46.7	34.8
一時金（賞与・その他の臨時支給分）として支給	49.7	46.5	55.2
その他	2.6	2.6	2.8
無回答	2.3	2.0	3.2

介護職員処遇改善加算による賃金改善として職場で行ってほしい項目については、ヘルパーでは、「給与表（賃金表等）の改定による賃金水準の引き上げ」が30.2%と最も多く、次いで「定期昇給の実施」（29.2%）となっている。ケアワーカーでは、「毎月支給される手当として支給」（46.6%）が最も多く、次いで「一時金（賞与・その他の臨時支給分）として支給」（34.4%）となっている。

図表 2 (10)②-3 処遇改善加算の実施項目・職場で行ってほしい賃金改善（複数回答）
（ヘルパー・問 29-2）

【就業形態別】

	TOTAL (n=636)	就業形態別(無回答n=24非表示)	
		正社員 (正規職員) (n=257)	非正(規)社員 (パート、 アルバイト、 派遣職員、非 常勤職員、嘱 託職員、契約 社員、登録ヘルパー等) (n=355)
(%)			
給与表(賃金表等)の改定による賃金水準の引き上げ	30.2	34.2	27.6
定期昇給の実施	29.2	31.9	28.2
毎月支給される手当として支給	20.6	26.1	16.3
一時金(賞与・その他の臨時支給分)として支給	26.7	28.8	25.9
その他	1.6	1.6	1.7
無回答	45.4	42.4	47.3

（ケアワーカー・問 27-3）

【就業形態別】

	TOTAL (n=771)	就業形態別(無回答n=20非表示)	
		正社員 (正規職員) (n=501)	非正(規)社員 (パート、 アルバイト、 派遣職員、非 常勤職員、嘱 託職員、契約 社員等) (n=250)
(%)			
給与表(賃金表等)の改定による賃金水準の引き上げ	30.6	34.3	23.6
定期昇給の実施	13.4	17.2	6.4
毎月支給される手当として支給	46.6	46.7	45.2
一時金(賞与・その他の臨時支給分)として支給	34.4	30.5	42.4
その他	2.1	2.4	1.6
無回答	4.7	4.4	4.8

③ 待遇面の要望

待遇面の要望については、ヘルパーで「賃金、労働時間等の労働条件を改善してほしい」が38.0%と最も多くなっている。次いで、「能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映してほしい」(25.2%)、「キャリアに応じた給与体系を整備してほしい」(21.7%)となっている。

図表 2 (10)③-1 待遇面の要望（複数回答、ヘルパー・問 33）

【就業形態別】

	TOTAL (n=826)	就業形態別(無回答n=30非表示)	
		正社員 (正規職員) (n=324)	非正(規)社員 (パート、アルバイト、派遣職員、 非常勤職員、嘱託職員、契約社員、 登録ヘルパー等) (n=472)
(%)	(n=826)	(n=324)	(n=472)
労働時間(時間帯・総労働時間)の希望を聞いてほしい	13.0	13.0	12.9
職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図ってほしい	21.1	19.8	22.5
賃金、労働時間等の労働条件を改善してほしい	38.0	48.5	31.4
非正規職員から正規職員への転換の機会を設けてほしい	5.3	2.8	7.0
能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映してほしい	25.2	25.0	25.0
能力開発(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)を充実してほしい	18.3	21.6	16.7
仕事内容の希望(持ち場の移動など)を聞いてほしい	10.5	9.6	11.7
業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れてほしい	18.6	22.5	15.9
経営者・管理者と従業員が経営方針・ケア方針を共有する機会を設けてほしい	12.6	15.4	10.0
キャリアに応じた給与体系を整備してほしい	21.7	21.9	20.8
悩み、不安、不満などの相談窓口を設けてほしい	12.1	12.3	11.9
健康対策や健康管理に力を入れてほしい	10.7	10.5	10.4
福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めてほしい	16.8	19.1	14.8
職場環境を整えてほしい(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	12.3	15.7	9.7
新人の指導担当・アドバイザーを置いてほしい	10.7	14.5	8.1
職員の仕事内容と必要な能力等を明示してほしい	6.4	7.4	5.9
管理者・リーダー層の部下育成や動機付け能力向上に向けた教育研修に力を入れてほしい	13.4	17.6	10.0
子育て支援を行ってほしい(子ども預り所を設ける、保育費用支援等)	9.3	14.2	5.9
その他	2.7	2.2	3.2
無回答	18.2	13.0	21.4

ケアワーカーでは、「賃金、労働時間等の労働条件を改善してほしい」(50.7%)に次いで、「能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映してほしい」(40.5%)、「業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れてほしい」(36.0%)となっている。

図表 2 (10)③-2 待遇面の要望（複数回答、ケアワーカー・問 31）

【就業形態別】

	TOTAL (n=945)	就業形態別(無回答n=23非表示)	
		正社員 (正規職員) (n=569)	非正(規)社員 (パート、アルバイト、派遣職員、非常勤職員、嘱託職員、契約社員等) (n=353)
(%)	(n=945)	(n=569)	(n=353)
健康対策や健康管理に力を入れてほしい	18.7	20.6	16.1
労働時間(時間帯・総労働時間)の希望を聞いてほしい	14.4	15.8	12.2
賃金、労働時間等の労働条件を改善してほしい	50.7	54.0	45.3
キャリアに応じた給与体系を整備してほしい	31.6	35.1	26.6
非正規職員から正規職員への転換の機会を設けてほしい	3.5	2.3	5.7
子育て支援を行ってほしい(子ども預り所を設ける。保育費用支援等)	17.0	18.8	14.2
福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めてほしい	20.0	23.6	14.7
職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図ってほしい	24.6	25.5	23.8
経営者・管理者と従業員が経営方針・ケア方針を共有する機会を設けてほしい	15.8	18.5	12.2
悩み、不安、不満などの相談窓口を設けてほしい	18.9	18.8	19.5
能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映してほしい	40.5	41.7	39.4
職員の仕事内容と必要な能力等を明示してほしい	14.2	14.8	12.7
管理者・リーダー層の部下育成や動機付け能力向上に向けた教育研修に力を入れてほしい	22.8	26.0	17.0
新人の指導担当・アドバイザーを置いてほしい	22.9	23.0	22.4
仕事内容の希望(持ち場の移動など)を聞いてほしい	11.7	12.0	11.0
能力開発(社内研修実施、社外講習等の受講・支援等)を充実してほしい	15.3	17.8	11.6
業務改善や効率化等による働きやすい職場作りに力を入れてほしい	36.0	38.0	33.7
職場環境を整えてほしい(休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等)	27.3	31.1	21.5
その他	3.7	3.2	4.8
無回答	9.1	7.6	11.6

④ 賃金・労働時間・やりがい

賃金・労働時間に関して、『収入が少なくても、自分の都合のよい時間に働ける方がよい』とする考え方については、ヘルパーでは、『あてはまる（「大いにあてはまる」及び「ややあてはまる」の合計）』は57.5%に対し、『あてはまらない（「あまりあてはまらない」及び「全くあてはまらない」の合計）』は38.7%となっている。

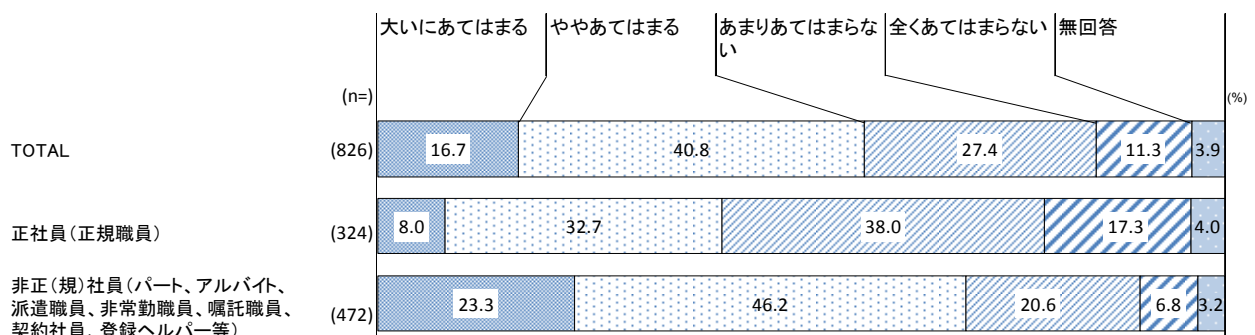
就業形態別では、正社員（正規職員）は『あてはまる』は40.7%に対し、非正（規）社員では69.5%と非正（規）社員が30ポイント近く上回っている。

ケアワーカーでは、『あてはまる』は41.9%に対し、『あてはまらない』は53.6%となっている。

就業形態別では、正社員（正規職員）は『あてはまる』は28.6%に対し、非正（規）社員では63.2%と非正（規）社員が30ポイント以上上回っている。

図表2 (10)④-1 賃金・労働時間について
『収入が少なくても、自分の都合のよい時間に働ける方がよい』
(ヘルパー・問34)

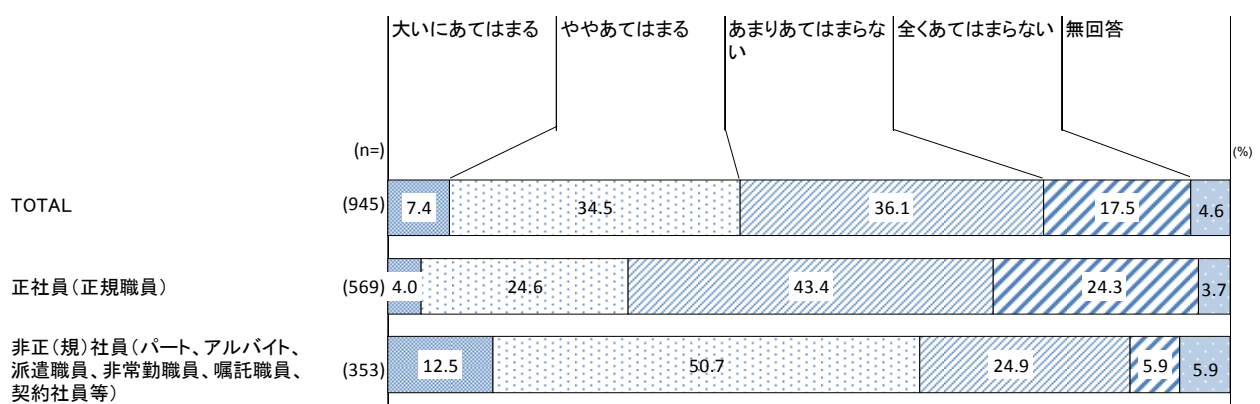
【就業形態別】



(無回答 n=30 は非表示)

(ケアワーカー・問32)

【就業形態別】



(無回答 n=23 は非表示)

賃金・労働時間に関して、『毎月決まった収入があれば、自分の希望する曜日や時間帯にこだわらない』とする考え方については、ヘルパーでは、『あてはまる（「大いにあてはまる」及び「ややあてはまる」の合計）』は 36.7%に対し、『あてはまらない（「あまりあてはまらない」及び「全くあてはまらない」の合計）』は 58.9%となっている。

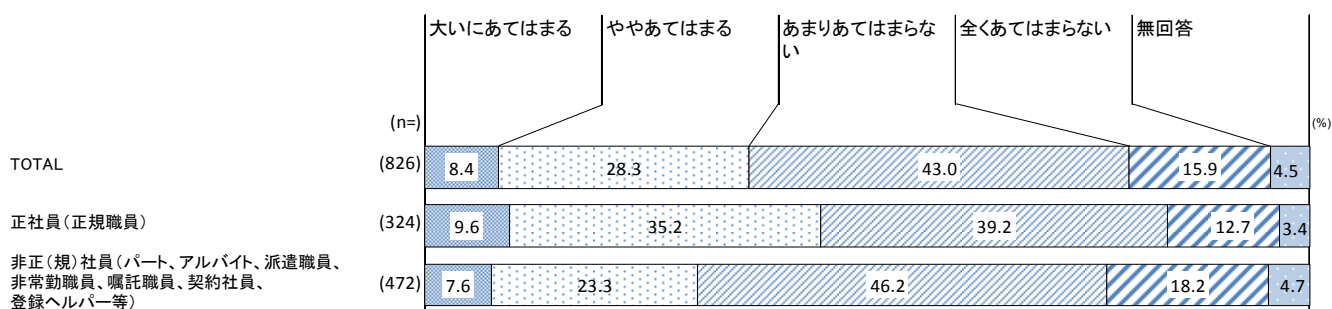
職業形態別では、正社員（正規職員）は『あてはまる』は 44.8%に対し、非正（規）社員では 30.9%と正社員（正規職員）が 10 ポイント以上上回っている。

ケアワーカーでは、「大いにあてはまる」（7.4%）、「ややあてはまる」（37.1%）を合わせた『あてはまる』は 44.5%に対し、「あまりあてはまらない」（35.2%）、「全くあてはまらない」（15.3%）を合わせた『あてはまらない』は 50.5%となっている。

職業形態別では、正社員（正規職員）は『あてはまる』は 55.0%に対し、非正（規）社員では 26.3%と正社員（正規職員）が 30 ポイント近く上回っている。

図表 2 (10)④-2 賃金・労働時間についての考え
『毎月決まった収入があれば、自分の希望する曜日や時間帯にこだわらない』
(ヘルパー・問 34)

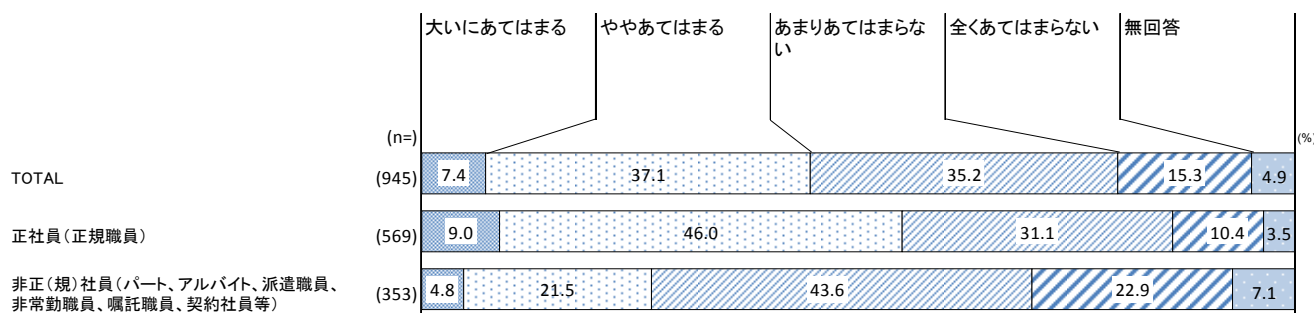
【就業形態別】



(無回答 n=30 は非表示)

(ケアワーカー・問 32)

【就業形態別】



(無回答 n=23 は非表示)

やりがいを感じる際には、ヘルパー、ケアワーカーとも「利用者や家族から感謝されること」（ヘルパー64.6%、ケアワーカー54.2%）が最も多く、次いで、「利用者とのコミュニケーションがスムーズに図られること」（ヘルパー60.3%、ケアワーカー52.7%）、「持っている資格が生かせること」（ヘルパー52.8%、ケアワーカー35.4%）となっている。

図表 2 (10)④-3 やりがいを感じる時（複数回答）
（ヘルパー・問 36）

【就業形態別】

	TOTAL (n=826)	就業形態別（無回答n=30非表示）	
		正社員 （正規職員） (n=324)	非正（規）社員 （パート、アルバイト、派遣職員、非常勤職員、嘱託職員、契約社員、登録ヘルパー等） (n=472)
(%)			
持っている資格が生かせること	52.8	48.8	55.7
経験・勤続年数を生かした働き方ができること	32.4	30.9	33.7
利用者とのコミュニケーションがスムーズに図られること	60.3	60.2	61.0
利用者や家族から感謝されること	64.6	62.3	66.1
能力に見合った賃金が支払われること	14.6	11.4	16.5
先輩からノウハウやスキルを学べること	23.5	24.4	22.9
研修や勉強会に参加して新たな知識やネットワークを広げられること	22.3	19.8	24.8
専門技術・ノウハウを生かせること	16.7	18.5	15.5
スタッフの自主性を尊重してくれること	27.6	25.9	28.2
その他	2.2	1.9	2.5
無回答	5.4	5.6	5.1

（ケアワーカー・問 34）

【就業形態別】

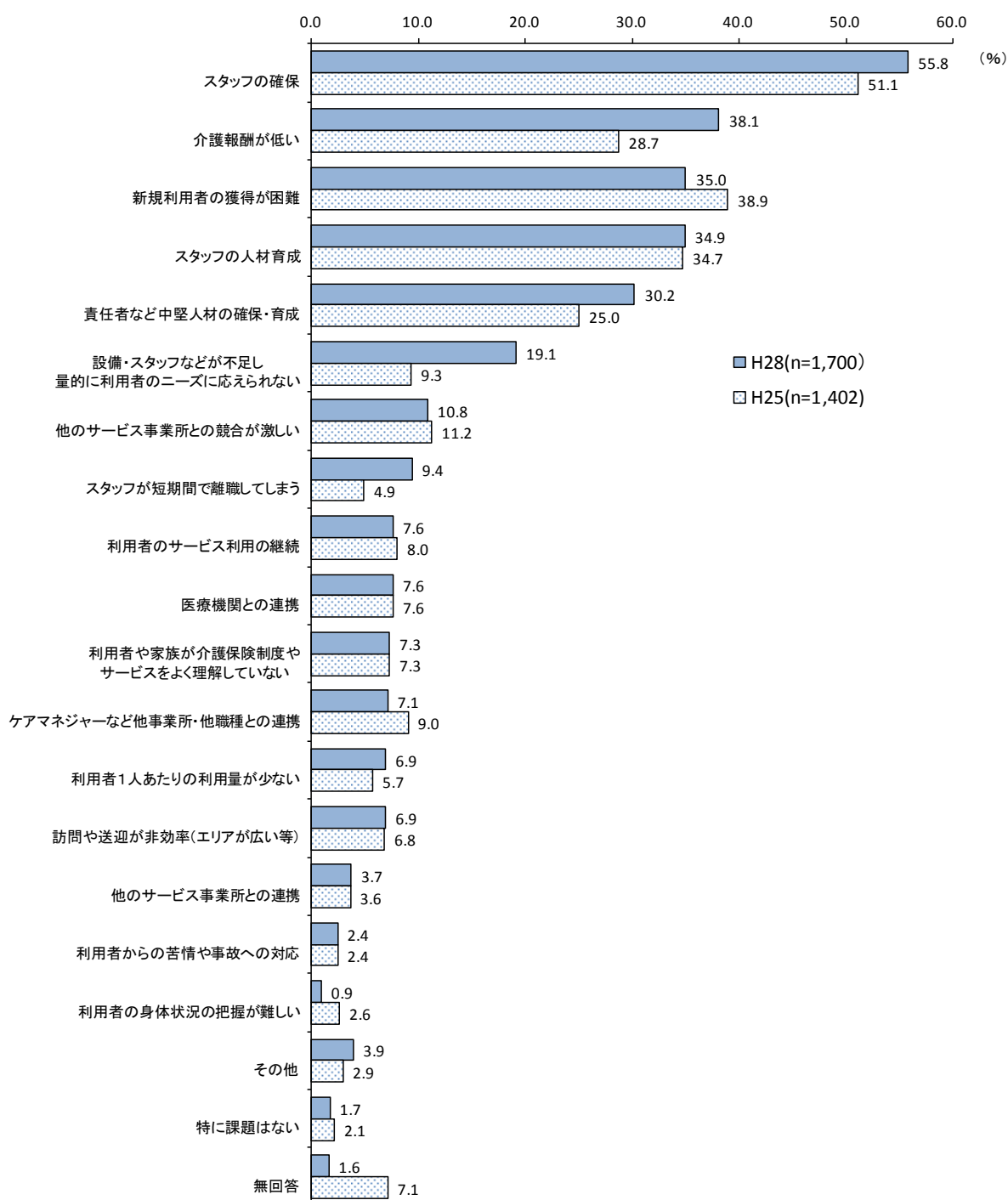
	TOTAL (n=945)	就業形態別（無回答n=23非表示）	
		正社員 （正規職員） (n=569)	非正（規）社員 （パート、アルバイト、派遣職員、非常勤職員、嘱託職員、契約社員等） (n=353)
(%)			
持っている資格が生かせること	35.4	36.9	33.1
経験・勤続年数を生かした働き方ができること	34.1	34.4	33.7
利用者とのコミュニケーションがスムーズに図られること	52.7	49.9	57.8
利用者や家族から感謝されること	54.2	55.9	52.1
能力に見合った賃金が支払われること	12.3	13.9	10.5
先輩からノウハウやスキルを学べること	23.2	23.6	23.2
研修や勉強会に参加して新たな知識やネットワークを広げられること	16.6	20.0	11.9
専門技術・ノウハウを生かせること	13.2	16.3	8.8
スタッフの自主性を尊重してくれること	19.0	21.6	15.3
その他	4.4	4.6	4.5
無回答	5.2	4.7	5.7

(11) 事業所の状況

① 介護サービス事業所

在宅サービス事業所について、事業を運営する上での課題は、「スタッフの確保」が 55.8%と最も多く、次いで「介護報酬が低い」(38.1%)、「新規利用者の獲得が困難」(35.0%)の順となっている。前回(平成 25 年)と比較すると、「介護報酬が低い」、「設備・スタッフなどが不足し量的に利用者のニーズに応えられない」(19.1%)は、それぞれ前回(平成 25 年)を 10 ポイント近く上回っている。

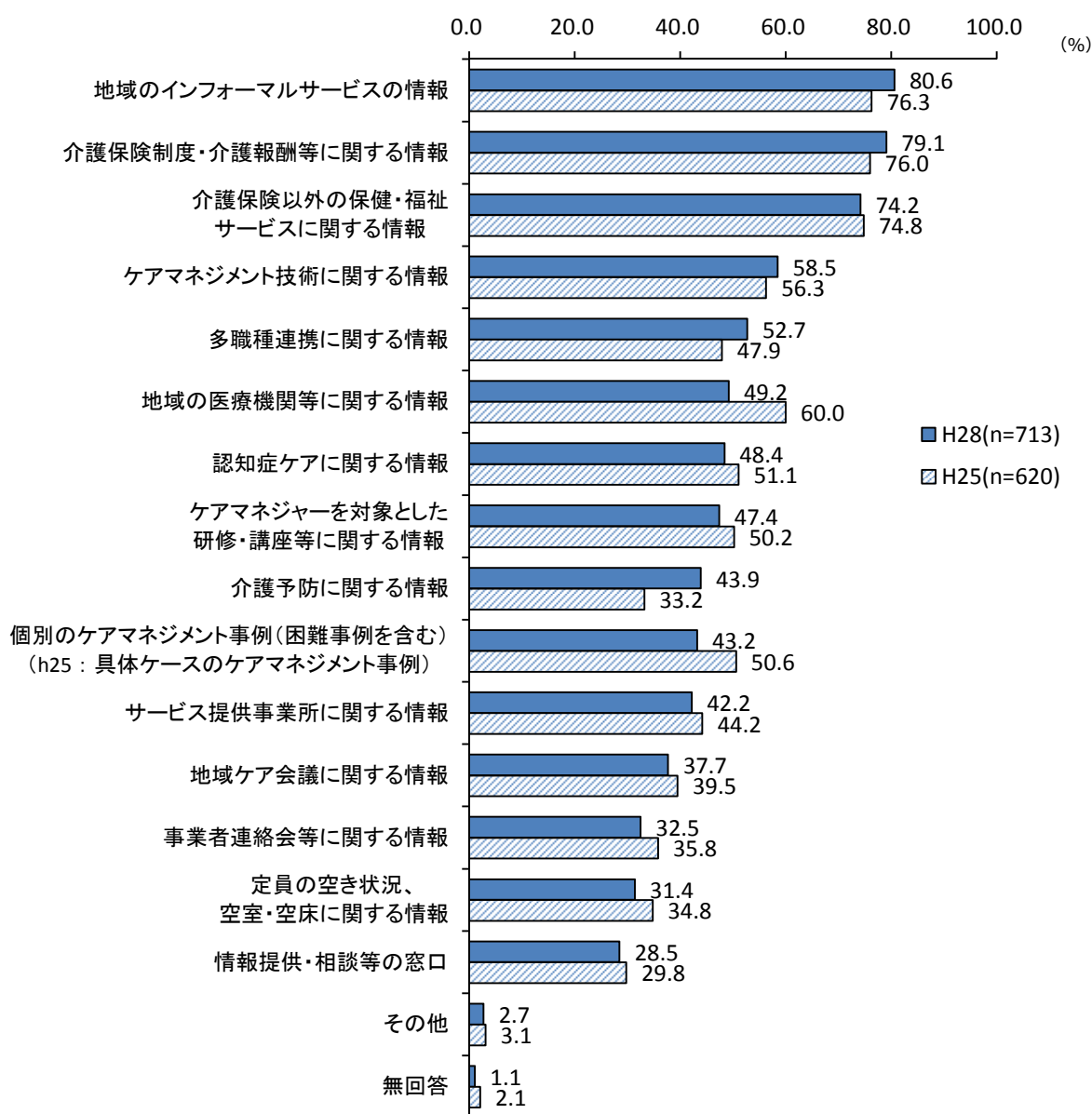
図表 2 (11)① 事業を運営する上での課題(居宅介護支援以外の居宅サービス)
(複数回答、時系列、介護事業所・問 9)



② 居宅介護支援事業所

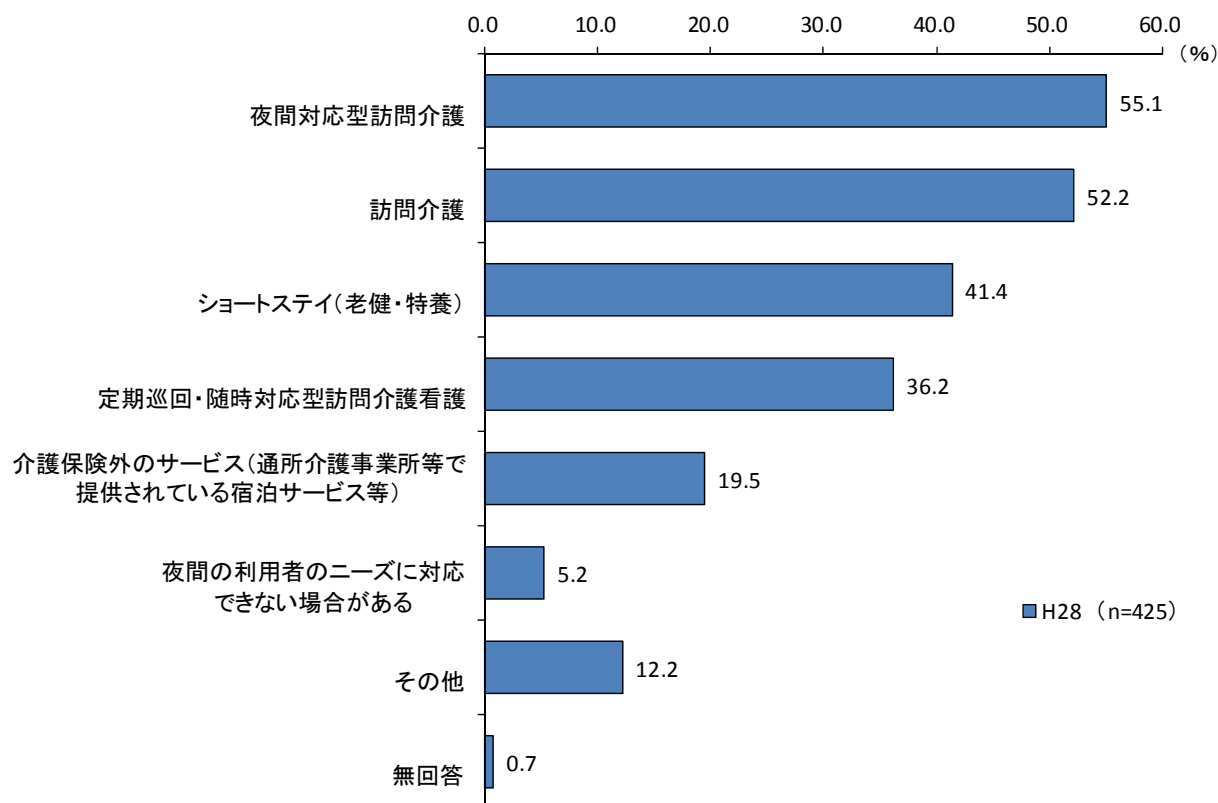
ケアマネジャー業務を行う上で必要な情報については、「地域のインフォーマルサービスの情報」(80.6%)、「介護保険制度・介護報酬等に関する情報」(79.1%)、「介護保険以外の保健・福祉サービスに関する情報」(74.2%) がともに7割を超えている。前回(平成25年)と比較すると、上位3項目は変わらず、「ケアマネジメント技術に関する情報」(58.5%)、「多職種連携に関する情報」(52.7%) が半数を超えて、前回(平成25年)よりも高くなっている。また「介護予防に関する情報」は43.9%と、前回(平成25年、33.2%)を10ポイント上回っている。

図表2(11)②-1 ケアマネジャー業務を行う上で必要な情報(複数回答、時系列)
(居宅介護支援・問13)



夜間の対応が必要な利用者について、現時点でのサービスの利用状況は、「夜間対応型訪問介護」(55.1%)、「訪問介護」(52.2%) がともに半数を超えている。次いで「ショートステイ(老健・特養)」(41.4%)、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(36.2%) の順となっている。

図表 2 (11)②-2 夜間の対応が必要な利用者の現時点のサービス利用状況(複数回答)
(居宅介護支援・問 14-1)



③ 他の介護サービス事業所との連携状況

医療系サービス提供事業所の他の介護サービス事業との連携については、「勉強会、ケース検討会の共同開催」(35.8%)が最も多く、次いで「地域包括支援センターとの連絡会などの連携」(33.6%)となっている。

図表2(11)③ 他の介護サービス事業との連携(複数回答、介護事業所・問14)

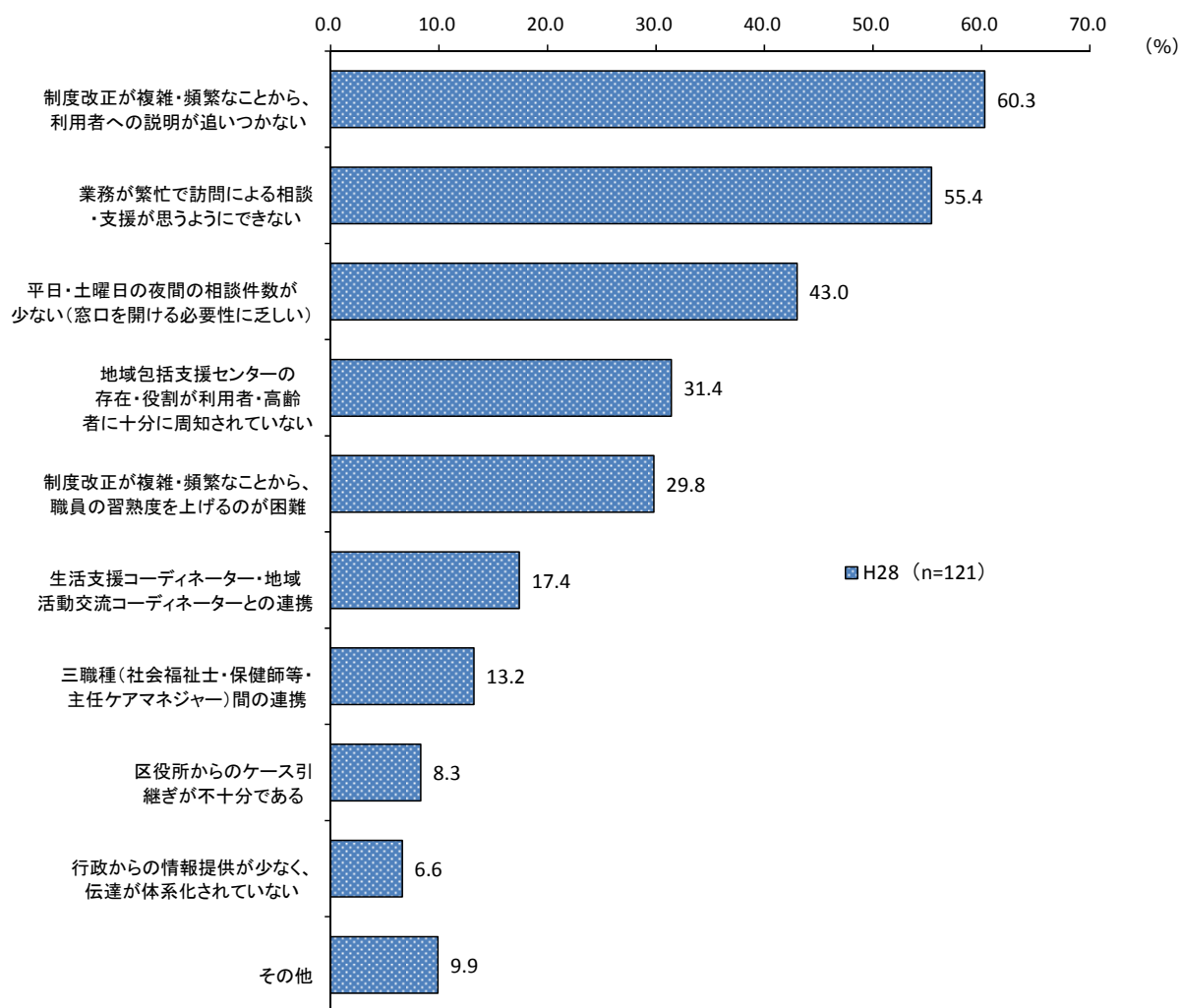
【医療系サービス提供事業所別】

(%)	TOTAL (n=1700)	医療系サービス提供事業所別(無回答n=32非表示)				
		訪問看護 (n=230)	訪問リハビリ テーション (n=61)	居宅療養管 理指導 (n=73)	通所リハビリ テーション (n=91)	医療系サービ ス提供事業 所以外 (n=1573)
勉強会、ケース検討会の共同開催	35.8	51.3	32.8	30.1	27.5	36.0
地域包括支援センターとの連絡会などの連携	33.6	44.3	29.5	30.1	23.1	34.7
定員オーバーや空きがある場合の紹介・連携	23.6	35.2	24.6	15.1	34.1	23.9
サービス事業所等との交換研修の実施	20.5	27.8	16.4	16.4	17.6	21.0
事業環境などの情報交換	19.1	22.6	19.7	9.6	29.7	19.1
技術的に対応できない場合の紹介・連携	11.0	16.1	16.4	4.1	17.6	11.4
NPO・ボランティア等活動団体との連絡会	5.7	3.9	3.3	2.7	4.4	5.8
その他	4.3	6.5	1.6	5.5	3.3	4.3
特になし	19.5	14.8	26.2	35.6	18.7	18.9
無回答	3.7	2.2	3.3	8.2	1.1	3.1

④ 地域ケアプラザ等

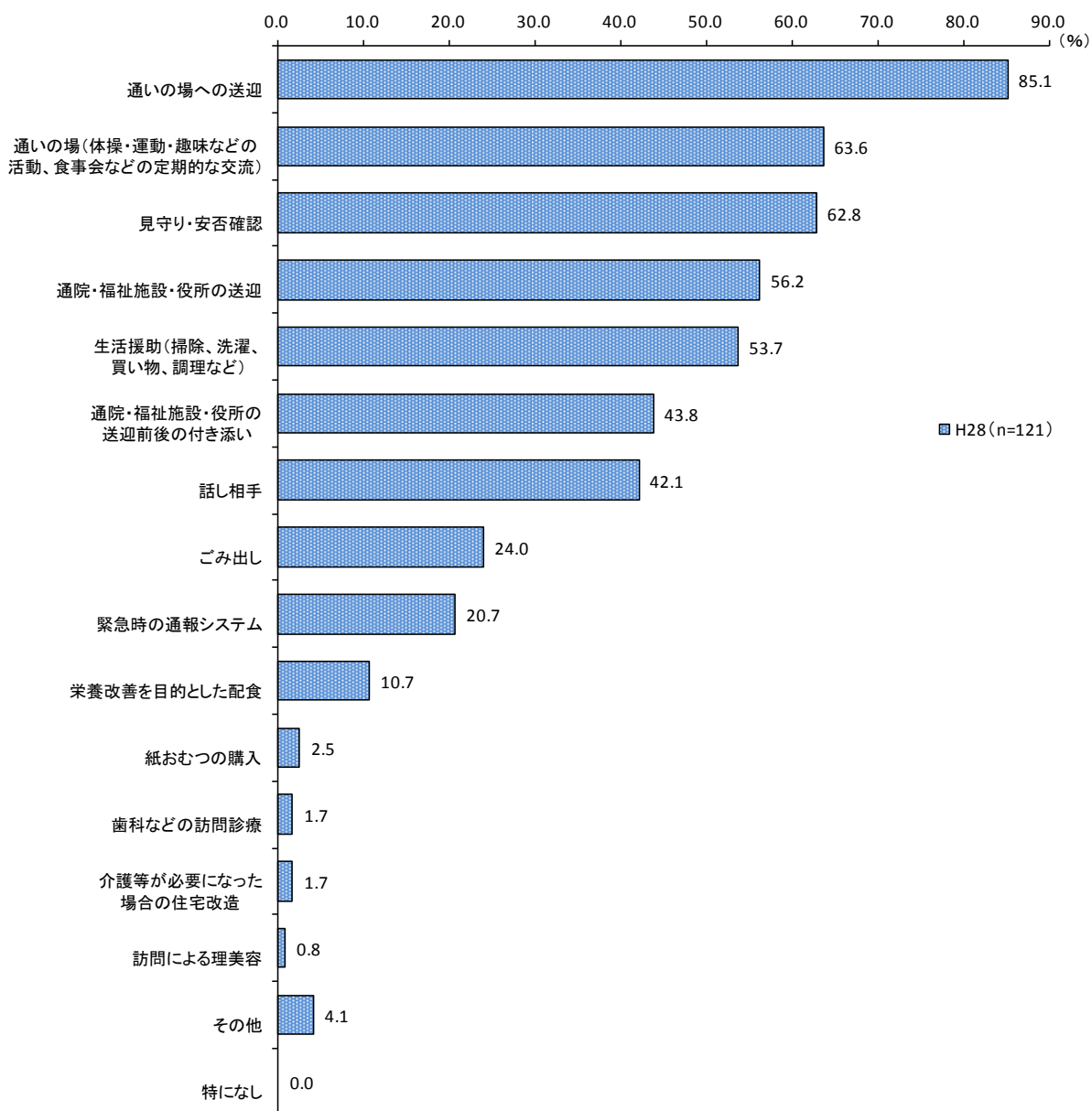
市内各地域ケアプラザ等における、地域包括支援センターの相談支援業務の課題については、「制度改正が複雑・頻繁なことから、利用者への説明が追いつかない」が60.3%で最も多く、次いで「業務が繁忙で訪問による相談・支援が思うようにできない」(55.4%)、「平日・土曜日の夜間の相談件数が少ない(窓口を開ける必要性に乏しい)」(43.0%)の順となっている。

図表 2 (11)④-1 地域包括支援センターの相談支援業務の課題 (複数回答)
(ケアプラ・問8)



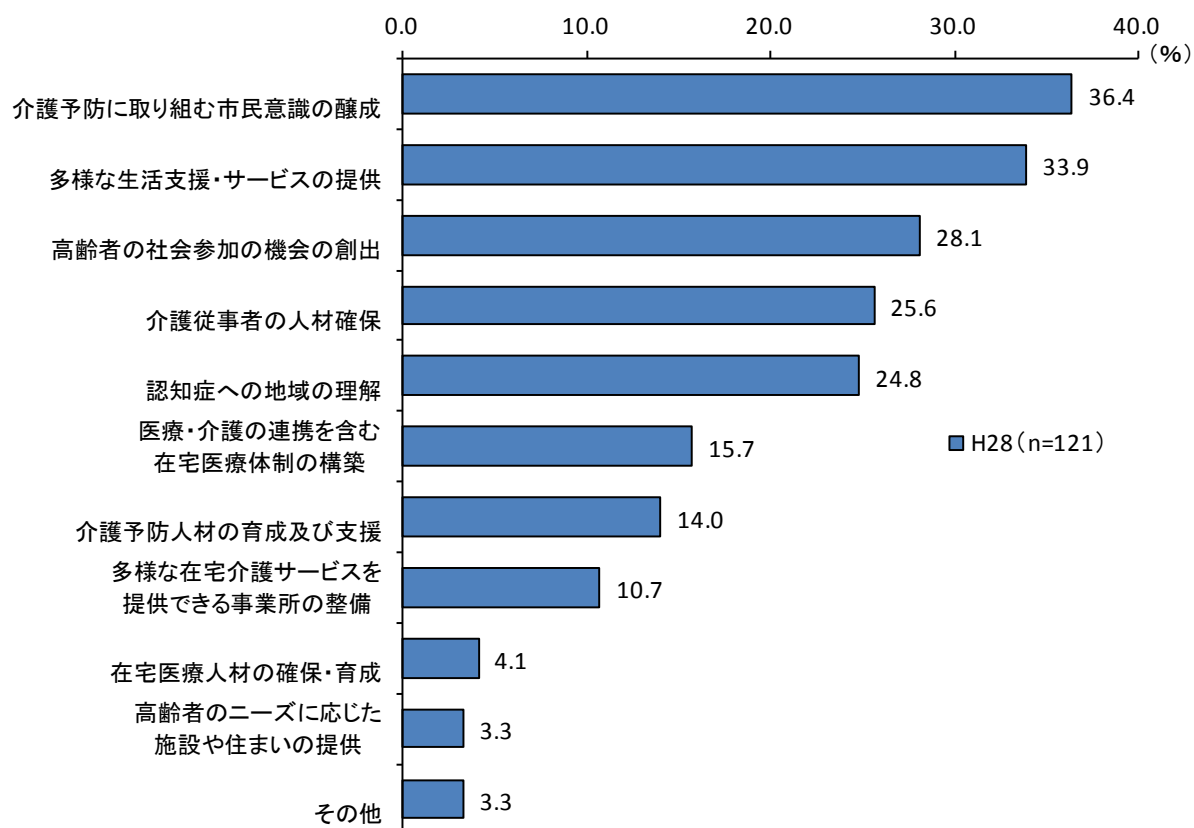
今後充実が必要だと思う活動やサービスについては、「通いの場への送迎」が 85.1%で最も多く、次いで「通いの場（体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流）」（63.6%）、「見守り・安否確認」（62.8%）がともに6割台で続いている。

図表 2 (11)④-2 今後充実が必要だと思う活動やサービス（複数回答）
（ケアプラ・問 13）



市内各地域ケアプラザ等への調査において、「地域包括ケアシステム構築に向けて優先すべき課題」を2つまで選択可能な形式でたずねたところ、「介護予防に取り組む市民意識の醸成」が36.4%で最も多く、次いで「多様な生活支援・サービスの提供」(33.9%)、「高齢者の社会参加の機会の創出」(28.1%)の順となっている。

図表2(11)④-3 地域包括ケアシステム構築に向けて優先度の高い課題（複数回答）
（ケアプラ・問16）

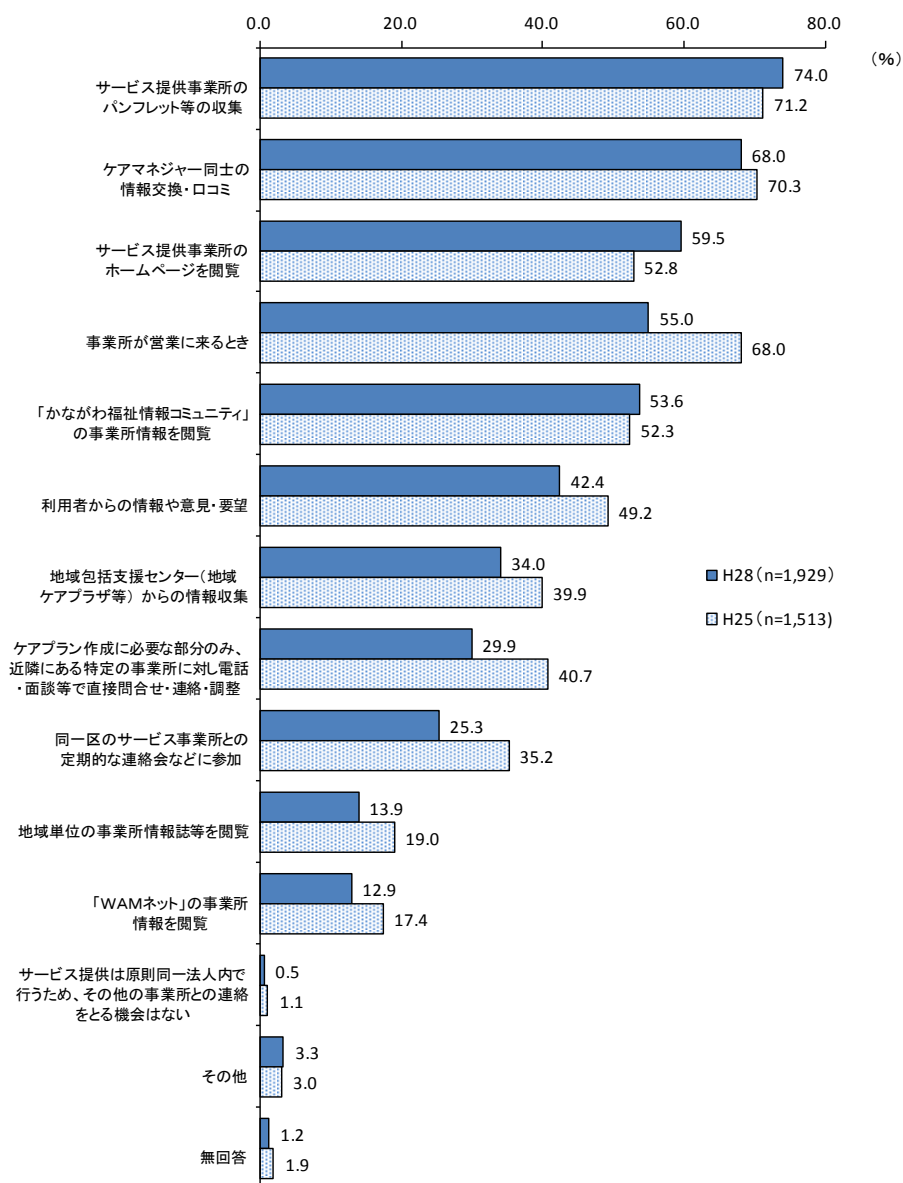


(12) 従事者（ケアマネジャー）の状況

ケアマネジャーがサービス提供事業所に関する情報収集や、連絡・調整を行う方法等については、「サービス提供事業所のパンフレット等の収集」が74.0%で最も多く、次いで「ケアマネジャー同士の情報交換・ロコミ」(68.0%)、「サービス提供事業所のホームページを閲覧」(59.5%)の順となっている。

前回（平成25年）と比較すると、上位3項目のうち「サービス提供事業所のパンフレット等の収集」、「サービス提供事業所のホームページを閲覧」の2つが前回（平成25年）の割合を上回っている。一方、「事業所が営業に来るとき」(55.0%)、「ケアプラン作成に必要な部分のみ、近隣にある特定の事業所に対し電話・面談等で直接問合せ・連絡・調整」(29.9%)、「同一区のサービス事業所との定期的な連絡会などに参加」(25.3%)では前回（平成25年）に比べてそれぞれ10ポイント前後低くなっている。

図表2 (12)-1 サービス提供事業所に関する情報収集・連絡・調整の方法（複数回答、時系列）
（ケアマネジャー・問22）



ケアマネジャー業務を行う上での負担感については、「利用者本人と家族の意向が異なる場合の調整」が 51.8%で最も多く、次いで「ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと」(46.8%)、「利用者の経済的問題等の相談」(46.4%) の順となっている。

前回(平成 25 年)と比較すると、「ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと」、「利用者の経済的問題等の相談」、「認知症等の利用者にかかわる成年後見手続等の手配」、「利用者や事業所の苦情対応」、「ケアプラン原案に対する利用者・家族の同意」で前回(平成 25 年)よりやや高い、もしくは同じ程度の割合だが、他の項目は前回(平成 25 年)を下回っており、「主治医や医療機関と連絡調整」(22.0%)は 10 ポイント近く低くなっている。

図表 2 (12)-2 ケアマネジャー業務を行う上での負担感(複数回答、時系列)
(ケアマネジャー・問 43)

